

Cisco Webex Board をスタンドアロンデバイスとして使用することも、Touch 10 または Room Navigator から制御することもできます。

Webex Board を Touch 10 または Room Navigator と共に使用すると、スタンドアロンとして使用するよりもより細かく制御できます。

このユーザガイドでは、デバイスを動作させるためのこれら 2 つの方法について説明しています。



# CE9.15

## Cisco Webex Board

### ユーザガイド



# 本ユーザガイドの内容

|                              |    |
|------------------------------|----|
| エクステンションモビリティ                |    |
| 自分のログイン情報を使用してログオンする         | 4  |
| Touch コントローラを使用したビデオ通話       |    |
| 連絡先リストからのコールの発信              | 6  |
| 発信する前に連絡先を編集する               | 7  |
| 名前、番号、または IP アドレスを使用したコールの配置 | 8  |
| コールの受信: 通話中でない場合             | 9  |
| 通話中に別の通話に応答する                | 10 |
| 通話から自分を切断する                  | 11 |
| コールを保留にし、保留中のコールを再開          | 12 |
| 継続中のコールを転送                   | 13 |
| 応答不可を有効にする                   | 14 |
| すべてのコールの自動転送                 | 15 |
| 通話中にキーパッドを表示                 | 16 |
| 既存のコールへの参加者の追加               | 17 |
| 会議から参加者を切断                   | 18 |
| 参加者をミーティングに許可する              | 19 |
| ミーティング中のスピーカーの固定             | 20 |
| ミュージックモードの使用                 | 21 |
| 最近の通話のコール詳細検索                | 22 |
| Webex Board を使用したビデオ通話       |    |
| コールの発信                       | 24 |
| コールの受信                       | 25 |
| インテリジェント近接通信                 |    |
| Cisco 近接通信の超音波信号             | 27 |
| Touch コントローラを使用したコンテンツ共有     |    |
| 通話中のコンテンツ共有                  | 29 |
| コール外でコンテンツを共有する              | 30 |

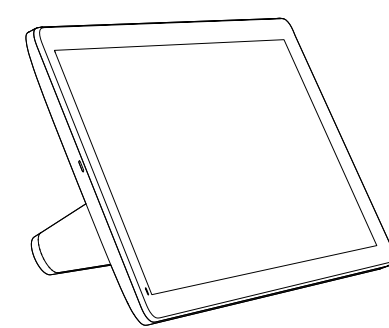
|                                           |    |
|-------------------------------------------|----|
| Webex Board でのコンテンツ共有                     |    |
| Webex Board をデジタルホワイトボードとして使用する           | 32 |
| セッションを終了して、Webex Board をクリアします            | 33 |
| 通話中のコンテンツ共有                               | 34 |
| コール外でコンテンツを共有する                           | 35 |
| 共有コンテンツに注釈を付ける                            | 36 |
| 注釈または描画をメールで送信                            | 37 |
| 有線タッチのリダイレクト                              | 38 |
| ミーティングのスケジュール                             |    |
| ミーティングのスケジュールに参加する                        | 40 |
| Webex ミーティングへの参加                          | 41 |
| Touch コントローラの連絡先                          |    |
| お気に入り、発着信履歴、ディレクトリ                        | 43 |
| 通話中に [お気に入り] に追加する                        | 44 |
| 非通話時に [お気に入り] に追加する                       | 45 |
| 既存のお気に入りを編集する                             | 46 |
| カメラ                                       |    |
| カメラをオンまたはオフにする (Touch 10/Room Navigator)  | 48 |
| カメラをオンまたはオフにする (Webex Board)              | 49 |
| セルフビューの PiP の移動 (Touch 10/Room Navigator) | 50 |
| セルフビューの PiP の移動 (Webex Board)             | 51 |
| 手動カメラ制御                                   | 52 |
| 設定                                        |    |
| 音声設定                                      | 54 |
| アクセス設定                                    | 55 |

格納ファイルのすべてのエントリは、対応記事に移動するためのアクティブハイパーリンクです。

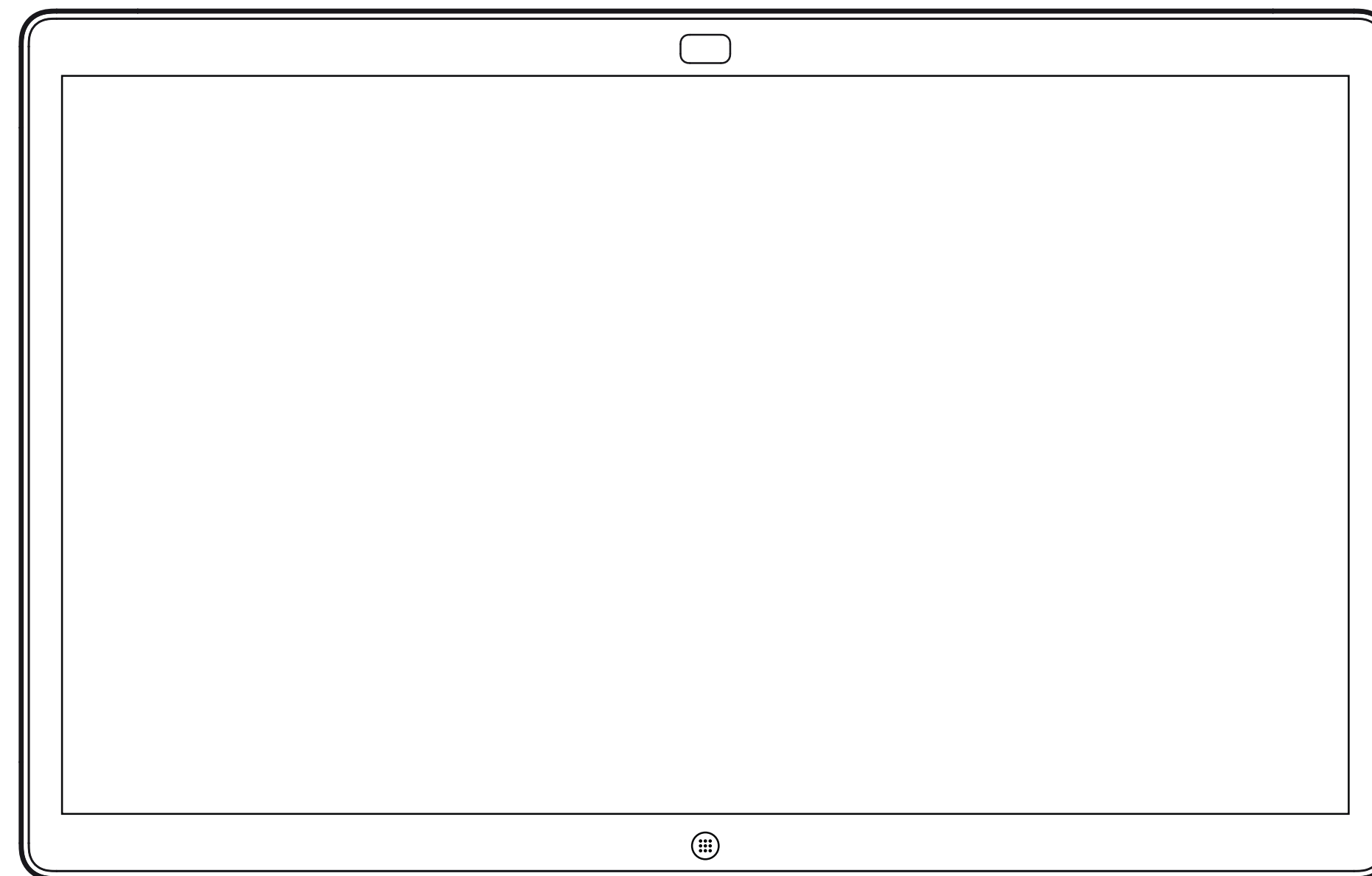
チャプター間を移動するには、サイドバーのアイコンをクリックする方法もあります。

**メモ:** このユーザガイドで説明されている機能の一部は、特定の地域ではオプションである場合があります。そのため、お使いのデバイスに適用されない場合があります。

このユーザガイドでは、**Webex Board**という用語は、CE ソフトウェアを実行している **Webex Board** を指しています。



Room Navigator



Webex Board



Touch 10

# エクステンションモビリティ



# 自分のログイン情報を使用してログオンする

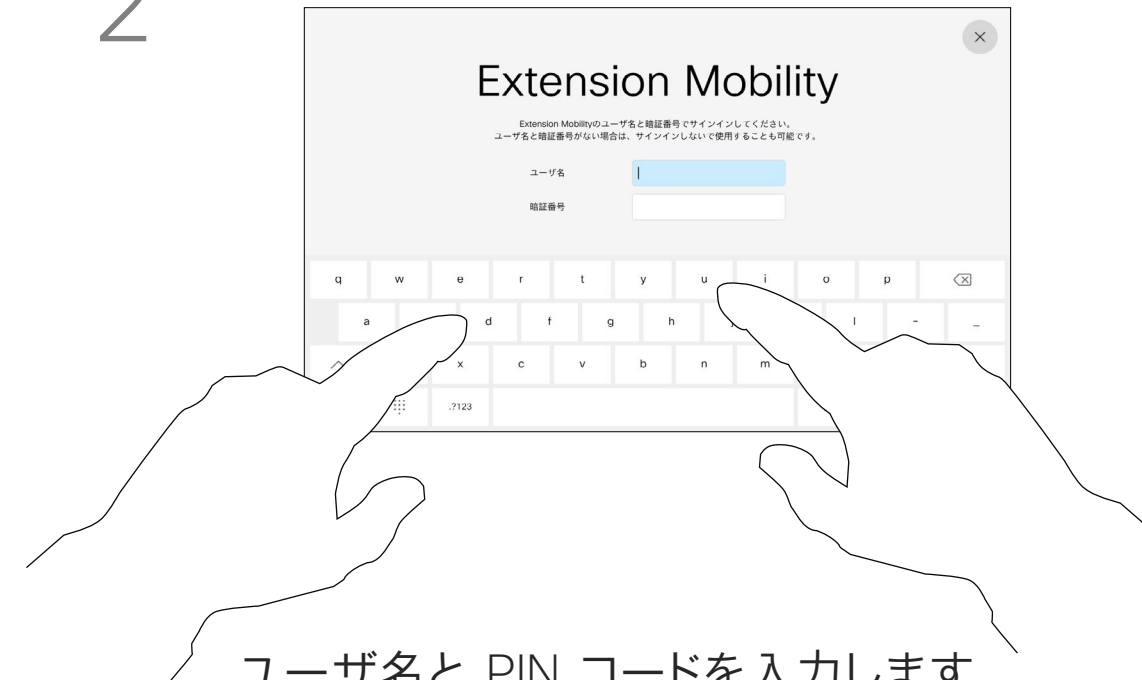
## Extension Mobility について

1



エクステンションモビリティ対応デバイスには、自分のログイン情報を使用してデバイスにログインするための追加ボタンがあります。  
Extension Mobilityボタンをタップします。

2



ユーザ名と PIN コードを入力します。

3



図のように ログインをタップします

4



離席するときは、サインアウト をタップします。

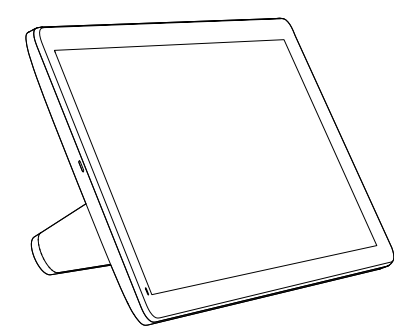
**メモ:** この機能には、Webex Board に接続された Touch 10 が必要です。

会議室やクワイエットルームに配置され、CUCM (Cisco Unified Communications Manager) の元で稼働しているデWebex Boardsでは、自分の個人資格情報を使用してデバイスにログインすることができます。

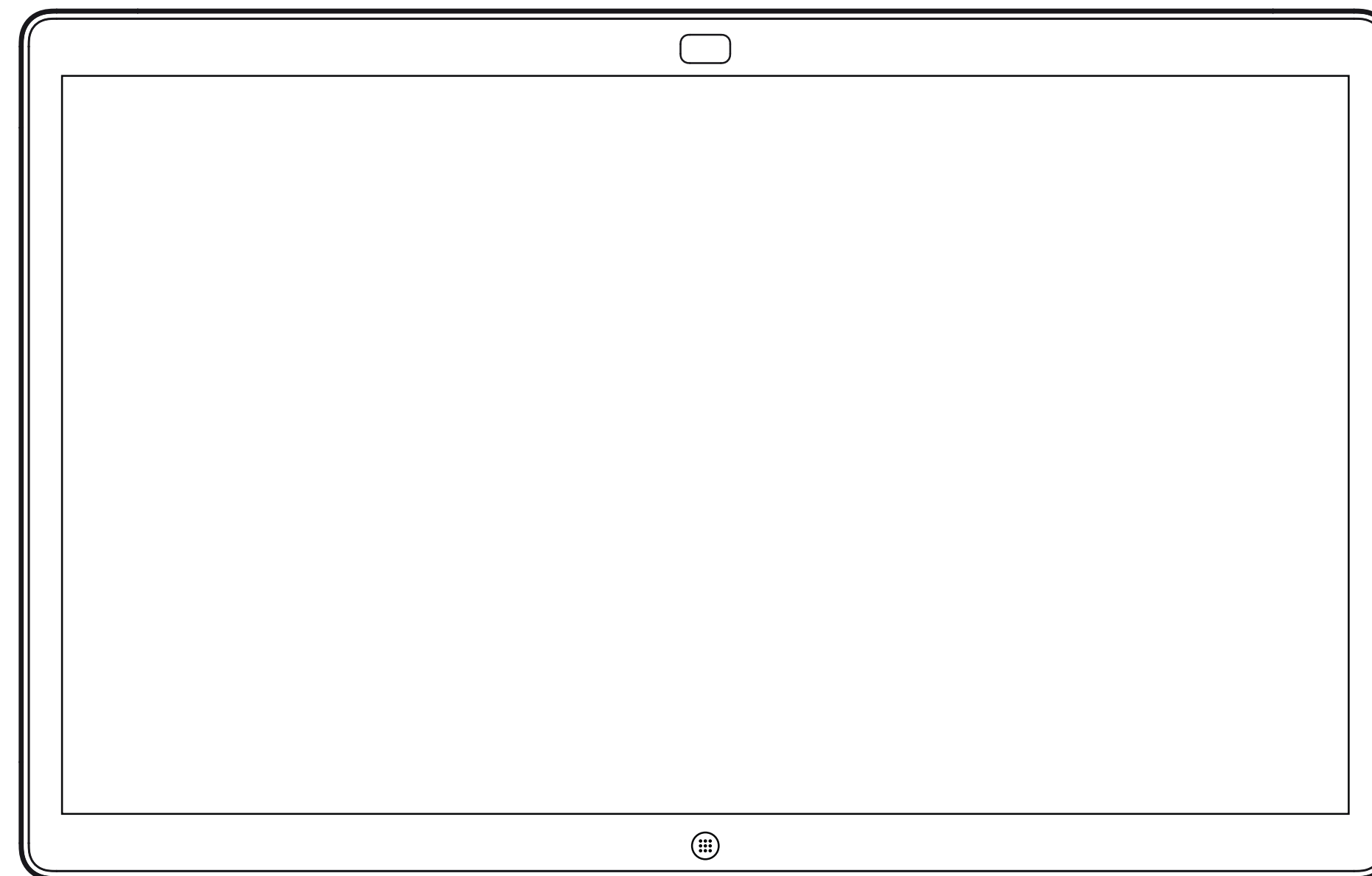
次に、CUCM は自分宛のすべての着信コールを特定のビデオデバイスにルーティングします。

エクステンションモビリティからログアウトすると、[発着信履歴] リストはデバイスからクリアされます。

Extension Mobility はホットデスクングとも呼ばれます。



Room Navigator



Webex Board



Touch 10

# Touch コントローラを使用したビデオ通話



# ビデオ通話: Touch コントローラ 連絡先リストからのコールの発信

## 連絡先リストについて

連絡先リストは、次の 3 つの部分で構成されています。

**お気に入り。**これらの連絡先はユーザによって配置されています。これらのエントリは、頻繁にコールするか、または迅速にアクセスする必要がある場合に使用します。

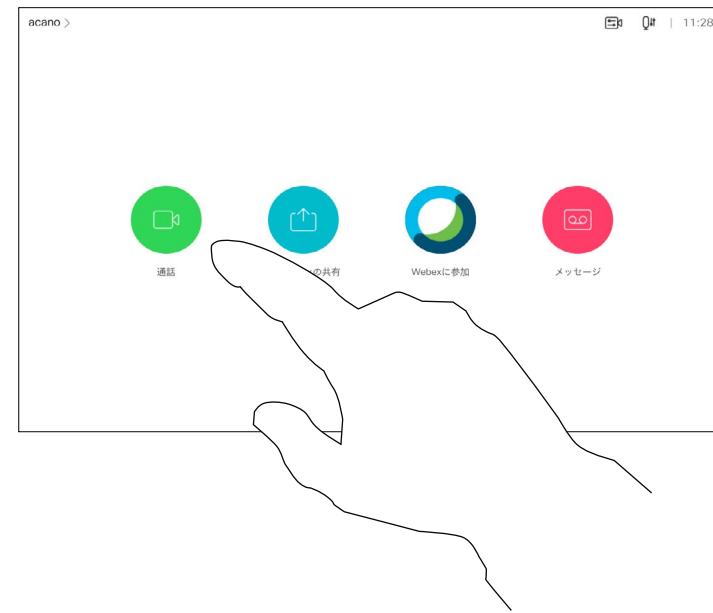
**ディレクトリ**は通常、ビデオサポートチームによってデバイスにインストールされた社内ディレクトリです。

**発着信履歴**は、発信、受信、不在着信のリストです。

次のオプションが適用されます。

- ・ 名前、番号、または IP アドレスでキーを入力すると、デバイスはすべてのリストに含まれているかを検索します。
- ・ お気に入りリストにエントリを追加することができます。発信する前にエントリの内容を編集したり、コールレートを変更したり、**発着信履歴**からエントリを削除することができます。

1



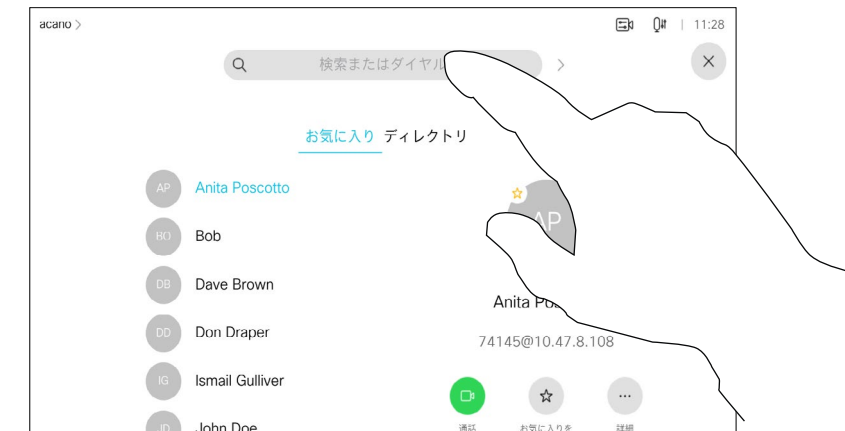
通話ボタンをタップします。

2



特定のリスト(お気に入り、発着信履歴、または ディレクトリ)で通話相手を検索するには、そのリストをタップし、下ヘスクロールしてエントリを探します。

3



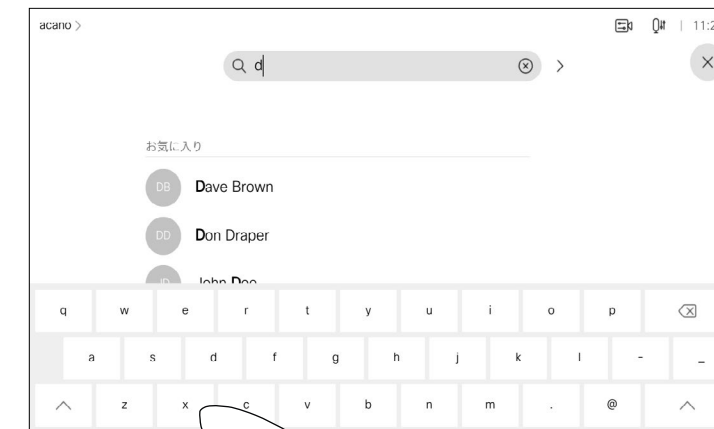
または、[検索] または [ダイヤル] フィールドをタップします。仮想キーボードが表示され、すべてのリストからエントリを検索できます。

4



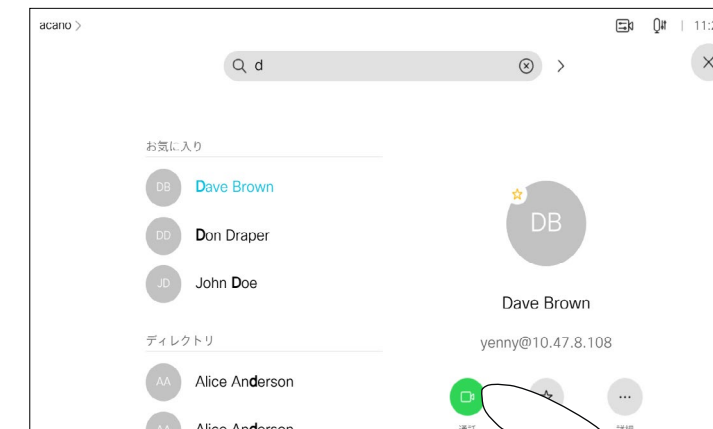
名前、番号、または IP アドレスを入力します。  
入力したとおりに一致するものが表示されます。

5



拡張数字モードを使用しています。これには、特殊文字も含まれています。  
英数字モードと拡張数字モードを切り替えるには、キーボードの左下の隅にあるキーをタップします。

6



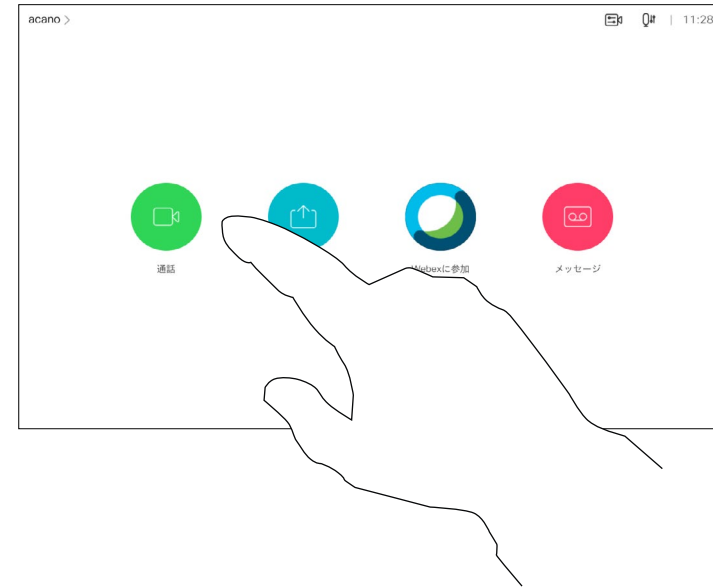
通話先を見つけたら、名前をタップし、緑色の発信ボタンをタップします。



# ビデオ通話: Touch コントローラ 発信する前に連絡先を編集する

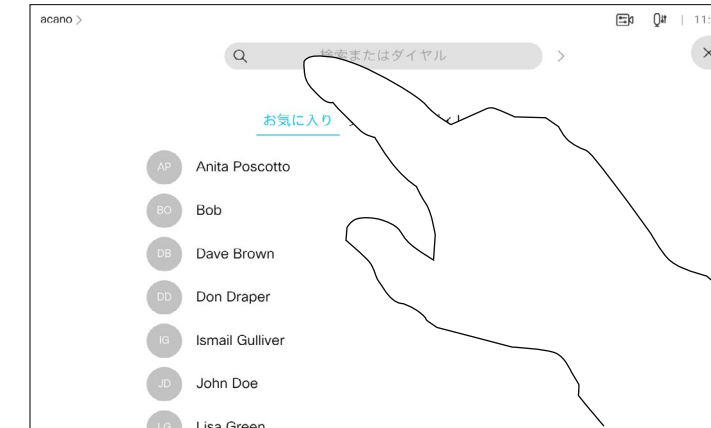
## エントリ編集について

1



通話ボタンをタップします。

2



前のページに示すように、検索またはダイヤルフィールドをタップするか、いずれかの一覧をスクロールします。

3



エントリが見つけたら、タップして [通話] メニューを表示します。[通話] メニューで、図に示すようにMoreをタップして、その後編集および通話をタップします。

4



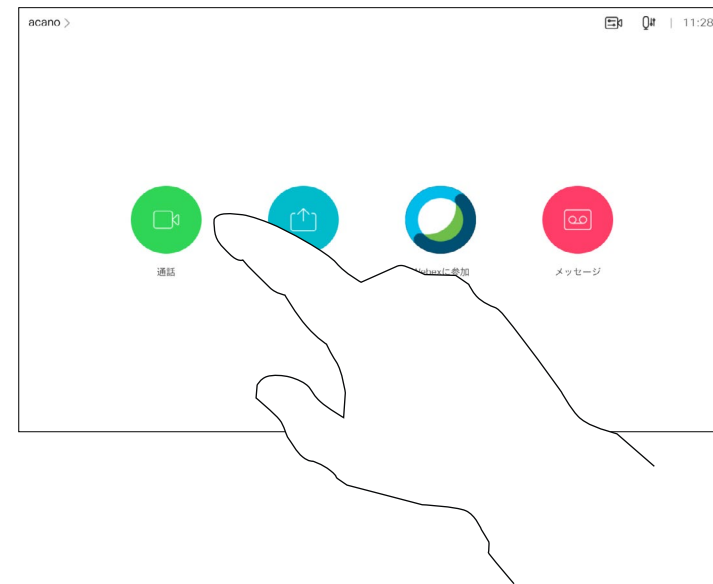
必要に応じて編集し、緑色の通話 ボタンをタップして発信します。

ビデオ通話: Touch コントローラ

# 名前、番号、または IP アドレスを使用したコールの配置

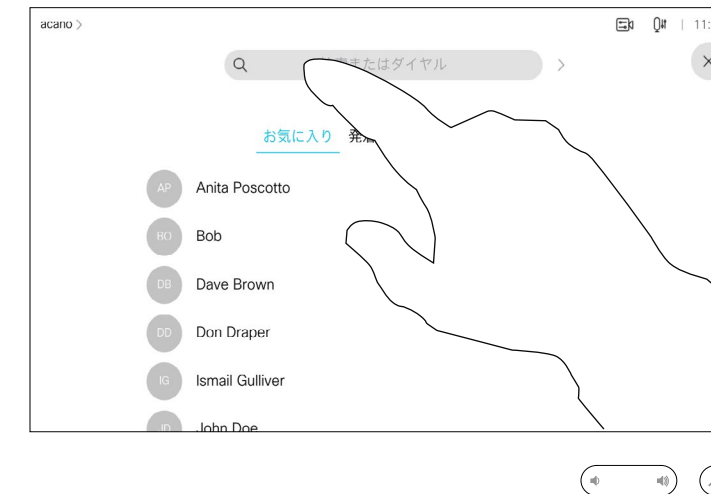
発信について

1



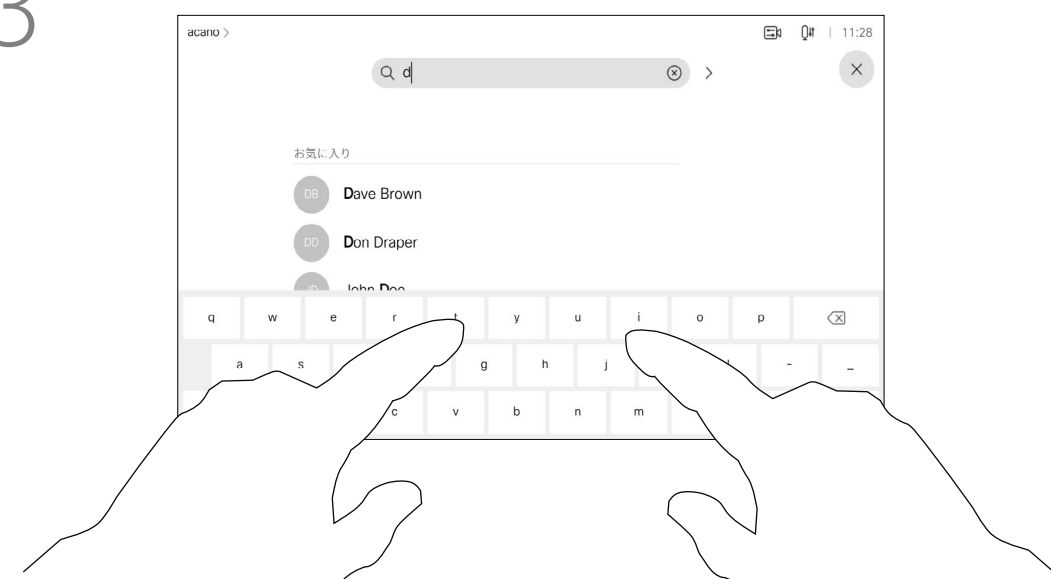
通話ボタンをタップします。

2



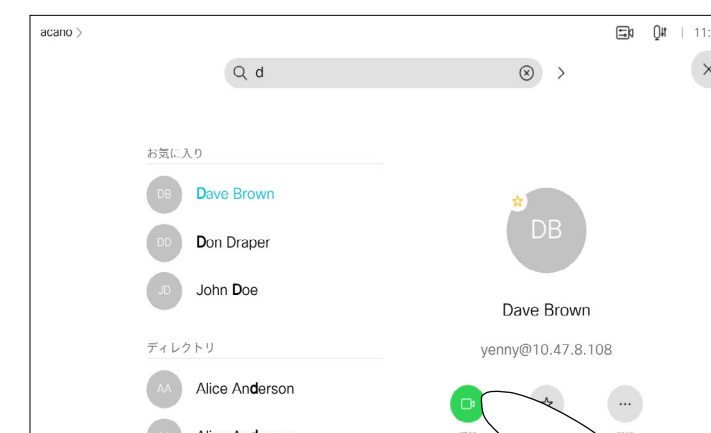
検索とダイヤルフィールドをタップします。  
これにより、キーボードが開きます

3



名前、番号、またはアドレスを入力します。入力した  
とおりに、一致するものや候補が表示されます。一  
覧で求める連絡先が表示され場合はそれをタップ  
します。それ以外の場合は入力を続けます。

4



通話先を入力または特定で  
きたら、名前をタップしてから、緑色の 発信ボタンをタッ  
プして発信します。

連絡先のリストに載っていない相手に  
発信するには、タッチパッドの仮想キー  
ボードを使用して名前、アドレス、また  
は番号を入力します。

以前にコールしてきた人やコールした  
人は、**発着信履歴**リストに表示され、  
任意のコールをお気に入りリストに転  
送できます。これについては**連絡先セ  
クション**で説明しています。

通常、内線にアクセスしたり、暗証番号  
を入力したりする際に、通話中に数字  
を入力するように促される場合があり  
ます。

これに必要なキーパッドを開くには、  
タッチトーンをタップします (通話が  
行われるとすぐにこのボタンが表示さ  
れます)。

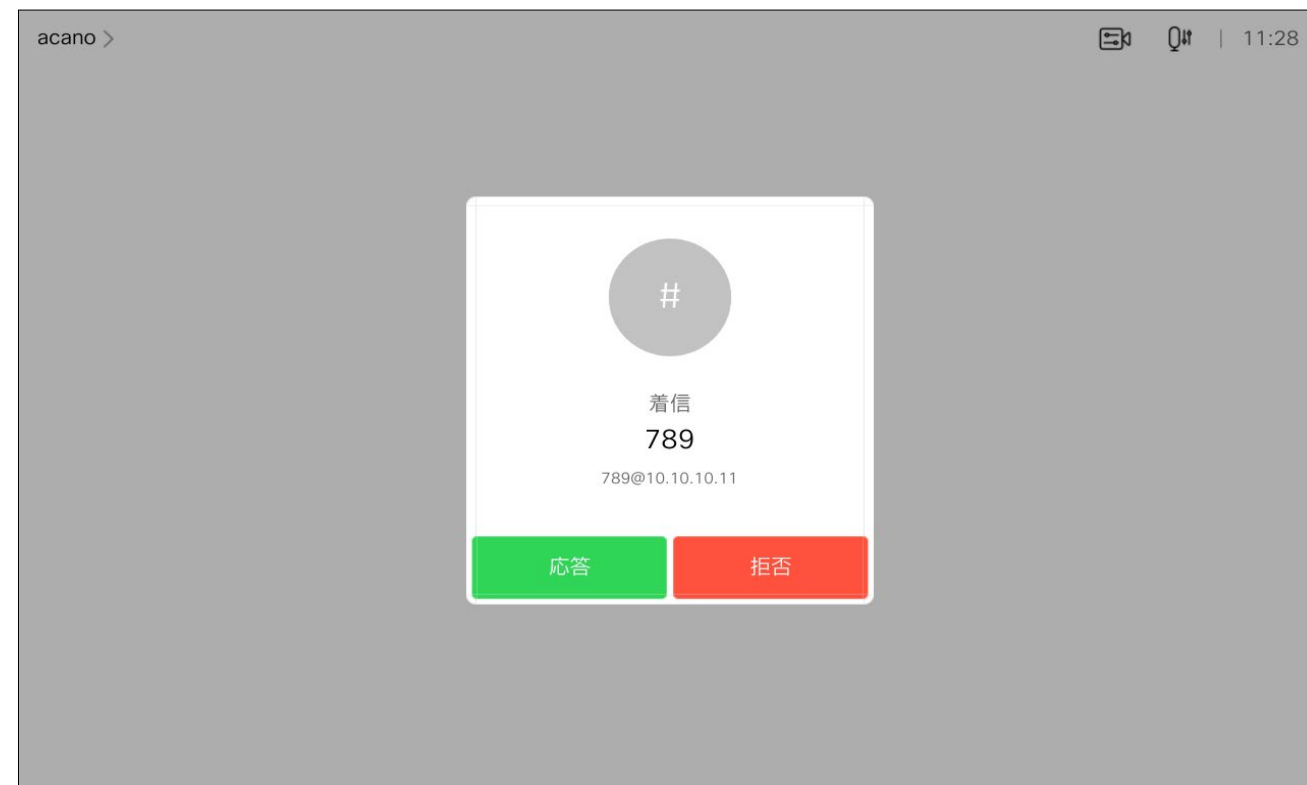
発着信履歴のクリアは、Web インター  
フェイスでのみ行うことができます。



ビデオ通話: Touch コントローラ

## コールの受信: 通話中でない場合

## 着信があった場合



着信コールを応答または拒否することができます。



デバイスで複数の着信コールを受信できる場合は、すべてを追加するか、すべて拒否するかを選択できます。

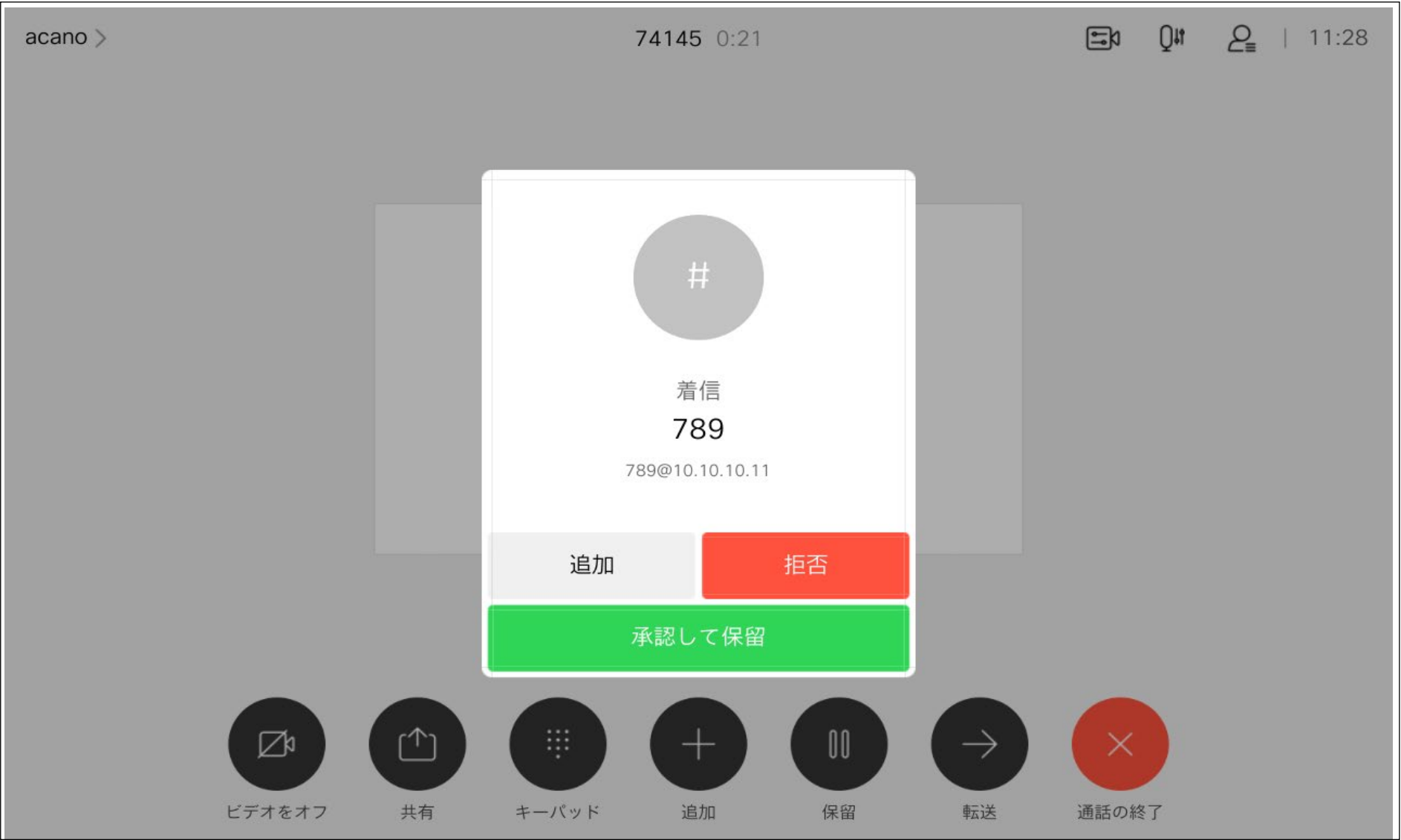
- ・ ユーザからコールがあれば、そのコールを受け入れる、拒否する、あるいは無視するかのいずれかになります。
- ・ 通話を拒否すると、通話中の情報が発信側に送信されます。
- ・ コールを無視すると、発信側はこのことを、不在として認識します (コールに応答しなかった場合)。
- ・ ビデオインフラストラクチャを使用すると、複数の着信を受信できます。貴社のビデオサポートチームにご照会ください。

ビデオ通話: Touch コントローラ

# 通話中に別の通話に応答する

## 着信があった場合

すでに通話中の場合は、特定の状況下で別の着信通話を受け入れることができます。





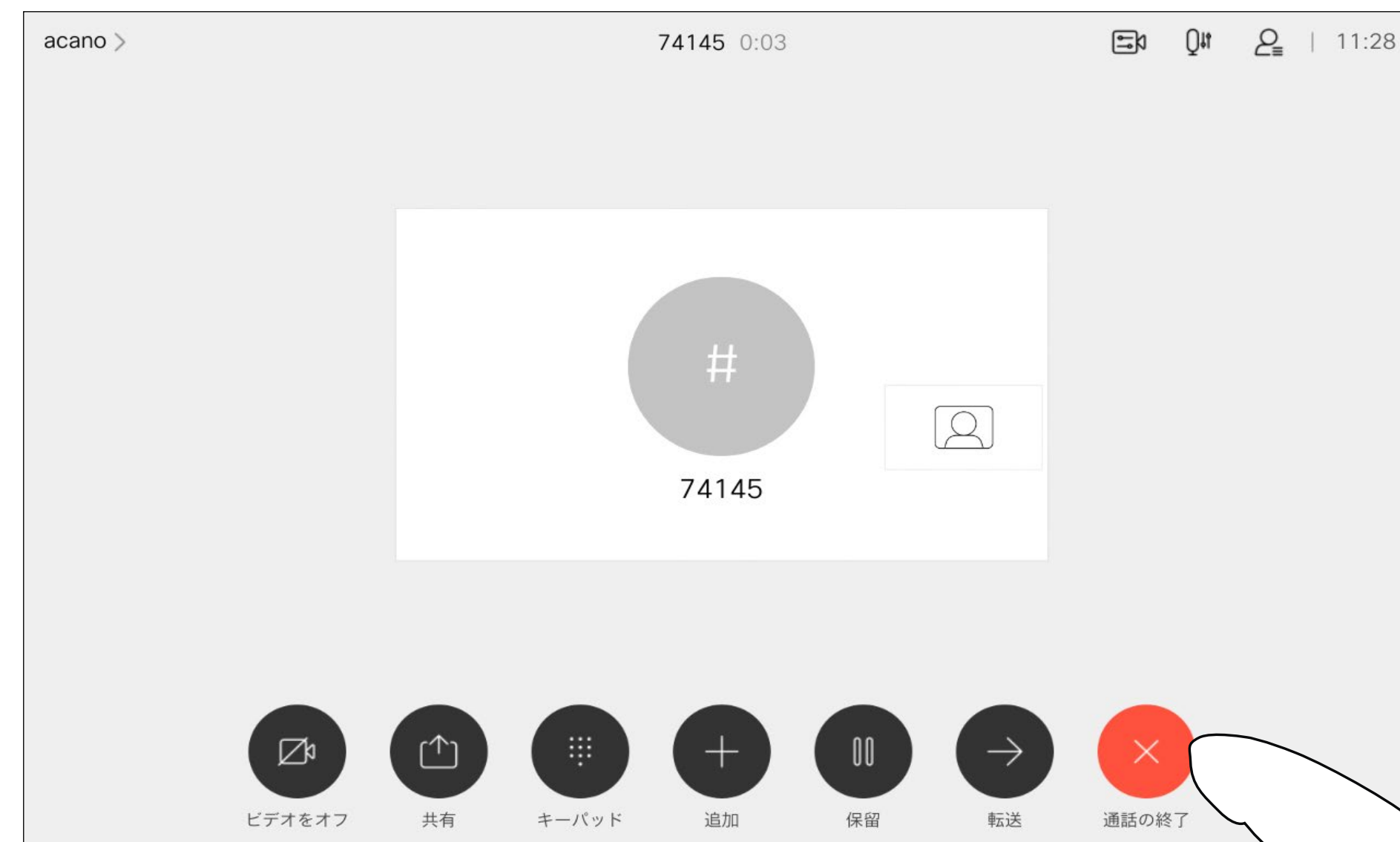
# ビデオ通話: Touch コントローラ 通話から自分を切断する

## 自分で切断するについて

通話中に **通話の終了** をタップすると、通話からデバイスが切断されます。2 者だけがコールした場合は、このコールは終了します。

複数の参加者がいる会議コールでは、**通話の終了** をタップすると、ユーザが通常の参加者である場合にのみ、参加が終了します。

ただし、自分がこの会議のホストである場合、**通話の終了** をタップすると、会議の種類によっては会議全体が終了することがあります。



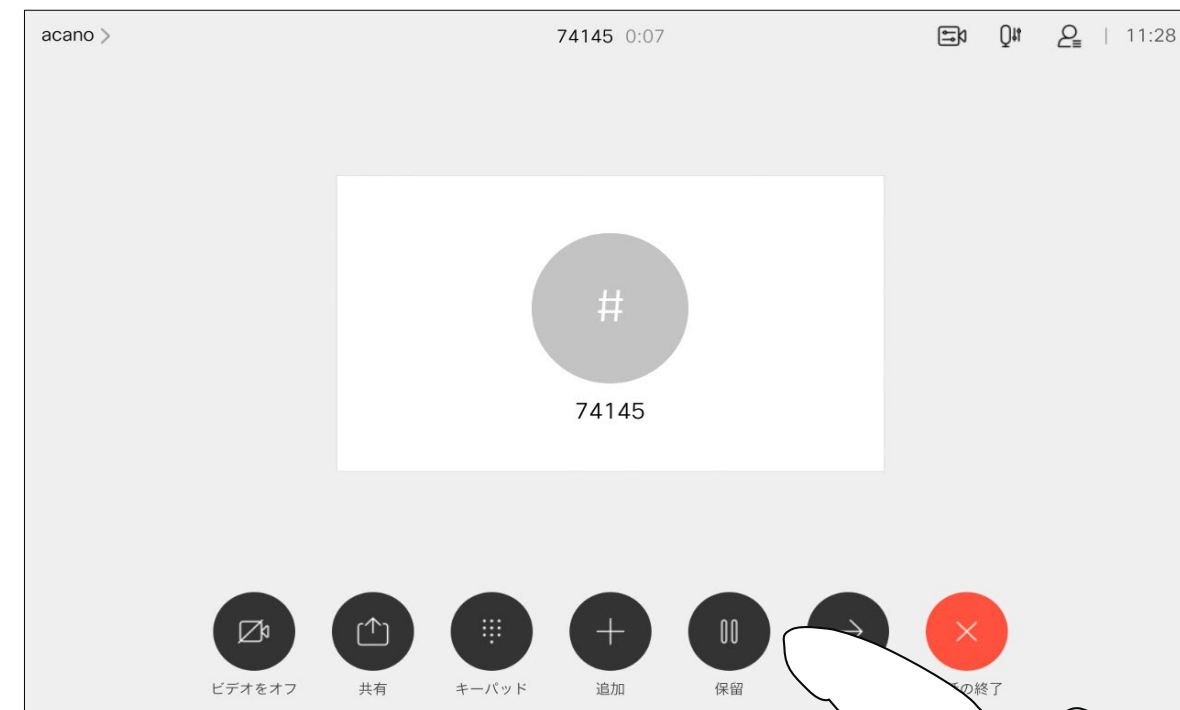
通話を切断するには、**通話の終了** をタップします。



# コールを保留にし、保留中のコールを再開

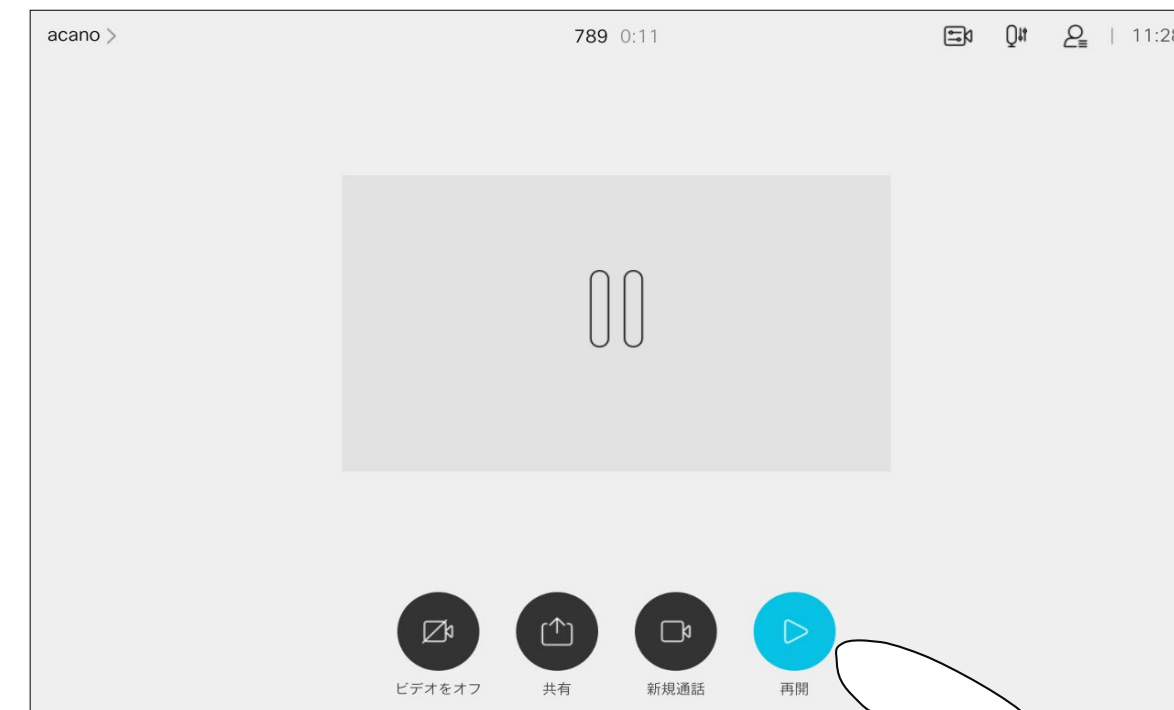
## 保留について

1



通話状態であるとして、保留をタップします。

2



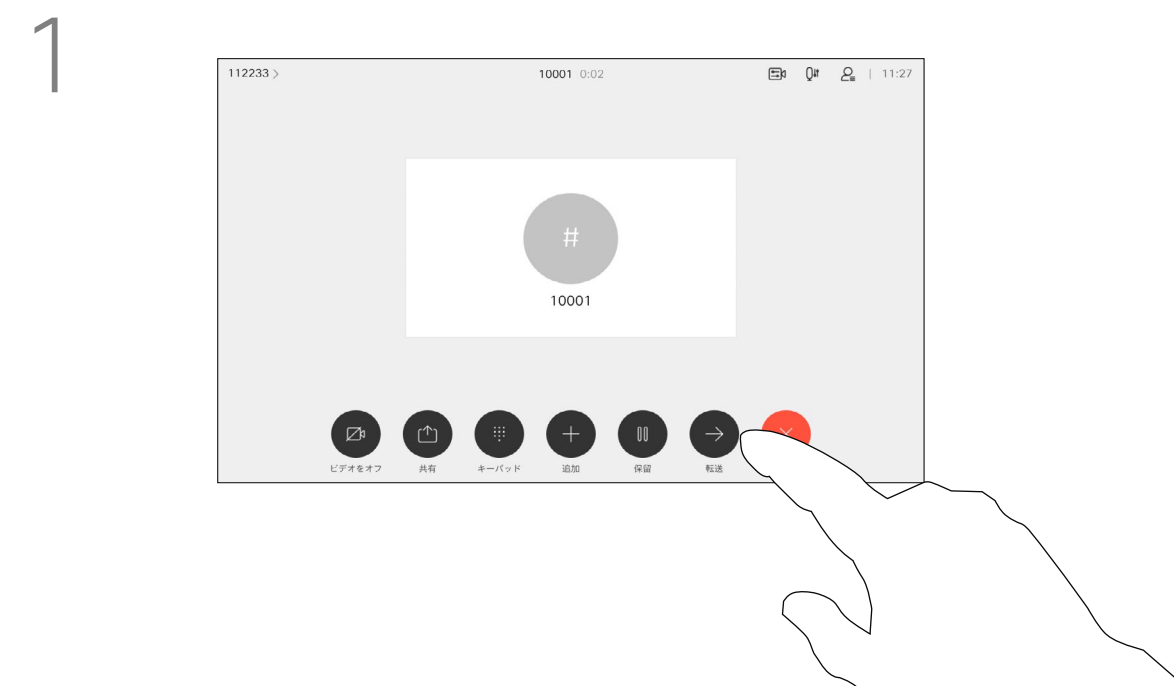
再開をタップして、通話状態にあった相手に戻ります(元の操作に戻ります)。

ユーザを保留にすることは通常、ユーザを別のユーザに転送する際の最初のステップとして使用されます。また、ユーザを調べる必要がある場合や、ビデオ送信を停止する場合などミュートする代わりに使用することもできます。

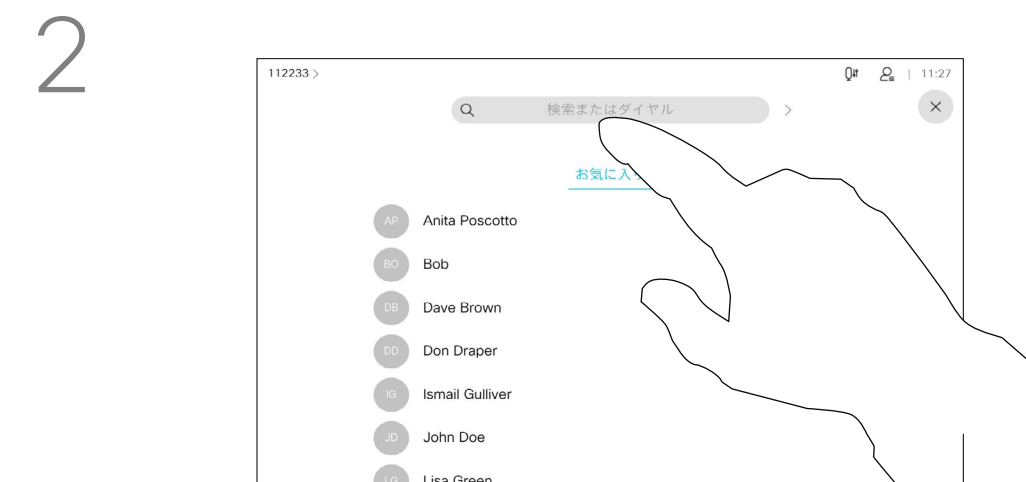
# ビデオ通話: Touch コントローラ 継続中のコールを転送

## 転送について

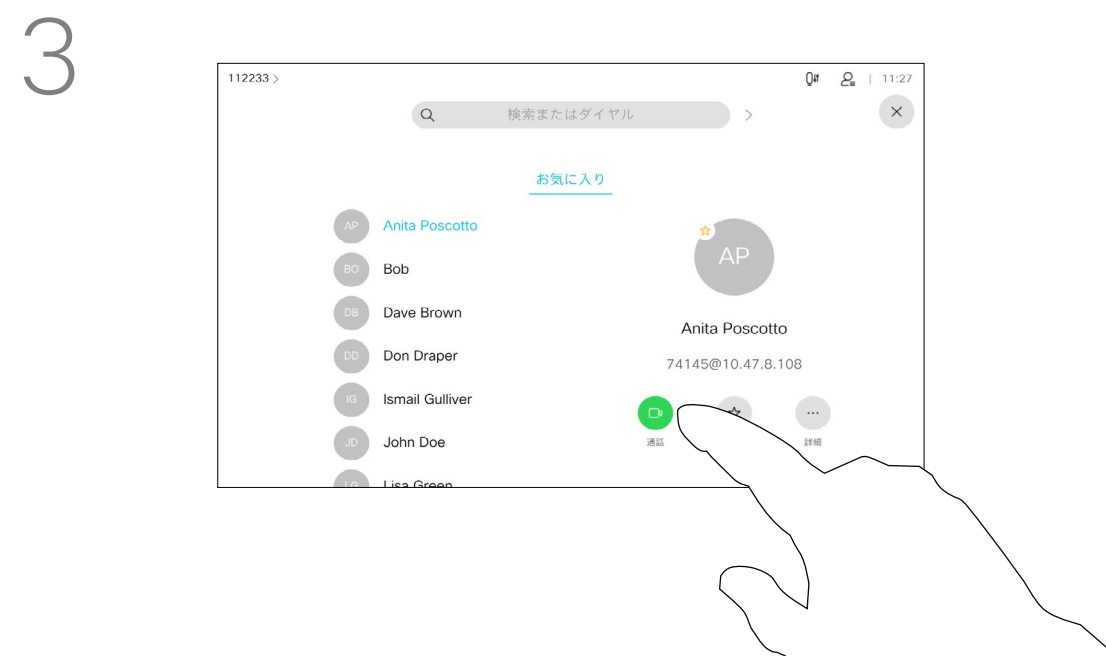
継続中のコールを別の人に転送することができます。転送は常に提案されており、コールを転送する担当者に連絡して、コールを実際に転送することができます。



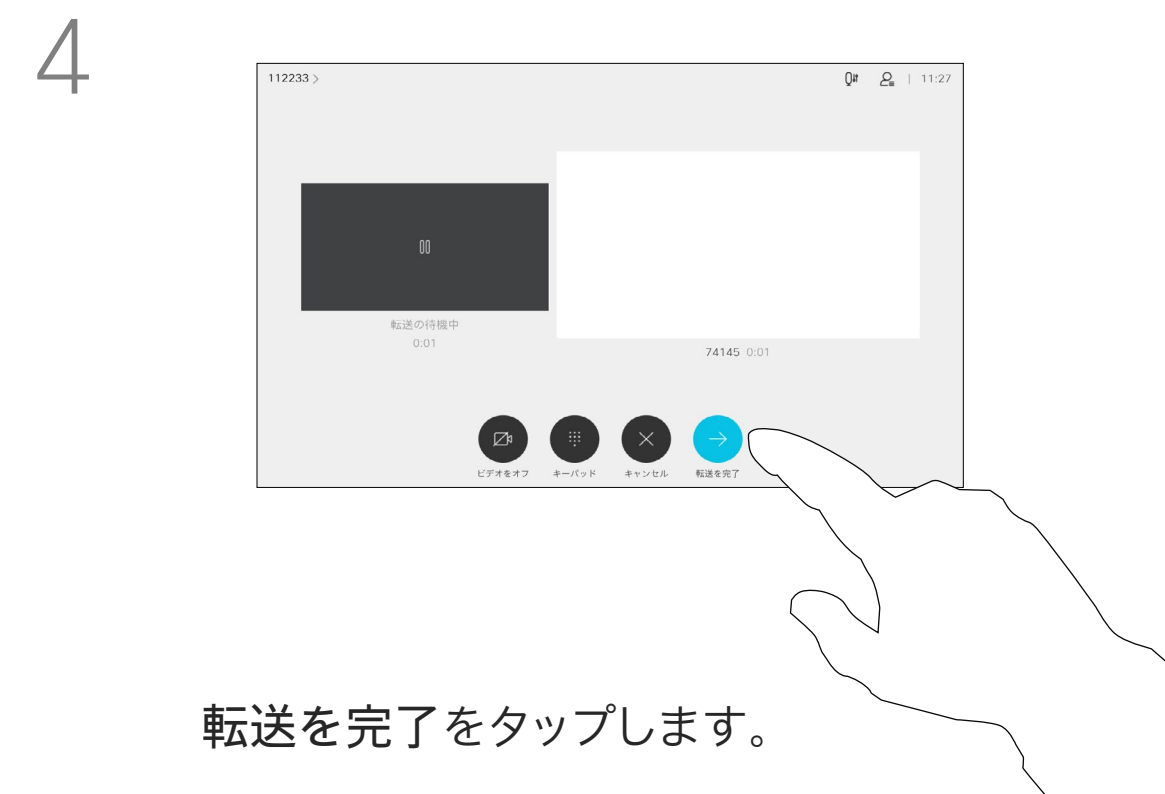
転送ボタンをタップします。現在の通話が保留になります。



いつもと同じ方法で、発信先を探します。



緑色の通話ボタンをタップします。相手と話して転送が行われたことを確認します。転送先では保留中のままになります。



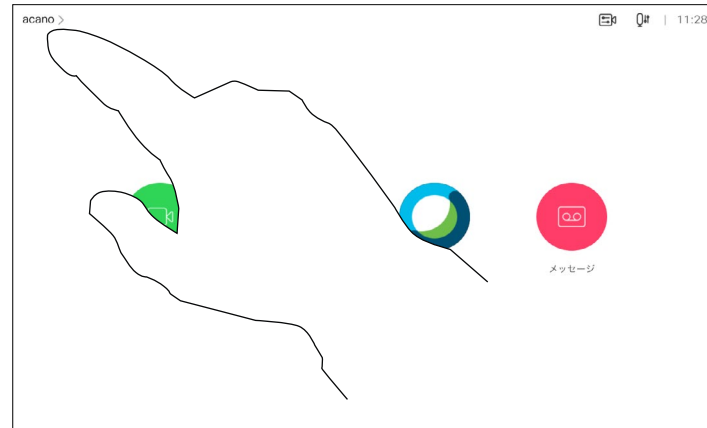
転送を完了をタップします。



# ビデオ通話: Touch コントローラ 応答不可を有効にする

## 応答不可について

1



図のように、左上をタップします。

2



図のように [応答不可] をタップします。この機能を非アクティブにするには、同じ手順を繰り返します。

着信コールに応答しないようにデバイスを設定することができます。そのまま使用して、他のユーザを呼び出すことができます。

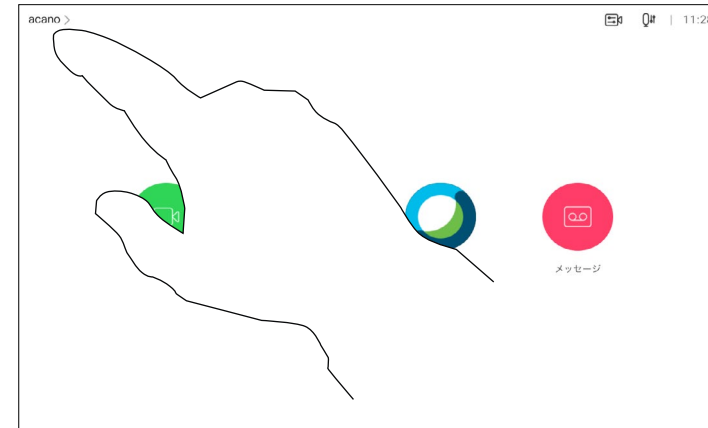
ビデオサポートチームがこの機能のタイムアウトを設定していて、その後デバイスが着信コールに応答して通常どおり応答している可能性があります。デフォルトのタイムアウト設定は 60 分です。

ビデオ サポート チームによって、表示されるメニューやオプションへのアクセスが無効になっている場合があることにご注意ください。



# ビデオ通話: Touch コントローラ すべてのコールの自動転送

1



図のように、左上をタップします。

2



自分で指定された受信者またはボイスメールに、すべての通話を転送するように選択できます。

## 通話の転送について

ビデオ サポート チームがすべての受信コールを転送するオプションを有効にしている場合もあります。ボイスメールに転送するか、受信者を指定して転送するかを選択できます。

すべてのコールを転送をタップすると、いつもの 通話メニューが表示され、受信者を指定できます。

ビデオ サポート チームによって、表示されるメニューやオプションへのアクセスが無効になっている場合があることにご注意ください。

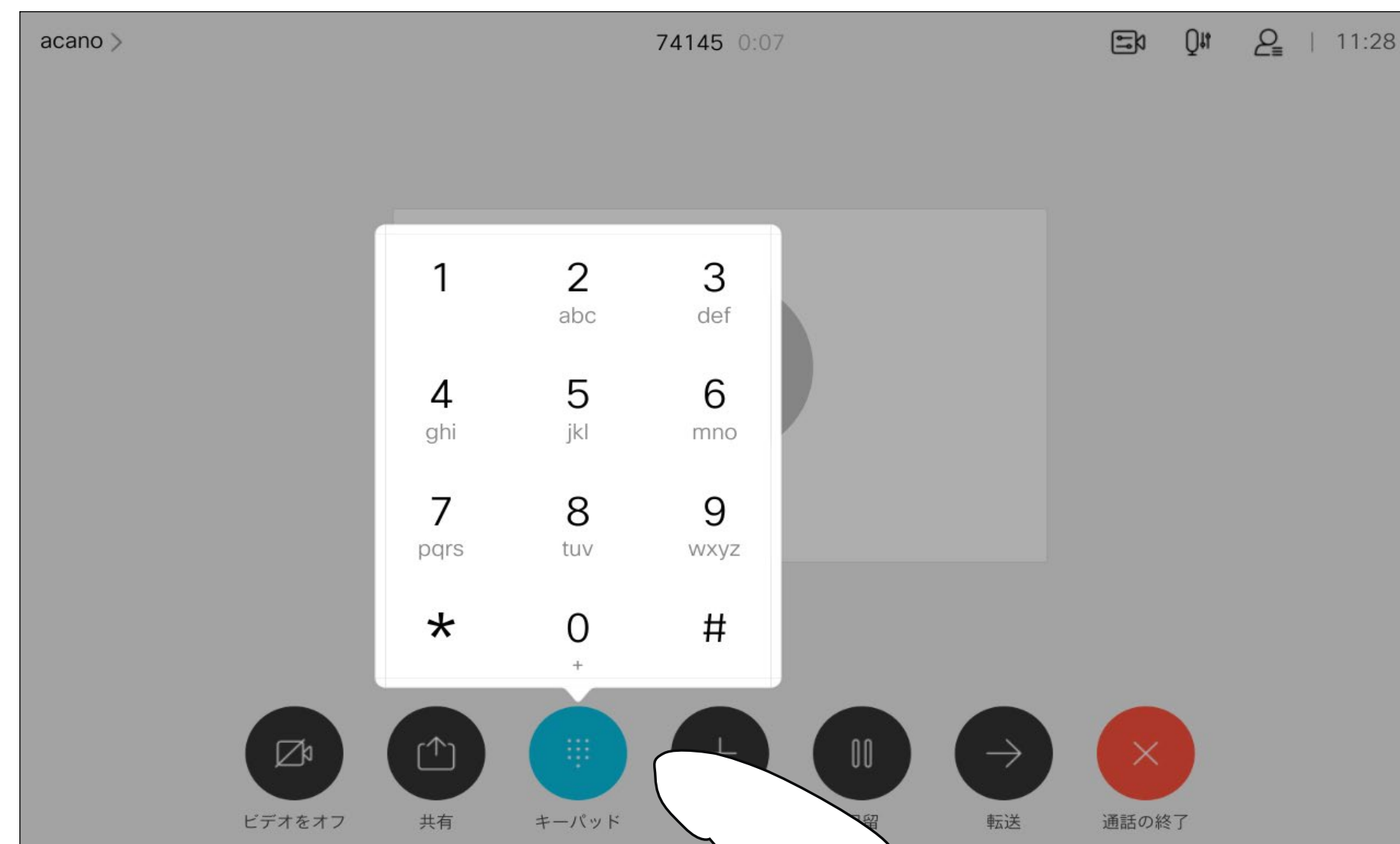
ビデオ通話: Touch コントローラ

## 通話中にキーパッドを表示

## 通話中のキーパッドの使用

通話中に、内線にアクセスできるようにするか、または何か(たとえば、PINコードを入力)に入れるようにするのに、番号を送信するように求められることがあります。

これを送信するには、タッチ画面のキーパッドを呼び出す必要があります。



通話中に キーパッドをタップすると、ダイヤルパッドが呼び出されます。



# ビデオ通話: Touch コントローラ 既存のコールへの参加者の追加

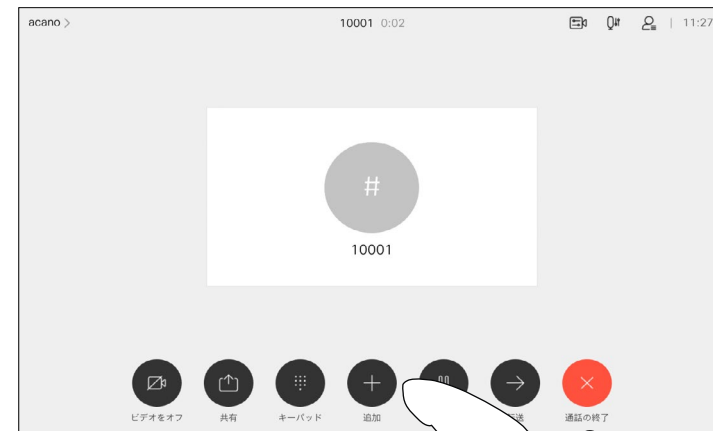
## ビデオ会議について

ネットワークには、複数の参加者とビデオ会議を開始する機能が装備されている場合があります。

デバイスでサポートされる参加者の最大数は、設定とビデオのインフラストラクチャによって異なります。これを確認するには、ビデオ サポート チームへお問い合わせください。

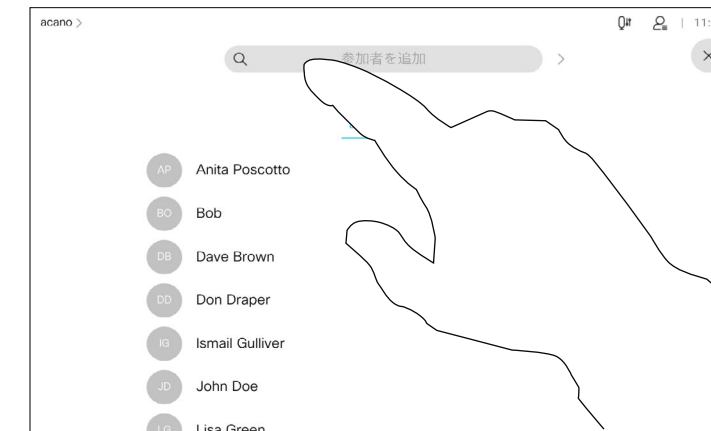
ビデオ会議を開始する場合は、参加者に一人ずつコールする必要があります。

1



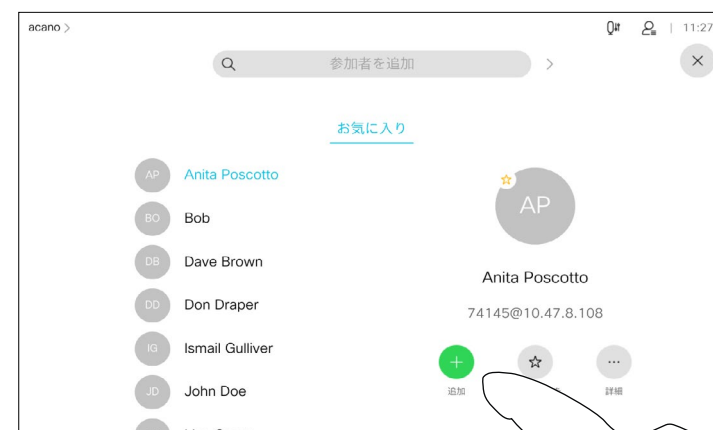
すでに通話状態であるとしてます。この通話は、あなた、または(あなたに対してコールした)他の人によって開始されています。追加をタップします。

2



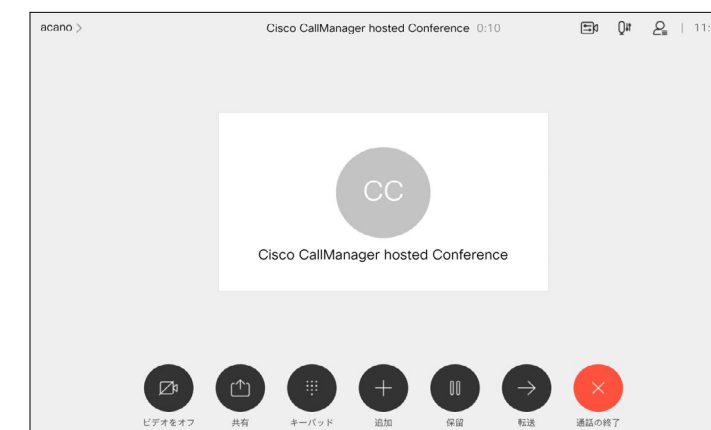
通常の方法で、発信先を探します。

3



通常の方法で発信します。

4



既存のコールにこの新しいコールが追加され、会議を確立しました。

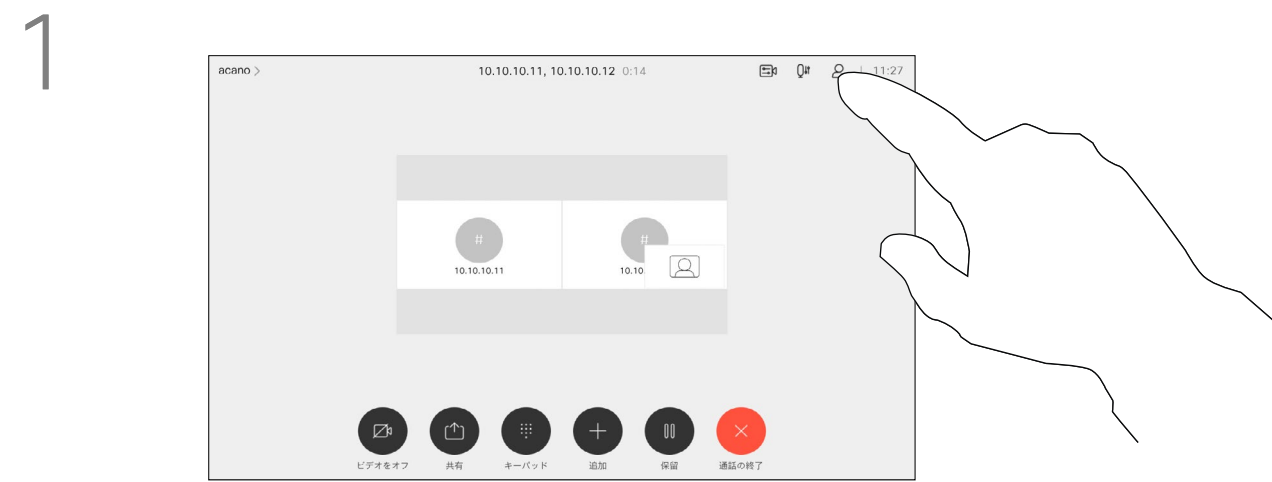
この手順を、ビデオインフラストラクチャで許可されている範囲に繰り返して、参加者を追加します。

# ビデオ通話: Touch コントローラ 会議から参加者を切断

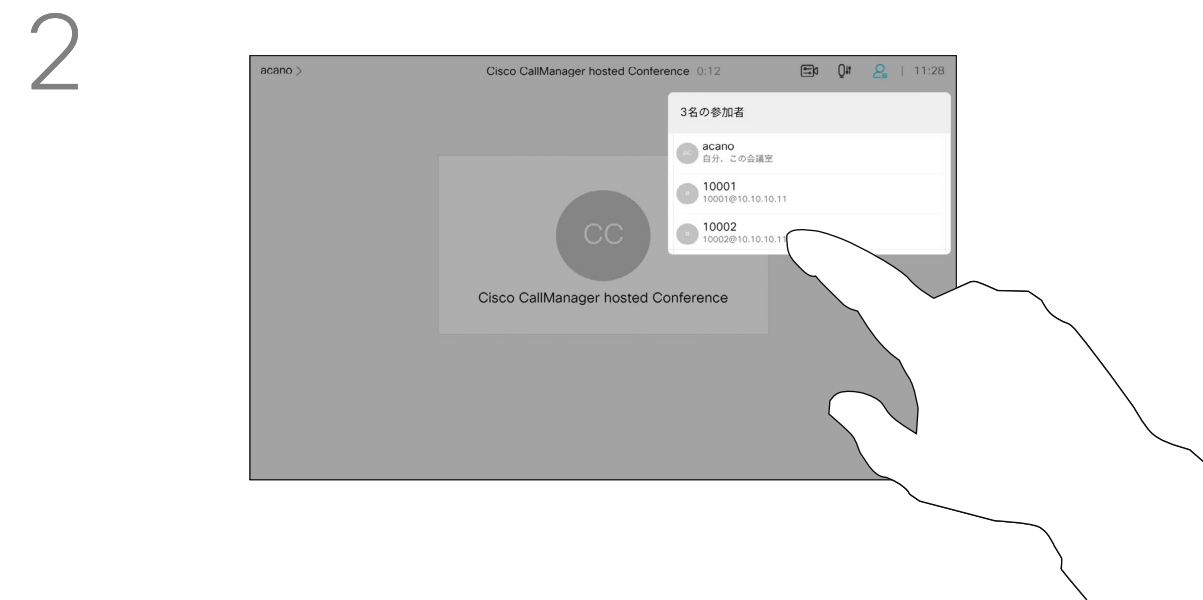
## ビデオ会議について

ビデオデバイスからビデオ会議を実施できるかどうかは、お使いのデバイスで 사용할 수 있는 경우와 그렇지 않은 경우가 있습니다。

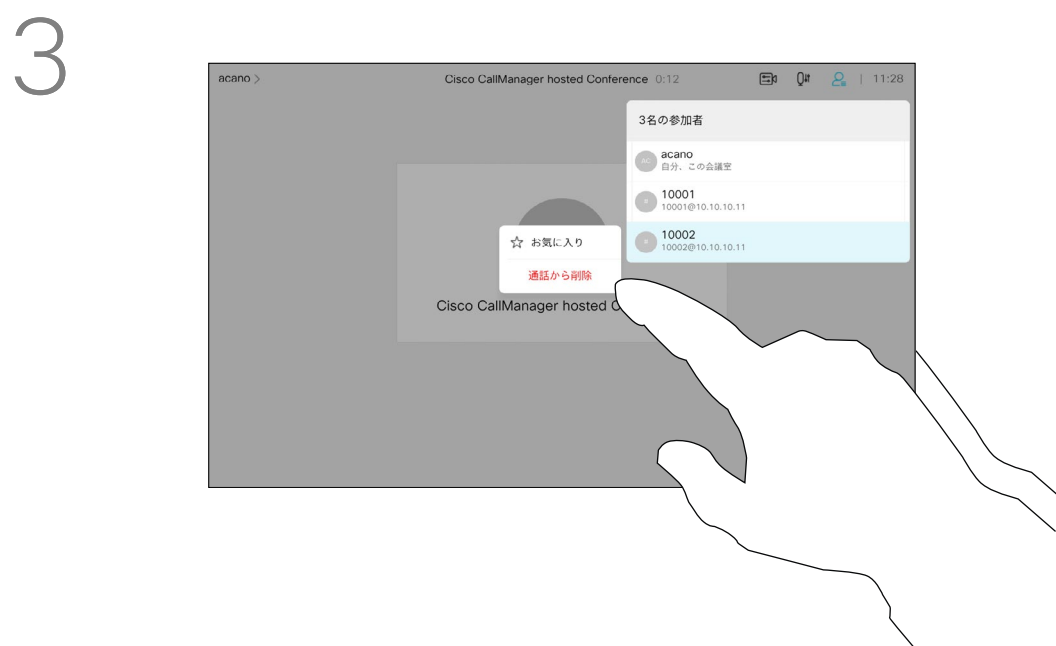
会議から参加者を切断できるのは会議のホストのみです。



通話中に、図のように、右上隅の参加者アイコンをタップして、参加者リストを呼び出します。



電話会議から切断する参加者をタップします。



コールから削除をタップします。



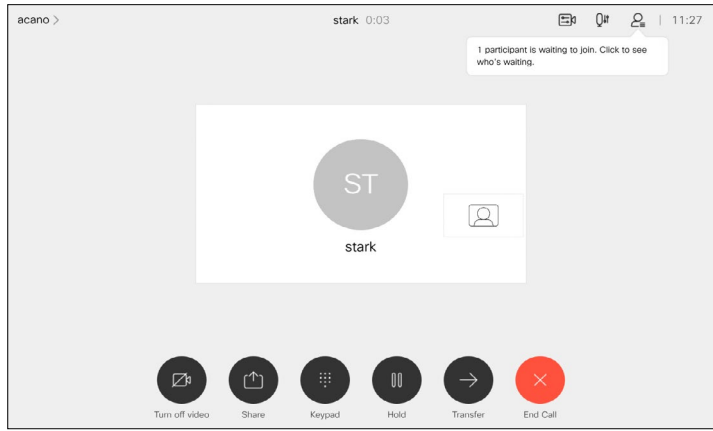
ビデオ通話: Touch コントローラ

# 参加者をミーティングに許可する

## 参加者の許可について

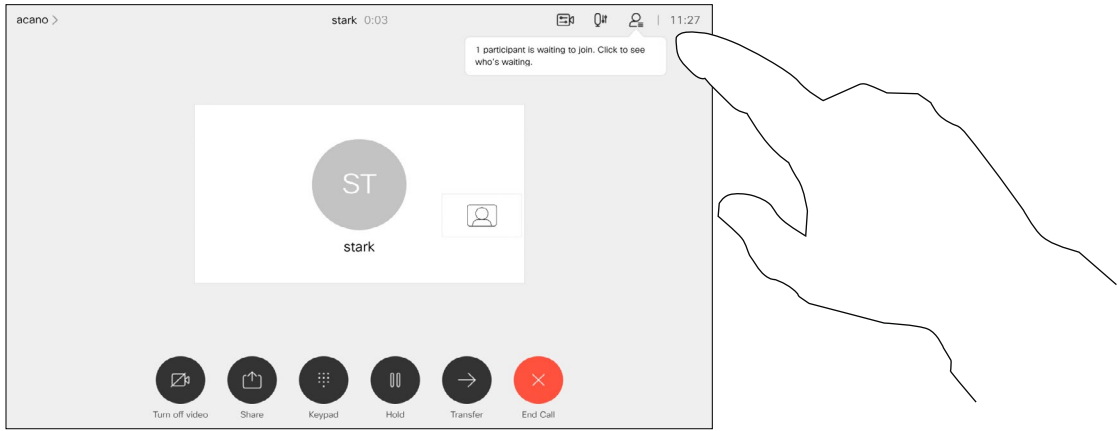
ロックされている CMS ミーティングでは、参加者を参加者一覧からミーティングに参加させることができます。

1



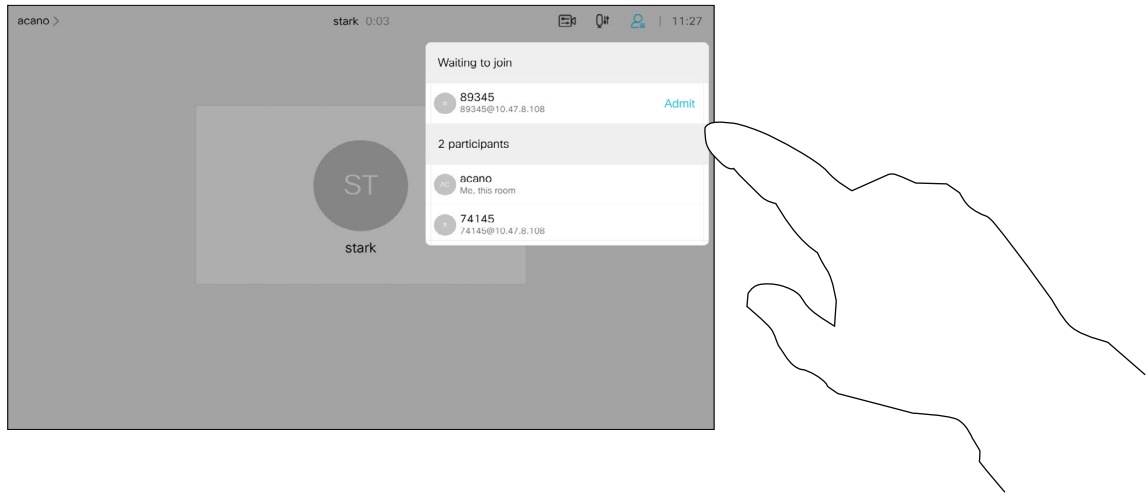
誰かがロビーで待機中の場合、画面にメッセージが表示されます。

2



参加者アイコンをタップして開きます。

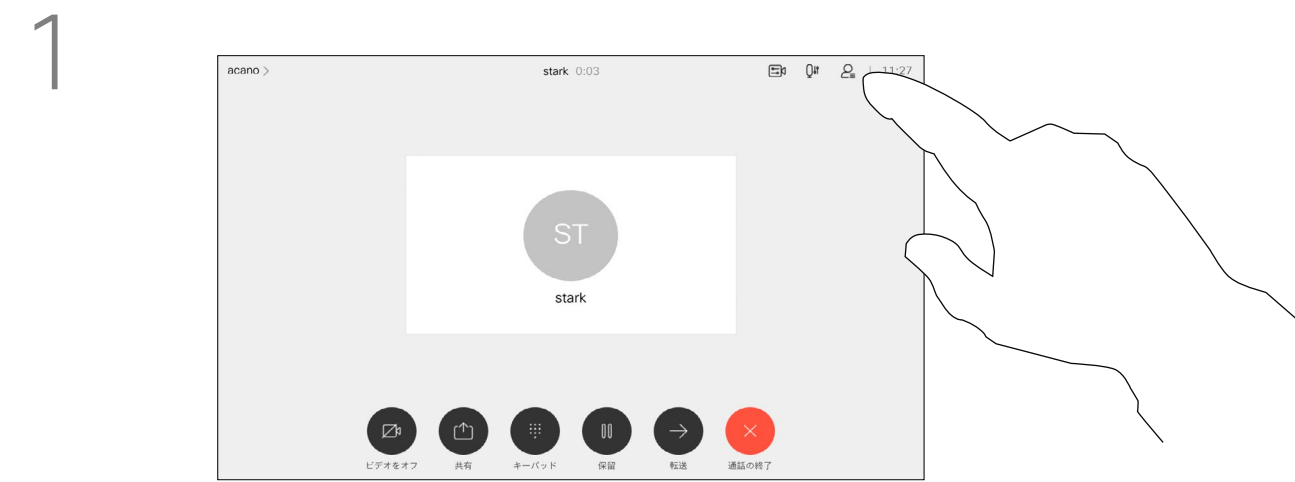
3



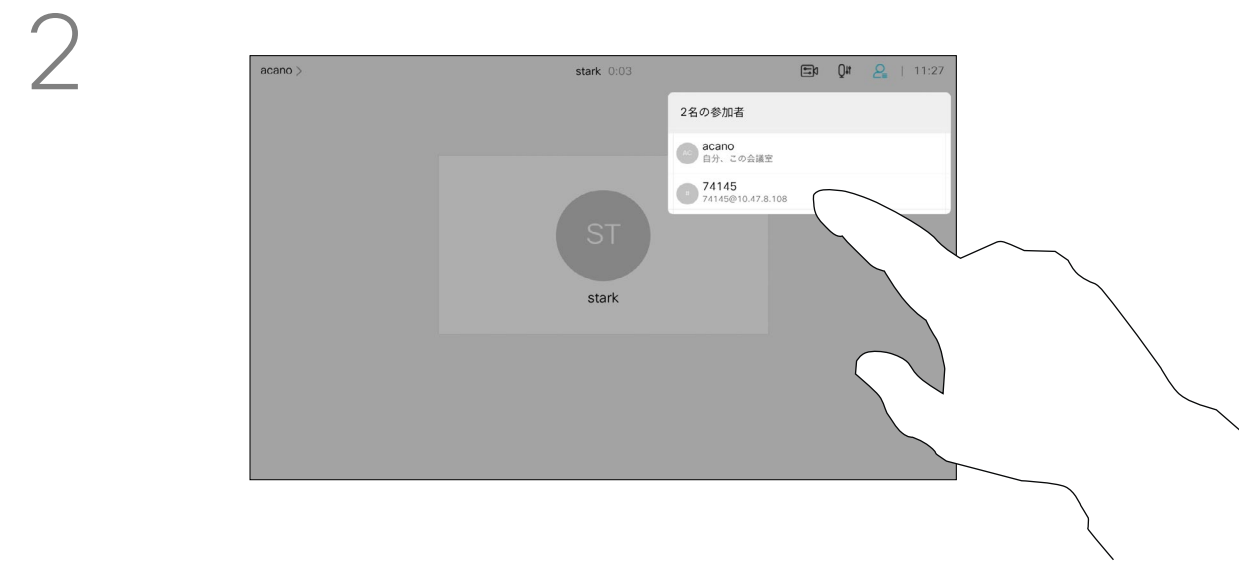
許可をタップして参加者をミーティングに参加させます。

# ビデオ通話: Touch コントローラ ミーティング中のスピーカーの固定

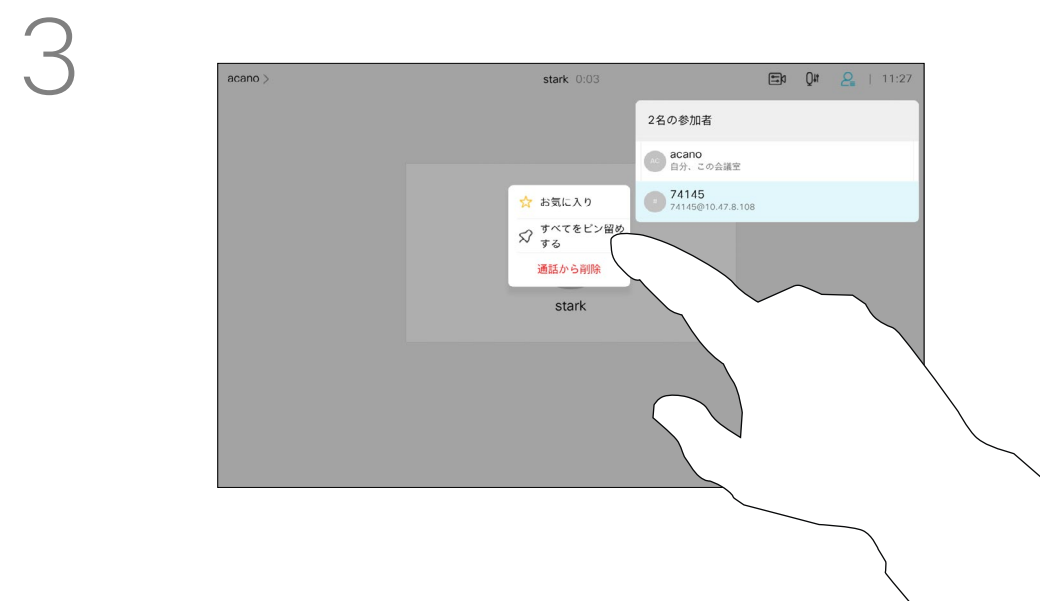
## スピーカーの固定について



通話中に、図のように右上隅の参加者アイコンをタップして、参加者リストを呼び出します。



固定する参加者をタップします。



すべて固定をタップします。

CMS ミーティングでは、ミーティングの参加者全員にとって重要であるとしてミーティングの参加者を固定することができます。このようにすると、参加者または会議室にアクティブなスピーカーでなくても、全画面に表示されます。

スピーカーを固定すると、そのスピーカーが固定されていることを示す通知が画面に表示されます。同様に、固定を解除すると、それらの固定が解除されたというメッセージが表示されます。

音声のみの参加者を固定する場合、この設定はレイアウトには反映されません。

デフォルトでは、ホストのみがすべてを固定できますが、ミーティングの開催者は会議の設定でこれを変更することができます。

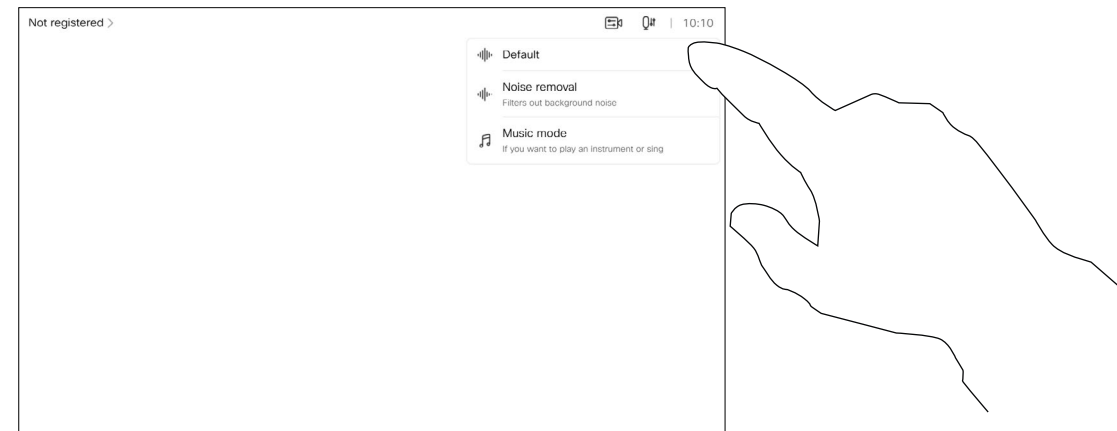
スピーカーは、CMS ミーティングでのみミーティング全体に対して固定できます。



ビデオ通話: Touch コントローラ

# ミュージックモードの使用

1



ホーム画面のマイクアイコンをタップし、[音楽モード (Music mode)] を選択します。

ミュージックモードをオフにするには、もう一度 [デフォルト (Default)] ボタンを選択します。

## ミュージックモードについて

ミュージックモードを使用すると、通話中に、音楽のダイナミックレンジを流すことができます。これにより、音楽のニュアンスを聞くのが重要な設定で、より良いエクスペリエンスが作成されます。

ミュージックモードは、リモートミュージックのレッスンや楽器のテスト、およびすべての範囲の音楽を聞くことが重要な場合に便利です。デバイスは依然として、エコーキャンセレーションと環境背景雑音のリダクション機能を使用して、パフォーマンスを損なうことなく外部装置を使用する必要を回避します。

ミュージックモードを使用していない場合は、デバイスによって雑音がフィルタリングされ、音声のレベルの違いが減少します。これにより、ミーティングの設定に対応し、気を散らすノイズを減らすことができます。デバイスを使用して録音された音楽を再生する場合にも、追加のフィルタリングが適切に機能します。

ミュージックモードを使用するには、まずデバイス上で有効にする必要があります。ホーム画面の左上隅にあるデバイス名を選択して、**設定** > **ミュージックモード**に移動してトグルをオンに切り替えます。

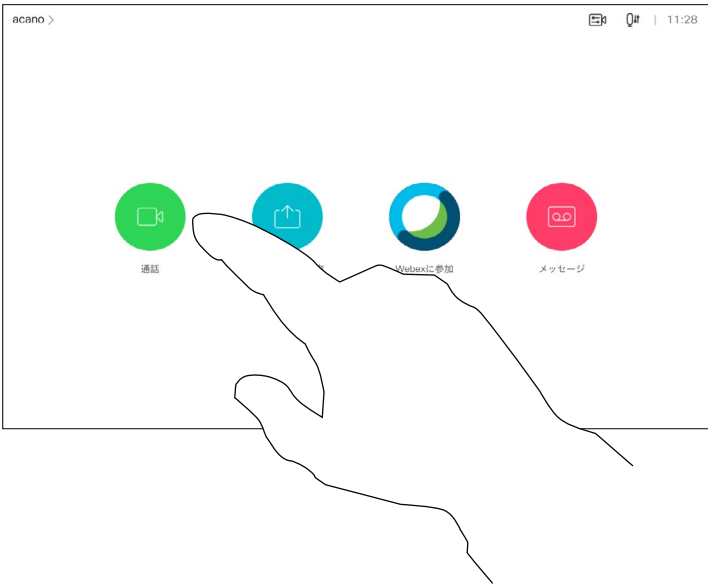
ビデオ通話: Touch コントローラ

# 最近の通話のコール詳細検索

## 通話の詳細について

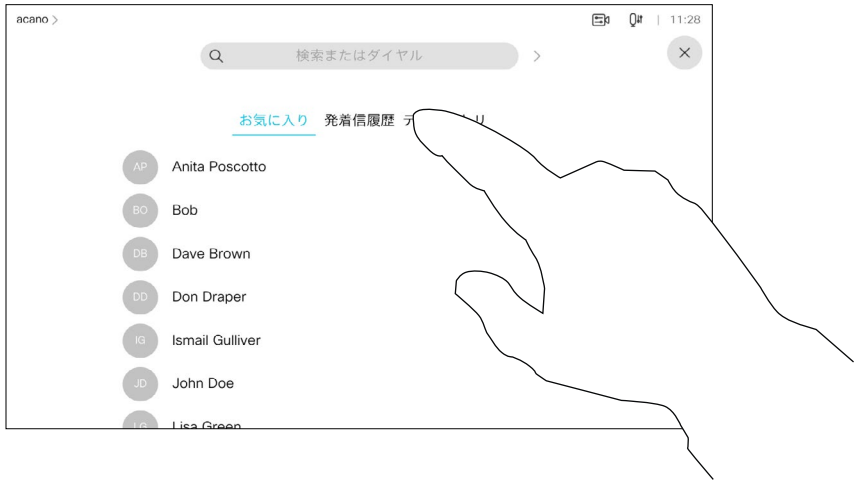
最近の通話のトラブルシューティングを行う必要がある場合は、[最近の通話] リストから通話の詳細を見つけることができます。

1



通話ボタンをタップします。

2



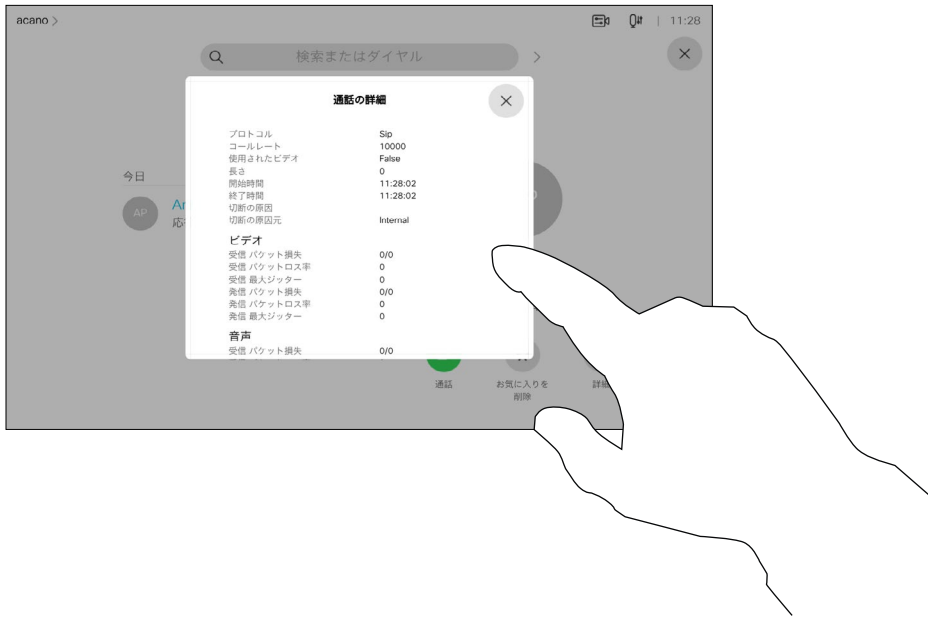
最近をタップしてスクロールし、情報を確認します。

3



エントリが見つけたら、タップして [通話] メニューを表示します。[通話] メニューで、図に示すようにMoreをタップして、通話詳細をタップします。

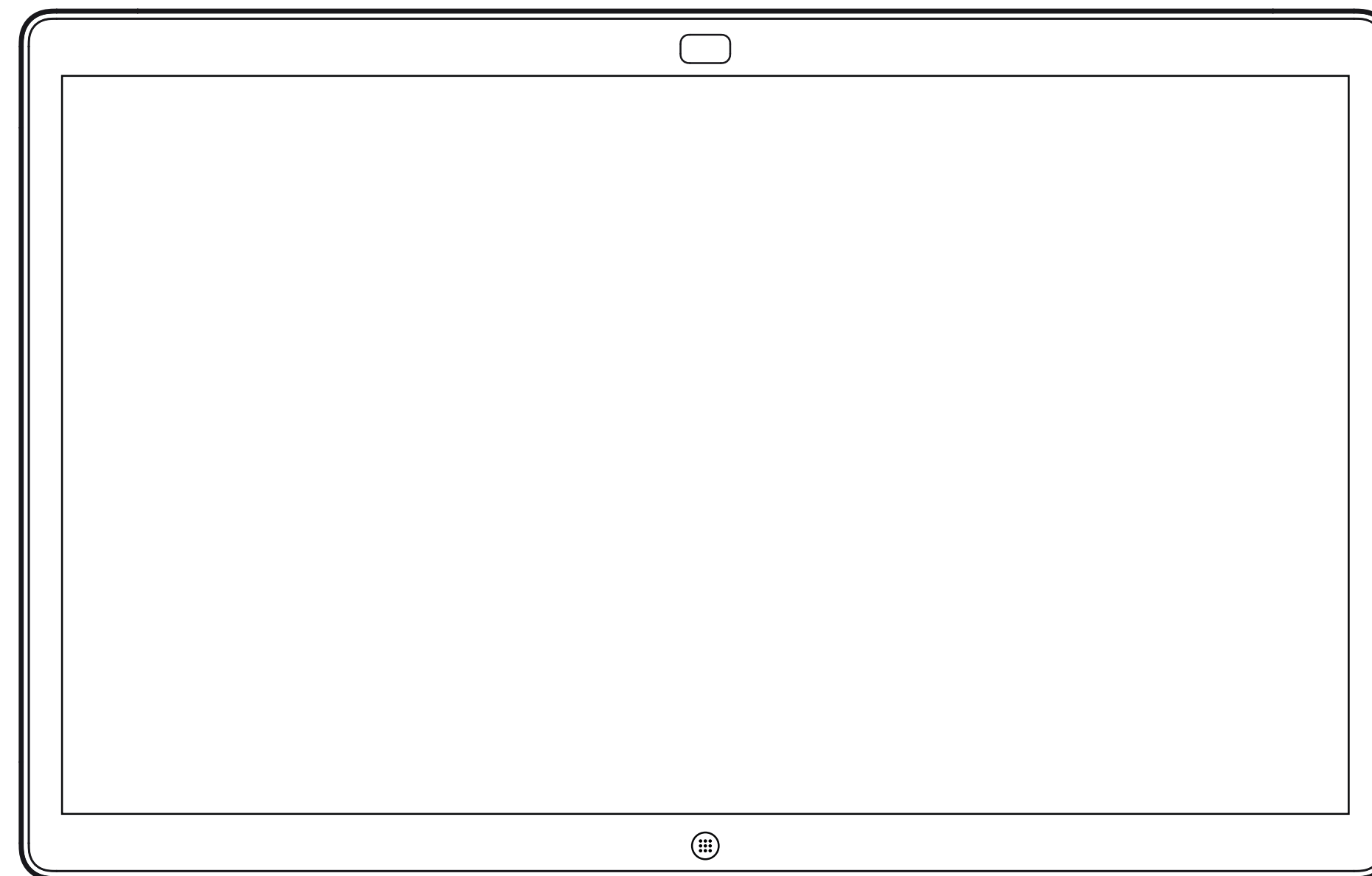
4



[通話情報] ペインをスクロールして、必要な情報を探します。

× をタップしてペインを閉じます。



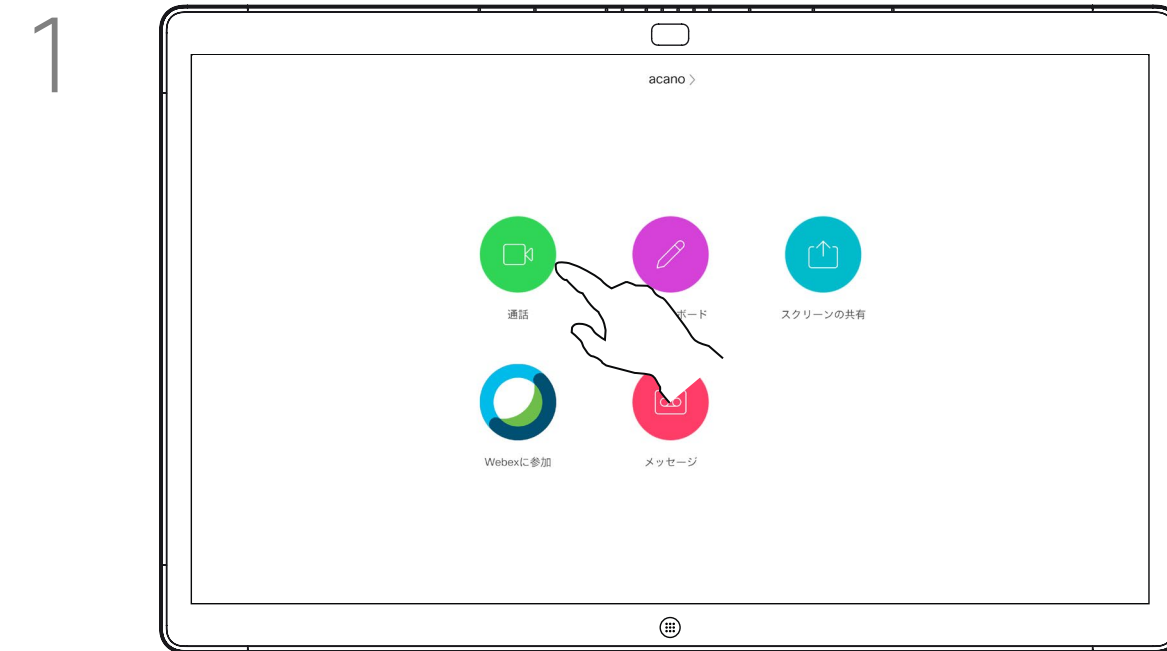


Webex Board

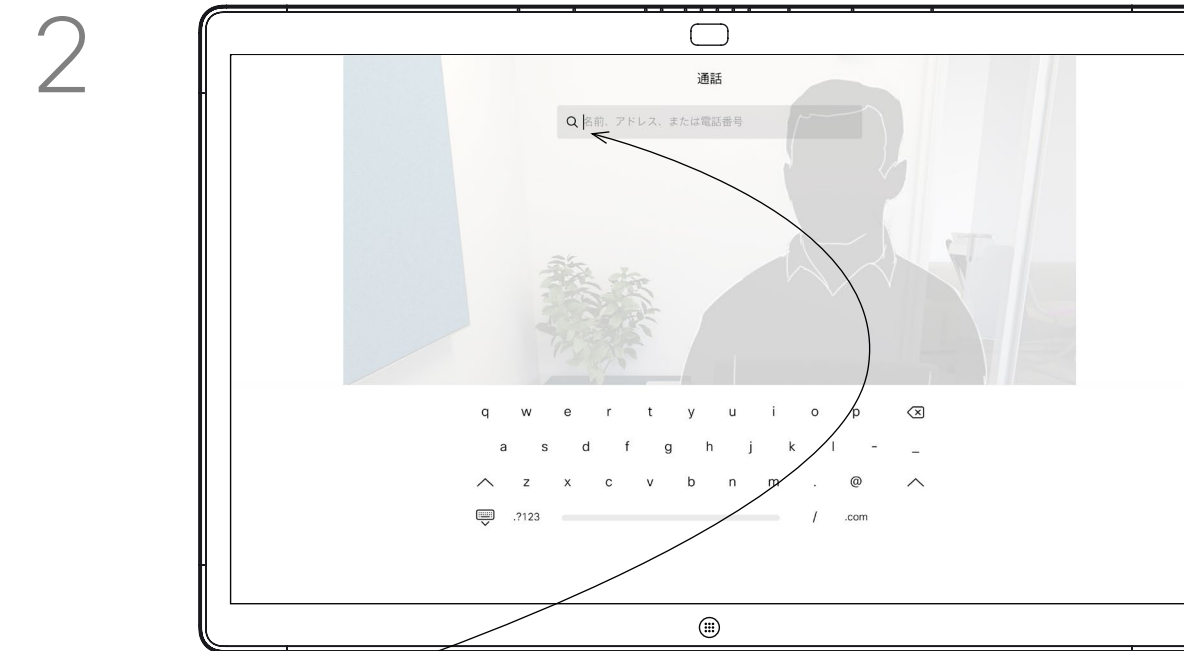
# Webex Board を使用したビデオ通話

# ビデオ通話: Webex Board コールの発信

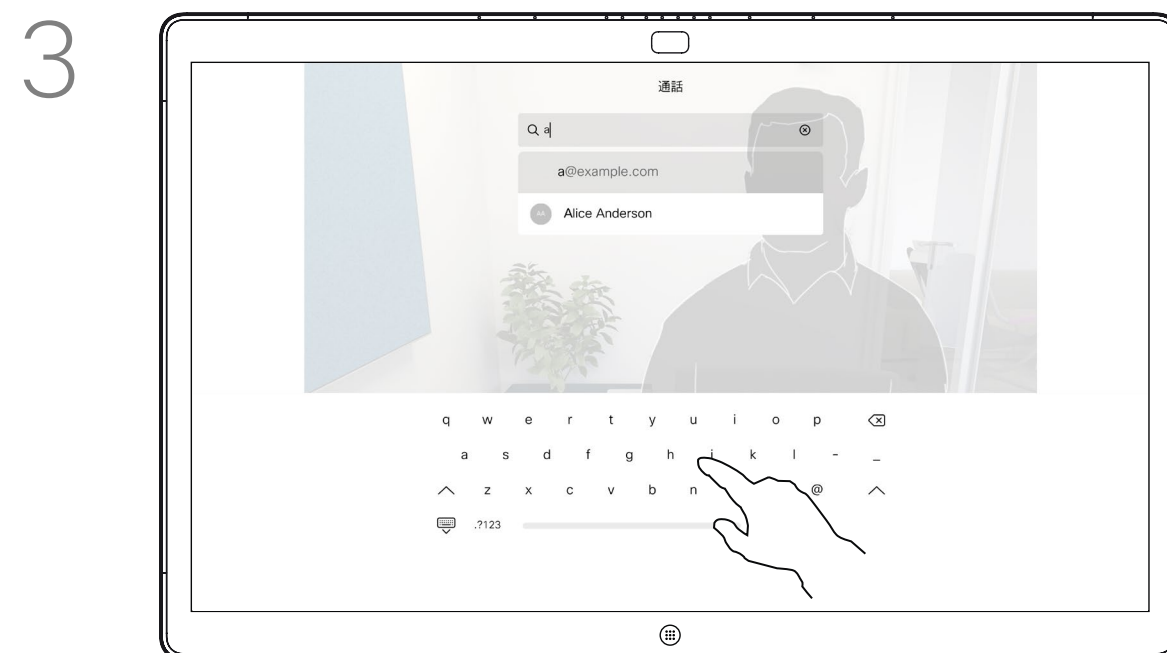
## 発信について



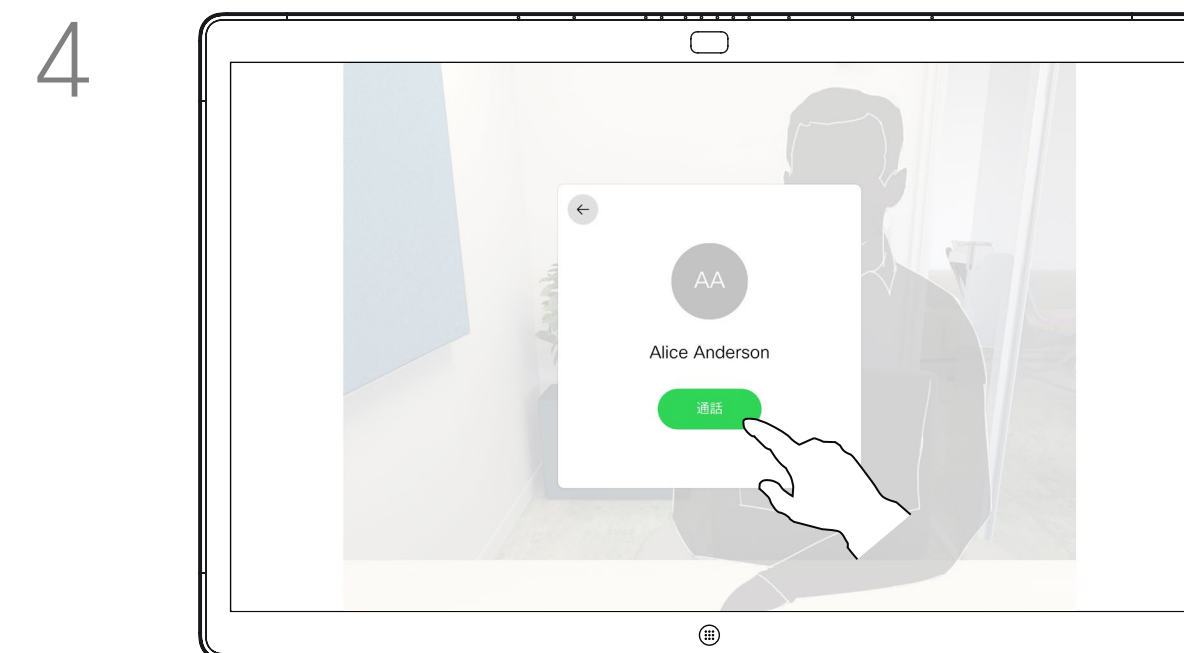
1 通話ボタンをタップします。



2 テキスト入力フィールドにカーソルが表示され、仮想キーボードが開きます。



3 名前、番号、またはアドレスを入力します。入力したとおり、一致するものや候補が表示されます。一覧で求める連絡先が表示され場合はそれをタップします。それ以外の場合は入力を続けます。



4 通話先を入力または特定できたら、名前をタップしてから、緑色の 発信ボタンをタップして発信します。

電話帳に登録されているすべての人、またはこれまでにコールしたことがあるユーザであれば、そのユーザがお使いの場合は、入力中に一致する候補リストに表示されます。Webex Board では、発信履歴、お気に入り、または電話帳エントリが同じ方法で処理されます。

発信履歴/お気に入り/電話帳機能には、Webex Board に接続された Touch 10 が必要です。

場合によっては、内線にアクセス、または暗証番号を提供するために、コール中に番号を入力する必要がある場合があります。これには、数字のキーパッドが必要です。

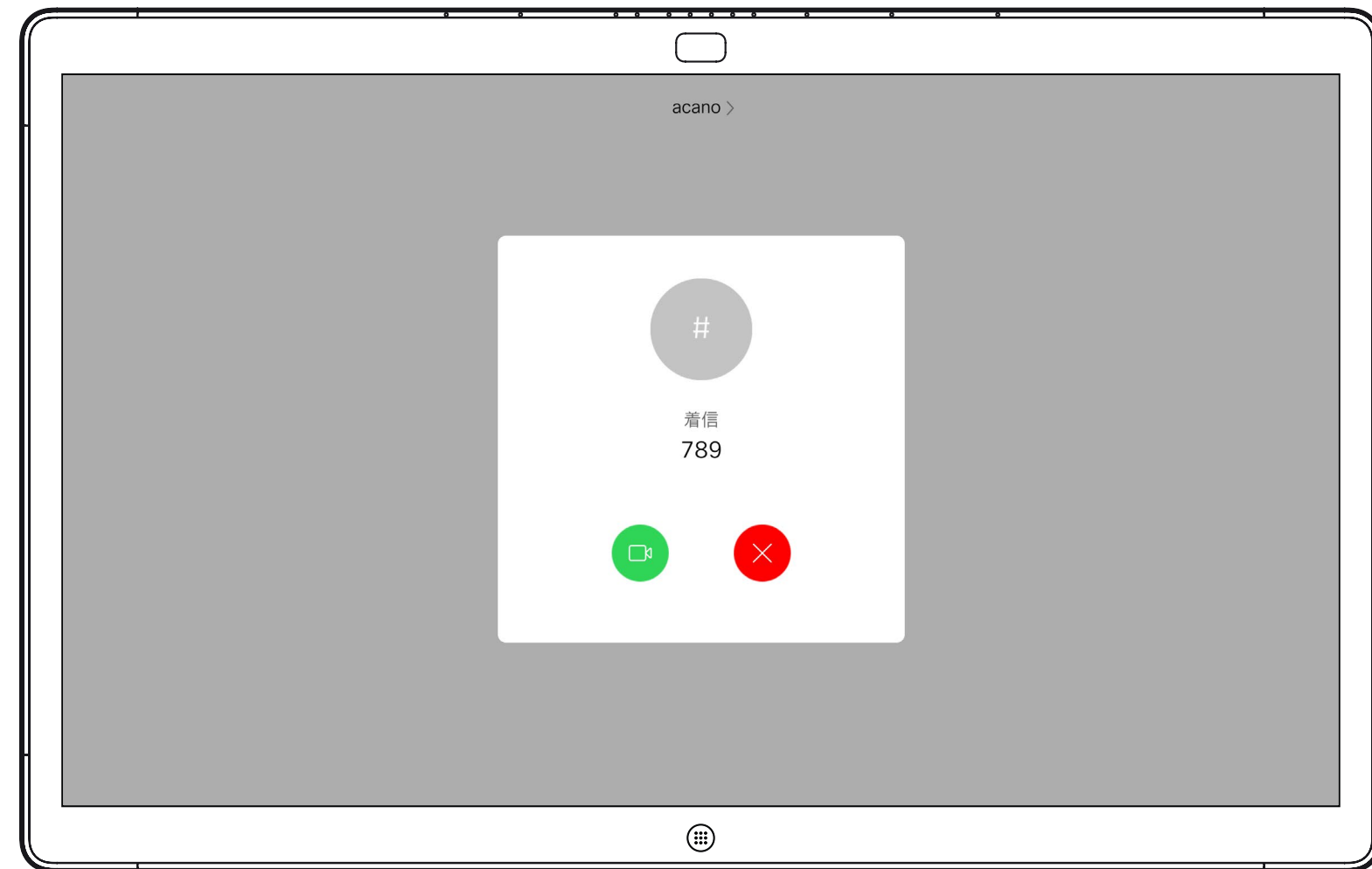


画面をタップして、図のようにボタンを表示します。次に、青いボタンをタップして、数字キーパッドを開きます。



# ビデオ通話: Webex Board コールの受信

## 着信があった場合



非通話時の着信コール。[拒否] ボタン (左) を押してから、赤ボタン (右) を拒否します。

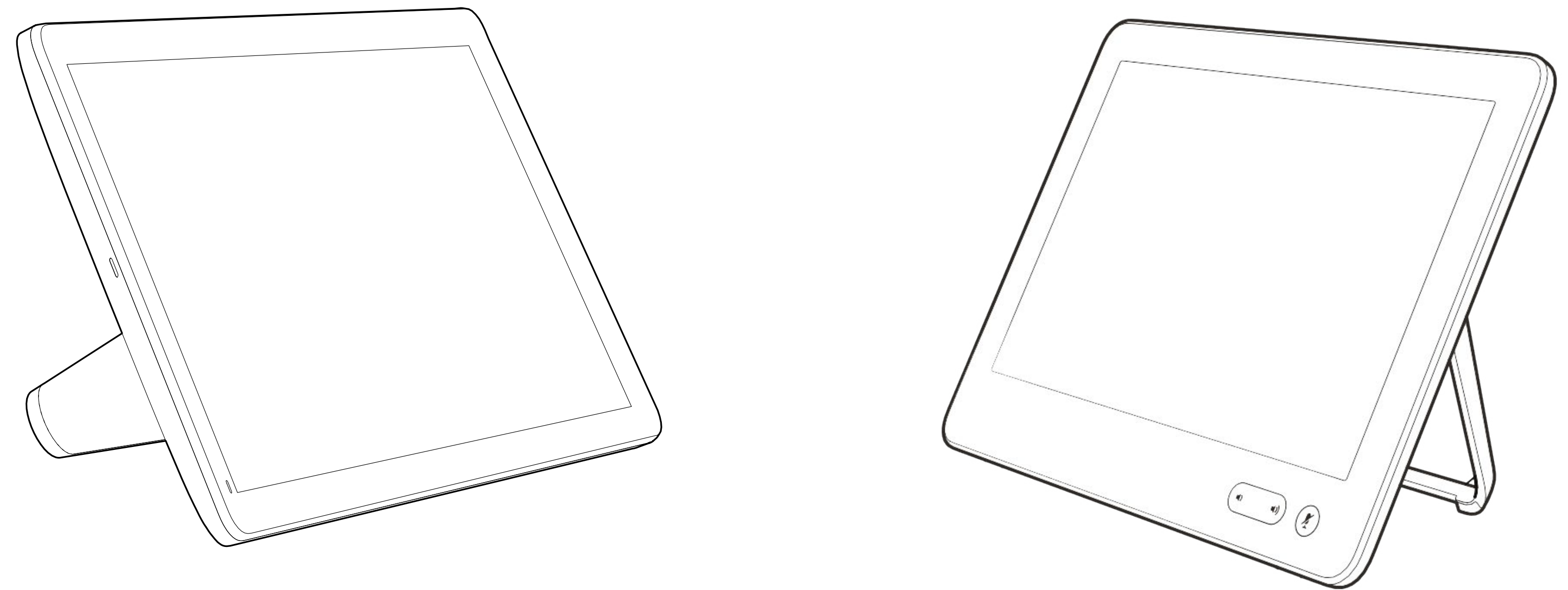


通話中の着信コール。[拒否] ボタン (左) を押してから、赤ボタン (右) を拒否します。

- ・ ユーザからコールがあれば、そのコールを受け入れる、拒否する、あるいは無視するかのいずれかになります。
- ・ 通話を拒否すると、通話中の情報が発信者に送信されます。
- ・ コールを無視すると、発信者はこのことを、不在として認識します (コールに応答しなかった場合)。

**ヒント:** 画面を次の図のようにするには、コール中に画面をタップするだけです。





# インテリジェント近接通信

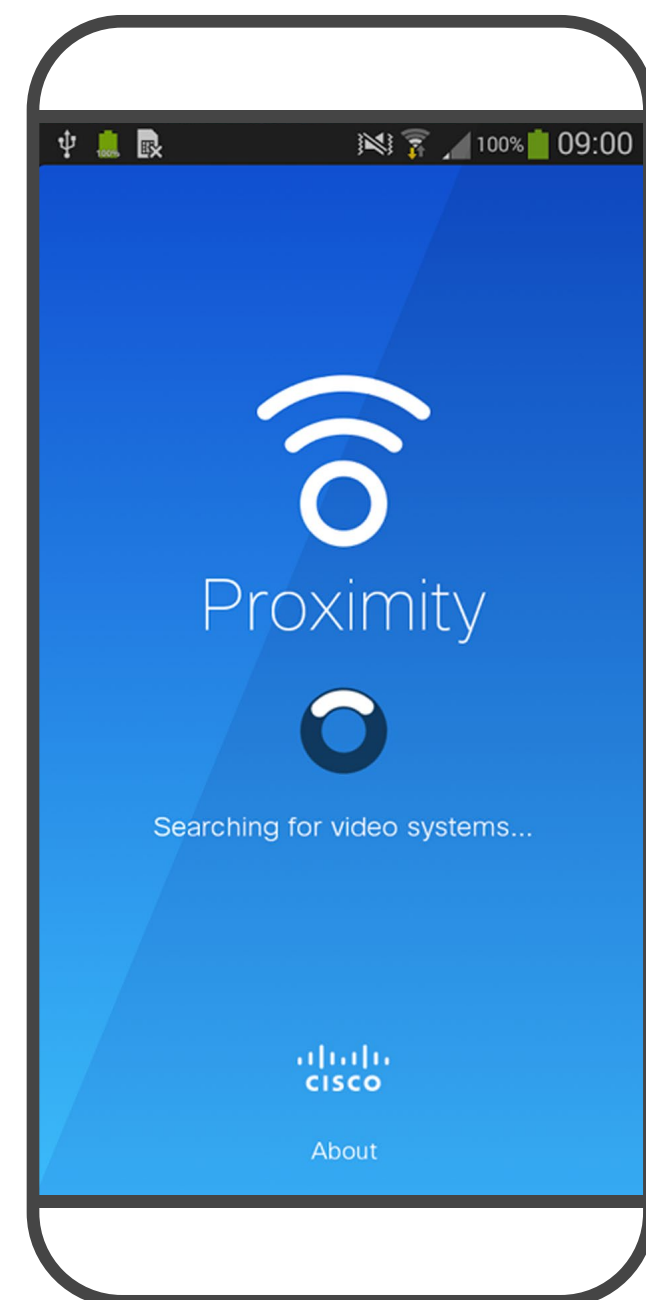


# Cisco 近接通信の超音波信号

Cisco ビデオデバイスは、近接機能の一部として超音波を発しています。業務用または商用アプリケーション、家電製品など、ほとんどの人は毎日さまざまな環境で、程度の差はあれ超音波にさらされています。

人によっては空中の超音波によって何らかの影響を自覚する場合がありますが、75 dB 未満の音圧レベルで影響が生じることはほとんどありません。超音波の制限に関するガイドラインは国によって大きく異なります。Cisco 近接通信信号が出力される 20 kHzあたりの周波数帯で検出される 75 dBの音圧レベルは、現在の制限における最小値となっています。

この情報の参考資料として、カナダ保健省のガイドライン [http://www.hc-sc.gc.ca/ewh-semt/pubs/radiation/safety-code\\_24-securite/index-eng.php#a2.2.2](http://www.hc-sc.gc.ca/ewh-semt/pubs/radiation/safety-code_24-securite/index-eng.php#a2.2.2) (英語) をご覧ください。



120 dB未満の音圧レベルでは永続的または一時的な難聴はどちらも発生していないと、このガイドラインでは述べられています。

Cisco Webex board では、超音波の音圧レベルは 75 dB 未満で、20 cm 以上の距離で画面の正面に位置しています。このレベルはディスプレイの真下では、スピーカーが下向きであるため若干高くなる可能性があります。

ほとんどの現実的なケースでは、ユーザの耳の位置でのレベルは、スピーカーの指向性、距離減衰、一般的な会議室での高い高周波数吸収率によって、これらの最大レベルよりはるかに低くなります。このレベルは、可聴音についてミーティングスペースの一般的なバックグラウンド/環境ノイズ レベルから通常のスピーチのいわゆる会話レベルまでさまざまです。

したがって、人間が近接通信の信号に連続的にさらされても安全であると考えられます。ほとんどの人は、信号の存在に気付かず、信号の影響を受けません。ただし、特に急性の高周波聴力を持つ一部の個人は、この信号が聞こえます。この状況はほとんどの場合、スピーカーの正面かつ近傍で起こります。

犬のような動物は、可聴周波数範囲が広いので、近接通信の信号が聞こえます。

ただし、音の影響はレベルに依存し、犬の可聴レベルの範囲は人と大きくは異なります。20 kHz での犬の可聴しきい値は 0-10 dB と低く、最も感度の高い周波数範囲での人の耳のしきい値と変わりません。

シスコは、信号が犬に影響を及ぼす可能性についてテストや検証を行っていません。レベルが制限されているため、犬に信号が聞こえることが明らかであるとしても、犬にとってわずらわしいものではないと信じられています。

オフィスまたは会議室にいる犬は、通常のバックグラウンドノイズと同等のレベルまたはほとんどの会話レベルの超音波を受けることになります。当社の製品にこの機能を搭載したここ数年間で、信号によって動物が影響を受けたというレポートはありません。

ただし、超音波を使用する犬撃退デバイスが存在していることから、超音波が犬に及ぼす影響について疑問を持つことは当然のことです。これらのデバイスは通常、不快ではあるが無害な超音波を使用していると主張しています。シスコは、犬撃退デバイスの設計について見識はありませんが、このようなデバイスの仕様を調べると、そのレベルが 100 dB 以上であることが多いことがわかります。

シスコのビデオコーデックをサードパーティ製のスピーカーシステムと組み合わせて使用するソリューションについては、シスコは超音波の音圧レベルを制御できません。ほとんどの場合、必要なスピーカー感度および周波数応答によって、音圧レベルは 75 dB の制限未満になります。しかし、過剰な信号の外部増幅を行う、またはスピーカーシステムが高周波を強調するものであった場合、この制限を超えた音圧が出力される可能性があります。

## 近接通信について

インテリジェント近接機能を使用すると、コンピュータからビデオデバイス上のワイヤレスでコンテンツを共有できます。スマートフォンやタブレットでは、共有コンテンツを自分の画面に直接表示することもできます。

また、自分のスマートフォン、タブレット、PC、または MAC を使用して、ビデオデバイスのコールを制御することもできます。

次の条件に従ってください。

App Store または Google Play から、Cisco Intelligent Proximity アプリケーション (無料) をダウンロードする必要があります。

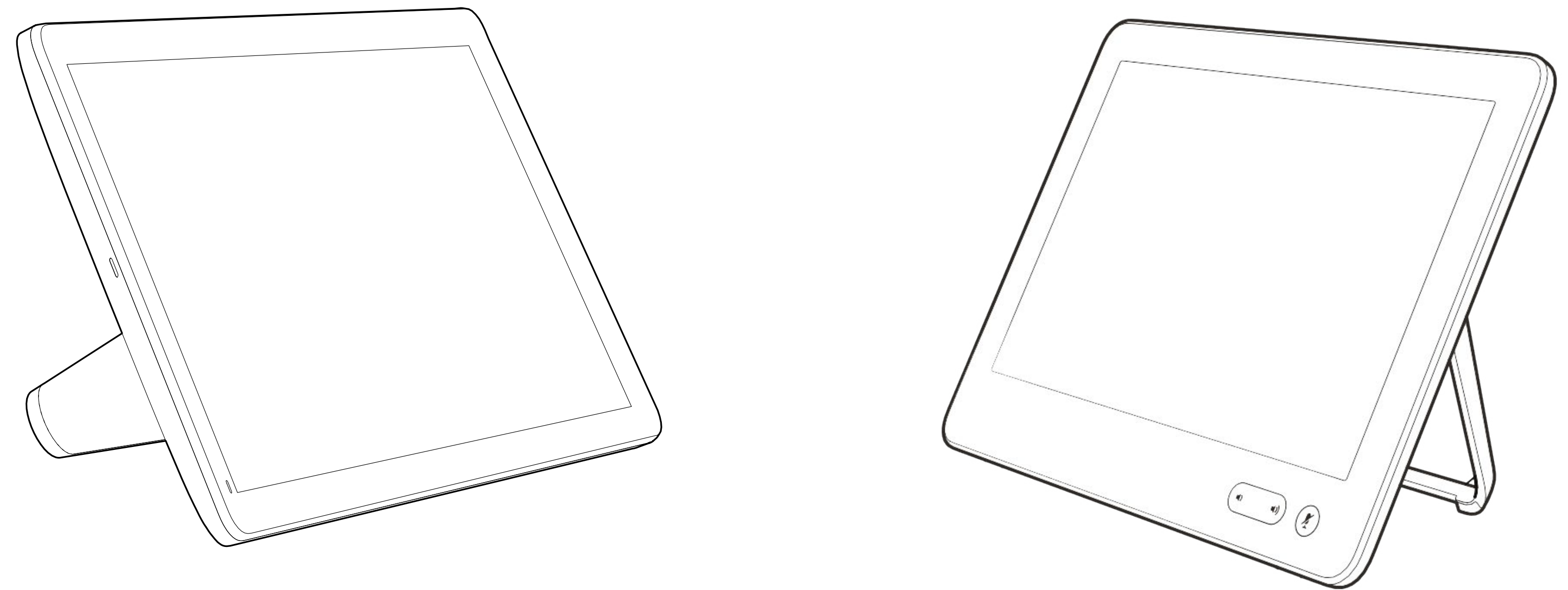
Windows または OS X ユーザは、<https://proximity.cisco.com/>に移動してください。

ビデオサポートチームは、すべての機能を有効にしている場合も、無効にしている場合も、一部の機能だけを有効にしている場合もあります。

インテリジェント近接通信は、ユーザの接続時に超音波を利用します (詳細は左記参照)。コンピュータやスマートフォン、タブレットのマイクをふさがないようにしてください。

インテリジェント近接通信は、会議室のドアが閉じられた状態では、ミーティング室の外側では機能しないように設計されています。この機能を使用するには、ビデオエンドポイントの近くにデバイスを置く必要があります。

プライバシーの保護が必要な場合は、常に会議室の扉を閉めて、隣室に音が漏れないように配慮してください。



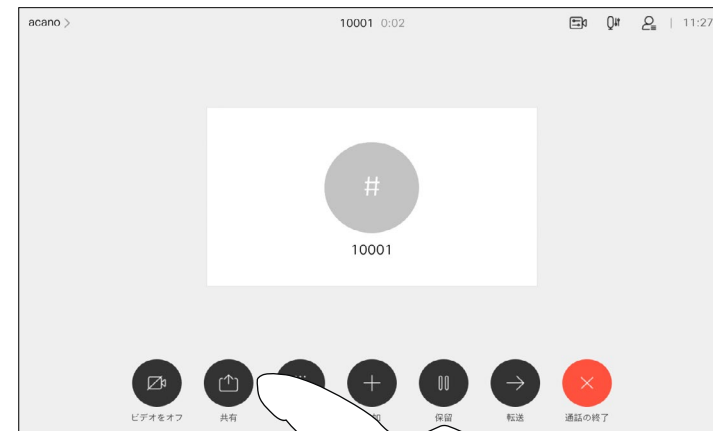
# Touch コントローラを使用したコンテンツ共有



# コンテンツ共有: Touch コントローラ 通話中のコンテンツ共有

## コンテンツ共有について

1



適切なケーブルを使用してビデオデバイスにソースを接続し、スイッチがオンになっていることを確認して、共有をタップします。

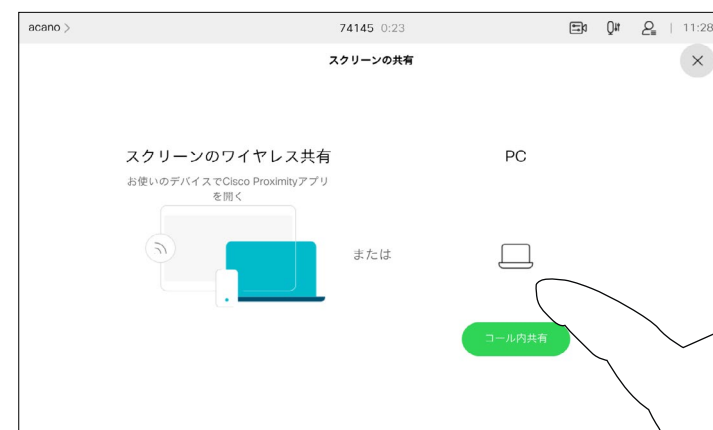
2



ローカルプレビューをタップすると、自分のビデオデバイスだけで共有する格納ファイルが表示されます。格納ファイルはリモートの参加者と共有されません。

前の表示に戻るには、図のように右上隅の [X] をタップします。

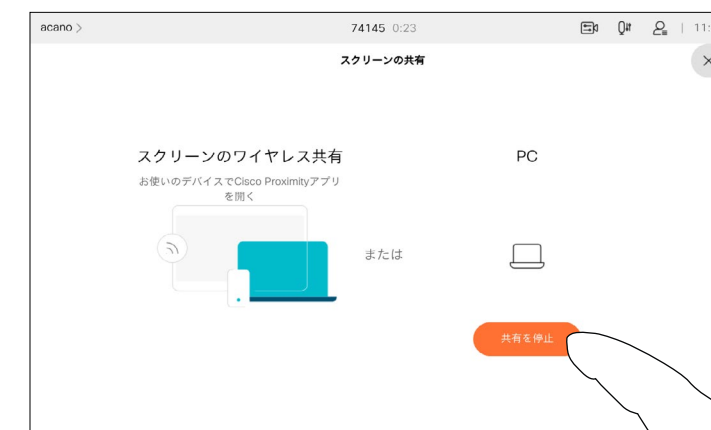
3



プレビューを中止するには、プレビューを中止 をタップします。

リモート参加者とコンテンツを共有するには、通話中に共有 をタップします。

4



リモート参加者とのコンテンツ共有を中止するには、共有を停止 をタップします。

お使いのデバイスは、ビデオコールでプレゼンテーションを表示する機能をサポートしています。

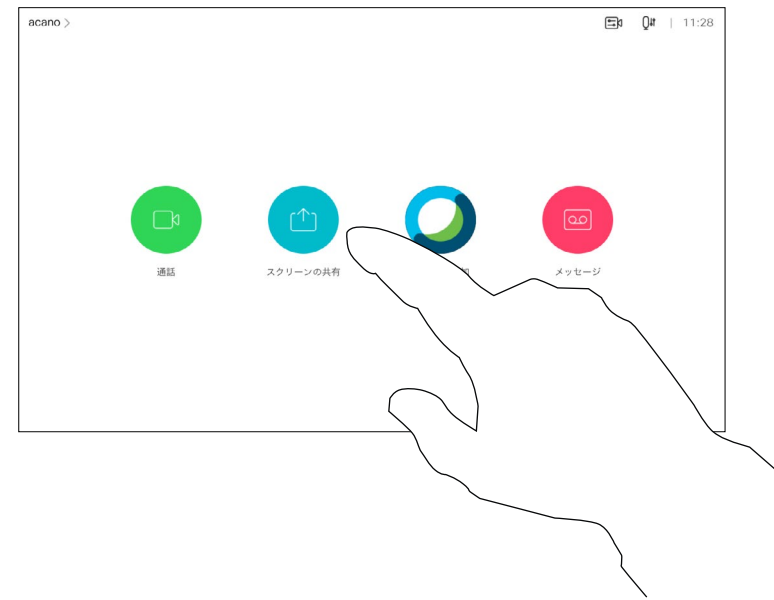
お使いのノートパソコンがインテリジェントな近接通信を持つようになっている場合は、デバイスをビデオデバイスとペアリングし、ワイヤレスで格納ファイルを共有できます。

プレゼンテーション中にレイアウトを変更できます。これについては、次のページを参照してください。

# コンテンツ共有: Touch コントローラ コール外でコンテンツを共有する

## ローカル コンテンツの共有

1



適切なケーブルを使用してビデオデバイスにソースデバイスを接続し、スイッチがオンになっていることを確認して、共有をタップします。

2



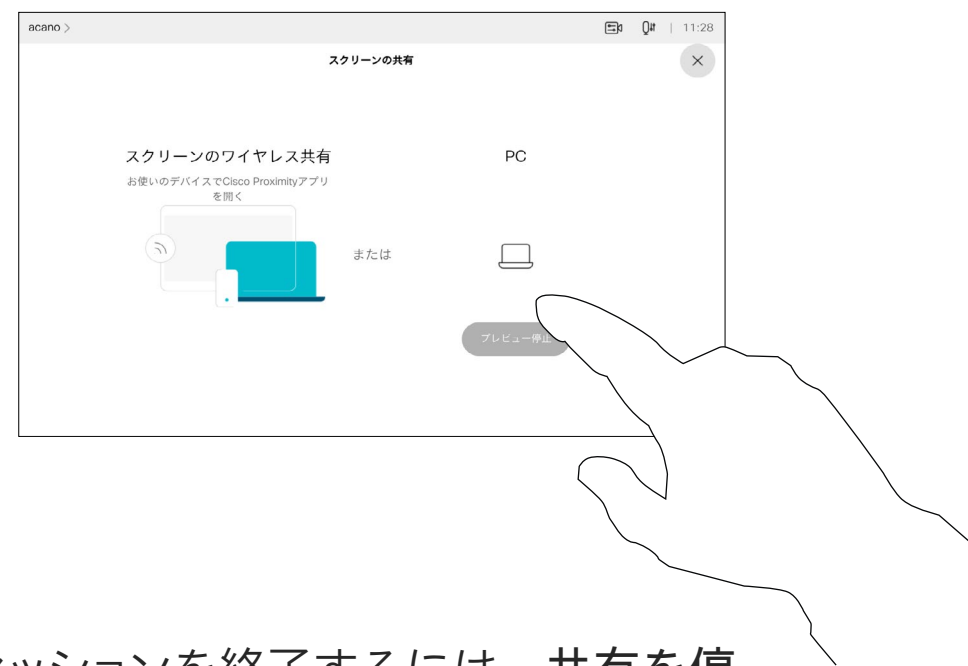
共有をタップして、デバイスの画面のコンテンツを表示します。

前の表示に戻るには、図のように右上隅の [X] をタップします。

お使いのビデオデバイスをローカルミーティングで使用して、コールの外部でコンテンツを提示および共有することもできます。

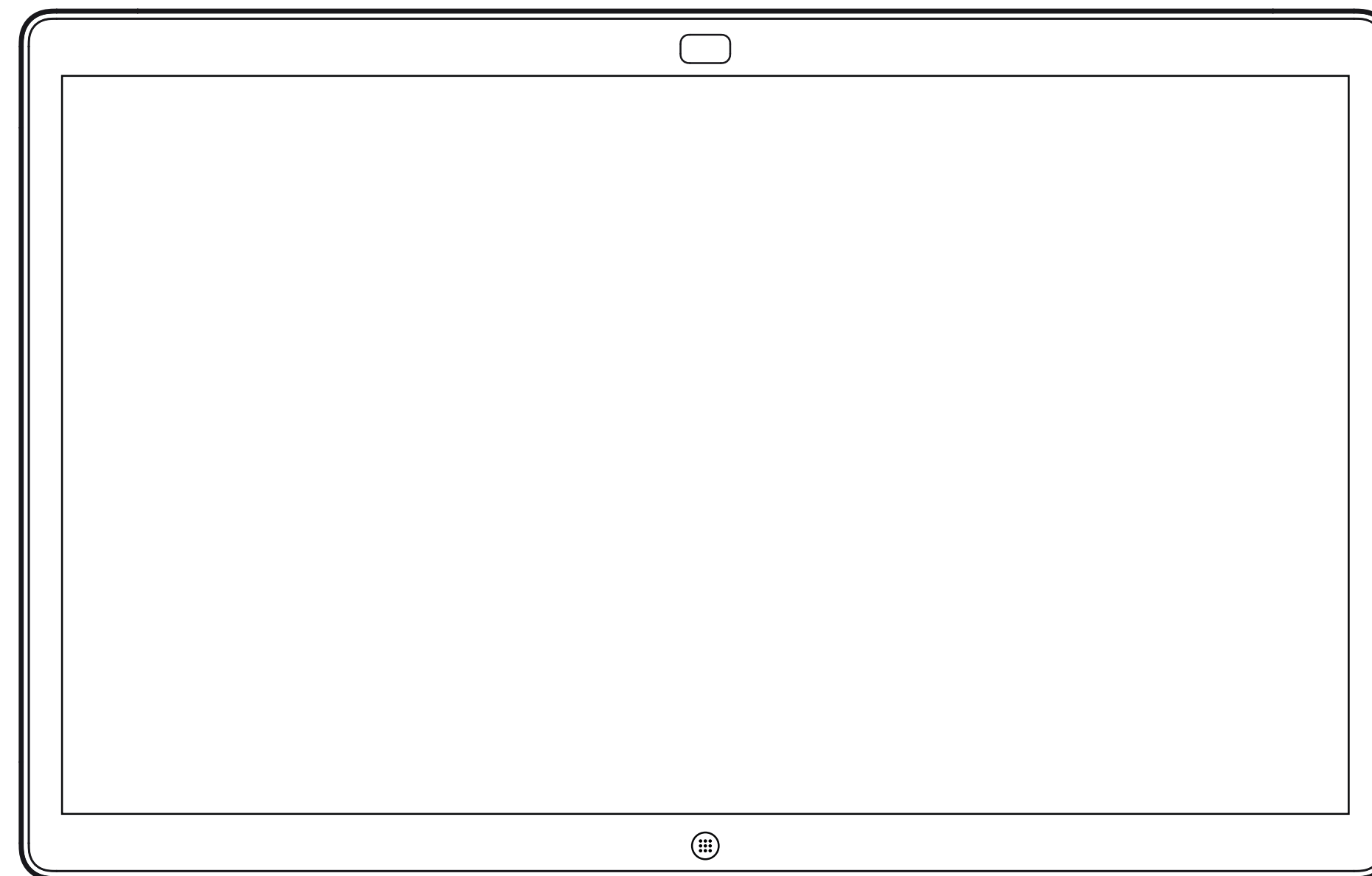
お使いのノートパソコンがインテリジェントな近接通信を持つようになっている場合は、デバイスをビデオデバイスとペアリングし、すぐに格納ファイルを共有できます。

3



セッションを終了するには、共有を停止 をタップします。



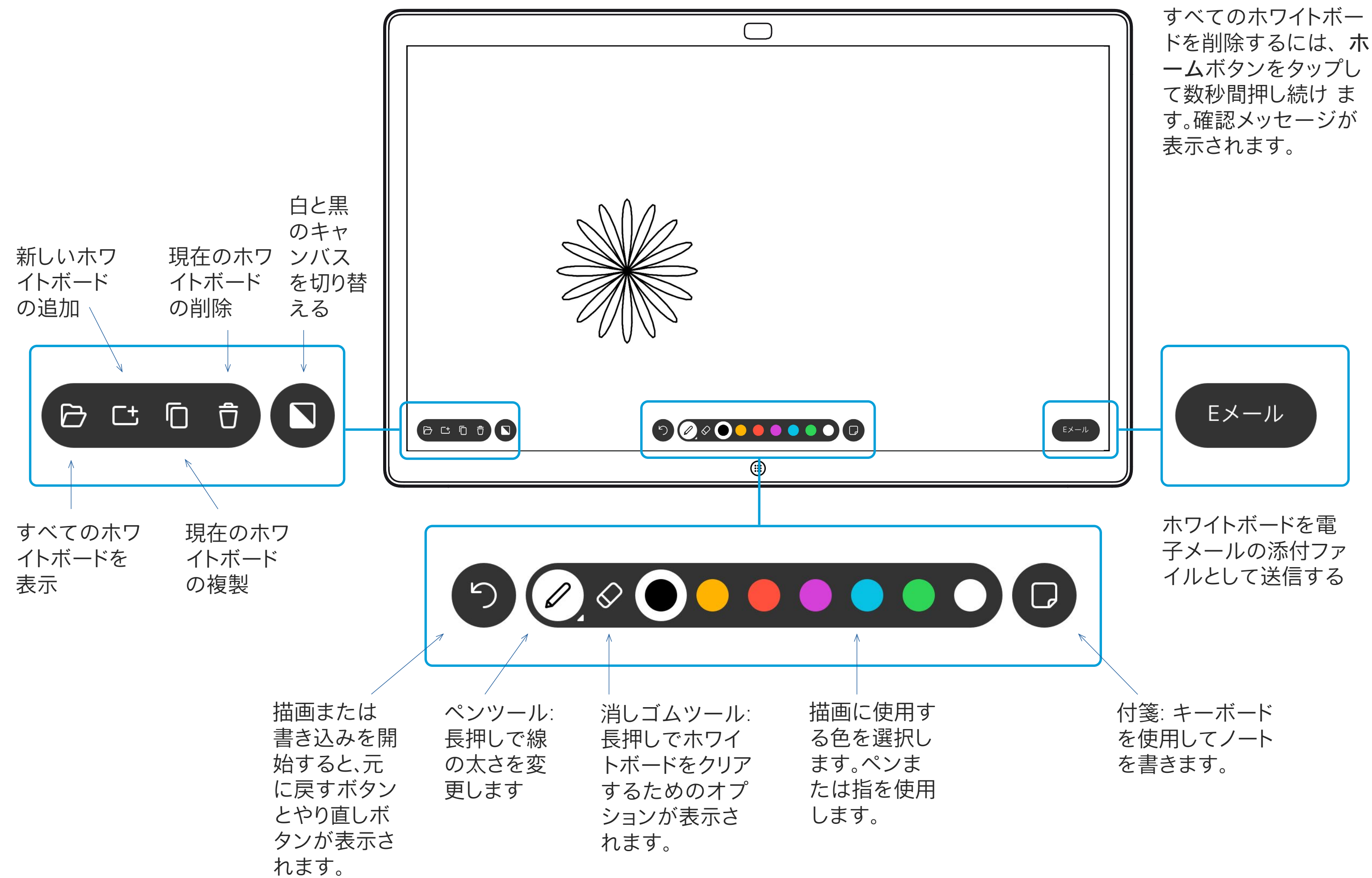


Webex Board

# Webex Board でのコンテンツ共有

# Webex Board をデジタルホワイトボードとして使用する

## ホワイトボードについて



Webex Board は、基本的に、ビデオ通話機能を備えたデジタルホワイトボードです。

ホワイトボード機能にアクセスするには、ホーム画面 (ホームボタンをタップ) に移動し、ホワイトボードをタップします。

スタイラスまたは指を使用して書き込みと描画を行います。

ホワイトボードページのサイズは必要に応じて大きくなります。2本の指を使用してホワイトボードとピンチをドラッグすると、ズームできます。

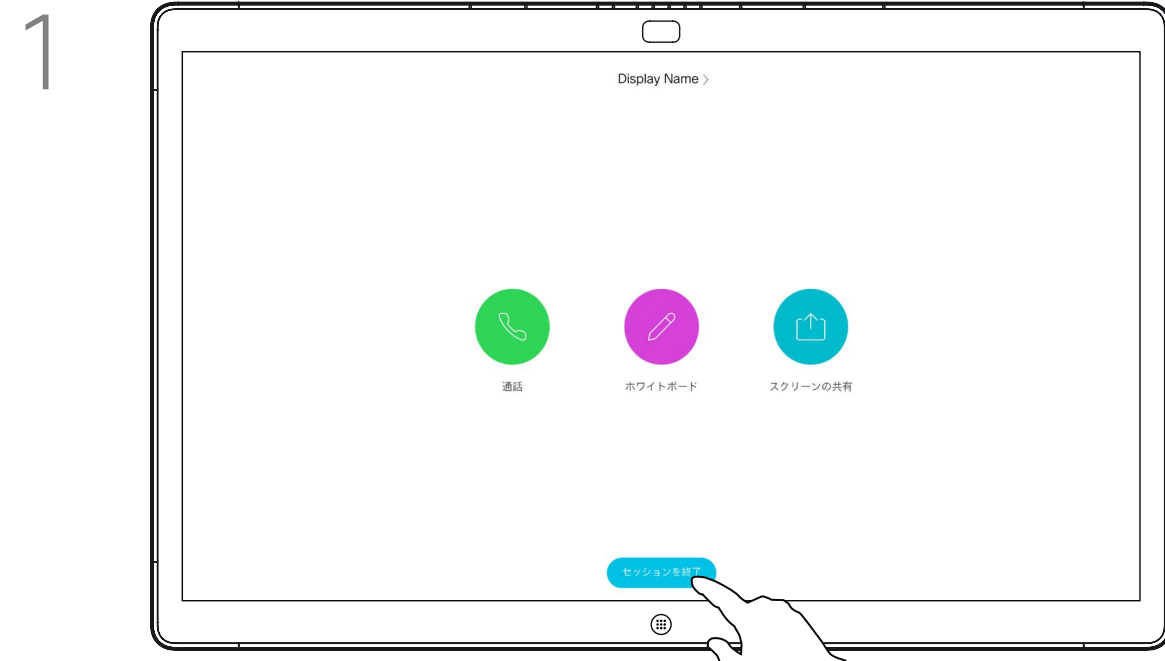
ホワイトボードの図面を保存するには、そのホワイトボードを電子メールとして送信します。これを行うには、ビデオサポートチームが、電子メールサーバを設定している必要があります。

ホワイトボードは PDF 形式で共有されます。



# セッションを終了して、Webex Board をクリアします

## セッションの概要



セッションを終了する準備ができたなら、ホーム画面の下部にあるセッションの終了をタップします。



すべてのホワイトボード、すべての Web サイトデータ、またはその両方をクリアするかどうかを選択できます。Web サイトデータの削除は、システム管理者によって Web エンジンが有効化されている場合にのみ表示されることに注意してください。

セッション中は、ホワイトボード、注釈、および Web アクティビティがお使いのデバイスに保存されます。休憩を取ったり、アクティビティを切り替えることができます。その後、ファイルに戻り、作業を続けることができます。

次のユーザのためにすべてのホワイトボードとブラウジングデータをクリアして、デバイスからいつでもセッションを終了できます。

デフォルトでは、ホワイトボードと Web データは毎日午前 0 時に自動的に削除されます。自動クリーンアップが無効になっているか、または別の時間に発生するように設定されている場合は、システム管理者に問い合わせてください。

[ホーム] ボタンを数秒間押して、セッションを終了することもできます。

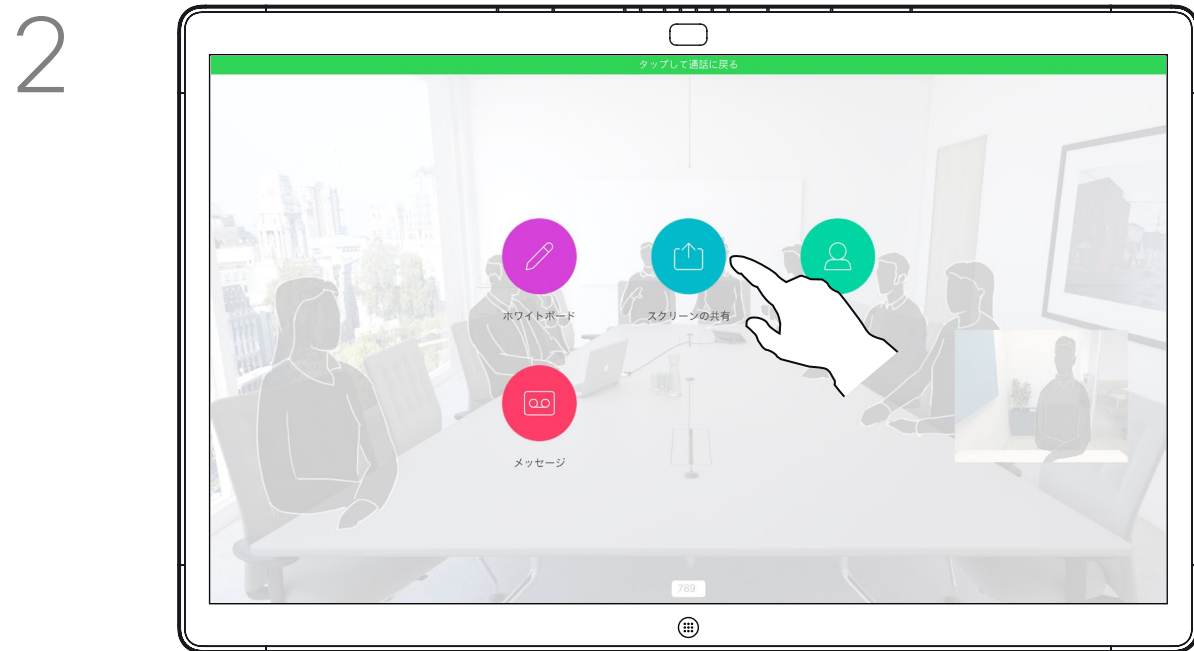
格納ファイル共有: Webex Board

# 通話中のコンテンツ共有

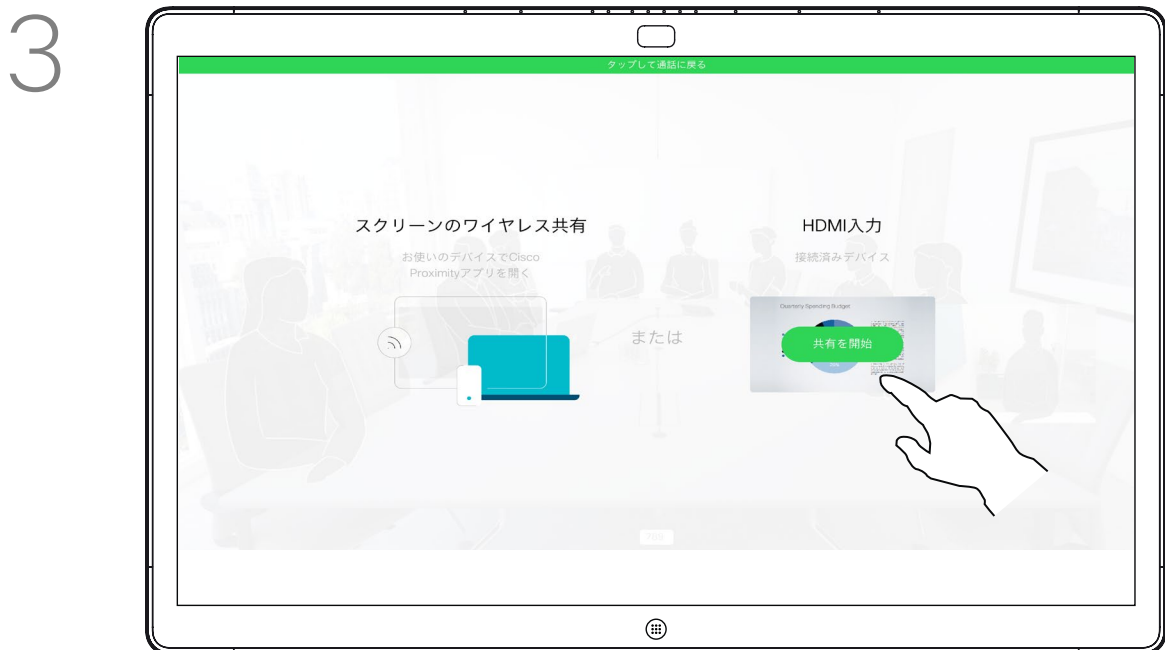
## コンテンツ共有について



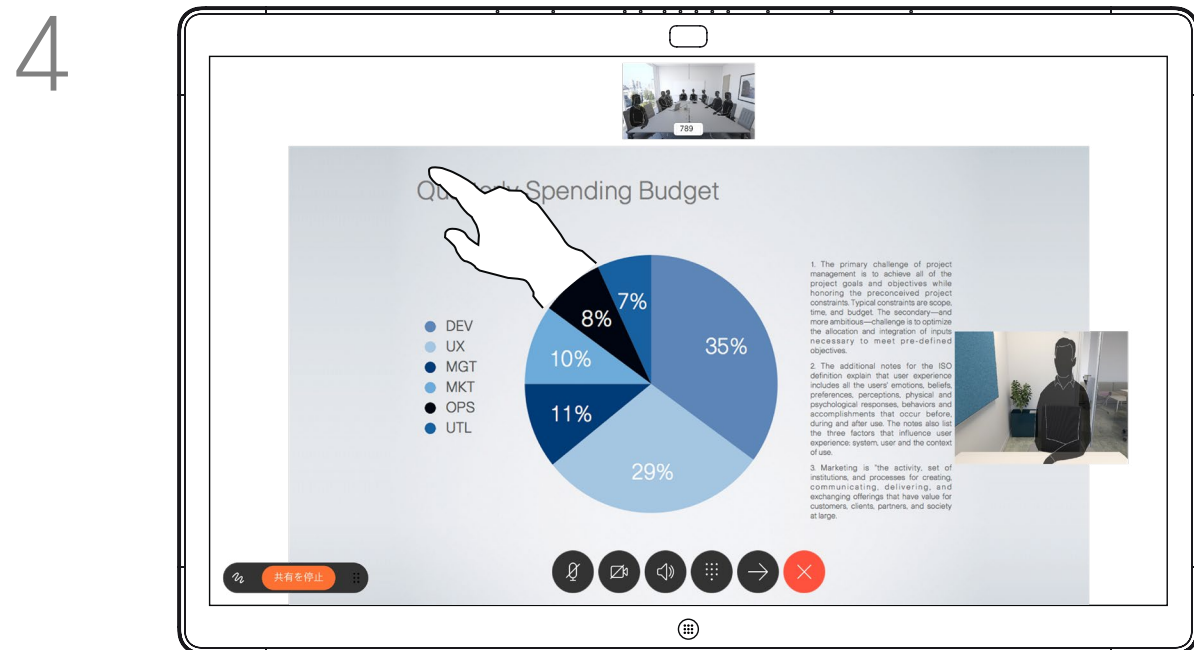
ホームボタンをタップします。



青色の共有画面ボタンをタップします。  
今すぐ通話に戻るには、画面の上部にある緑色のフィールド（タップして通話に戻ります）をタップします。



プレゼンテーションソースをケーブルまたは近接通信に接続し、共有を開始をタップします。これで、プレゼンテーションソースから選択した格納ファイル共有できるようになりました。



プレゼンテーションを停止するには、共有の停止をタップします。

Webex Board は、ビデオ通話でプレゼンテーションを表示する機能をサポートしています。

お使いのノートパソコンがインテリジェントな近接通信を持つようになっている場合は、デバイスを Webex Board とペアリングし、ワイヤレスで格納ファイルを共有できるようになります。

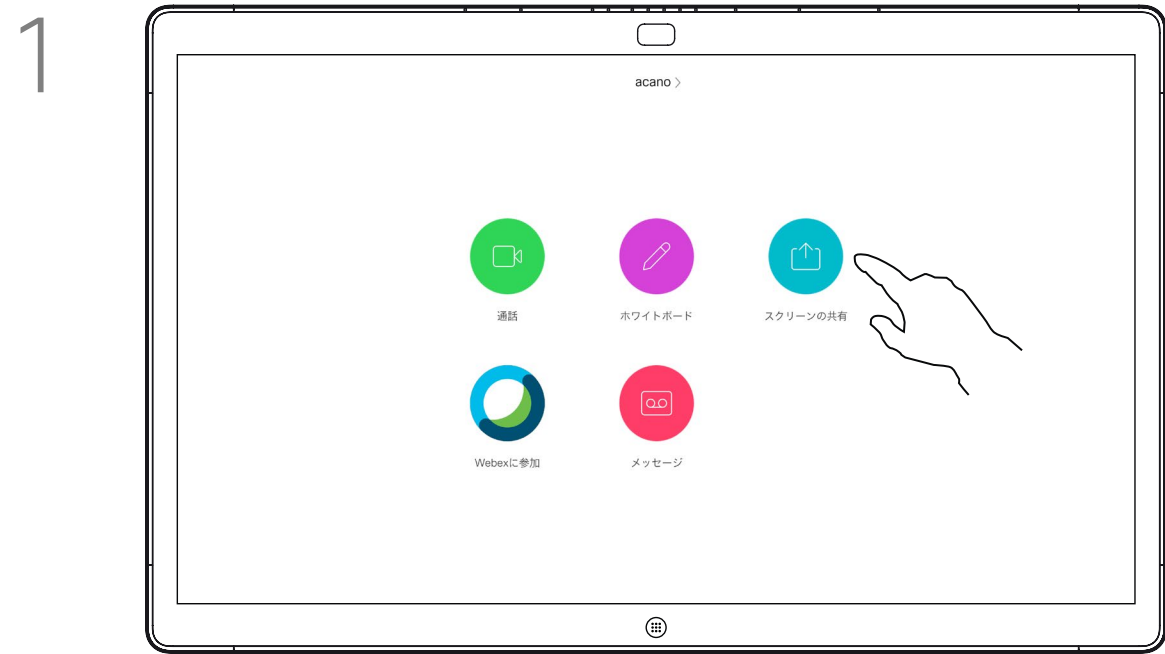
プレゼンテーション中に画面のレイアウトを変更することができます。詳細については、次のページを参照してください。



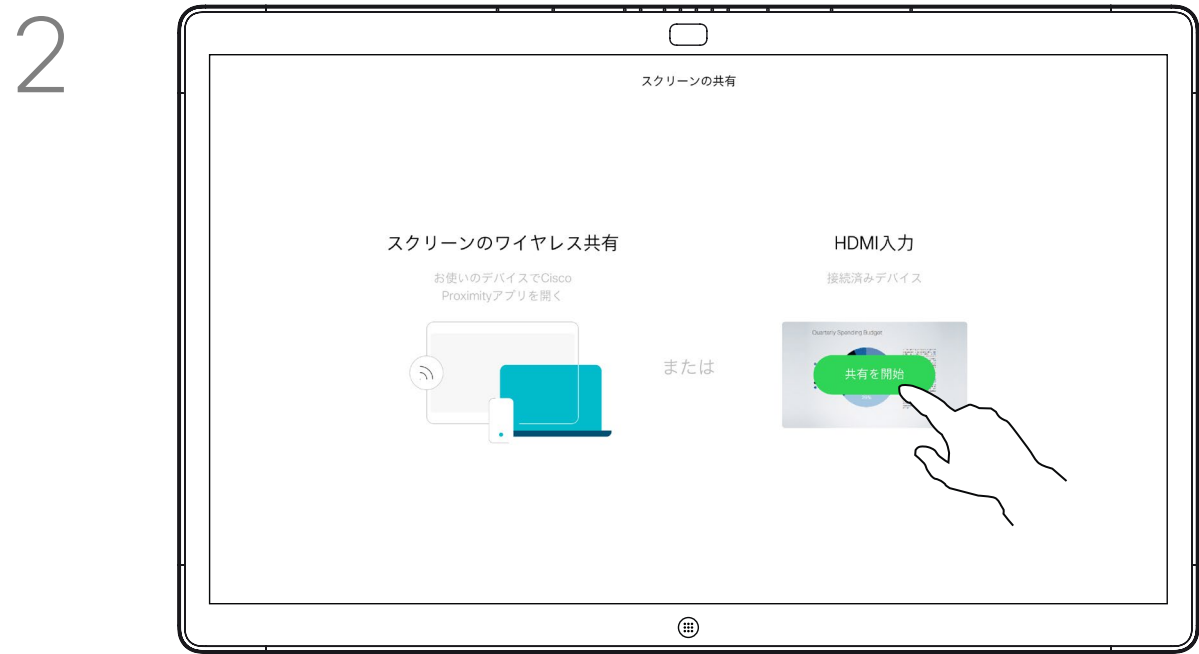
格納ファイル共有: Webex Board

# コール外でコンテンツを共有する

## コンテンツ共有について

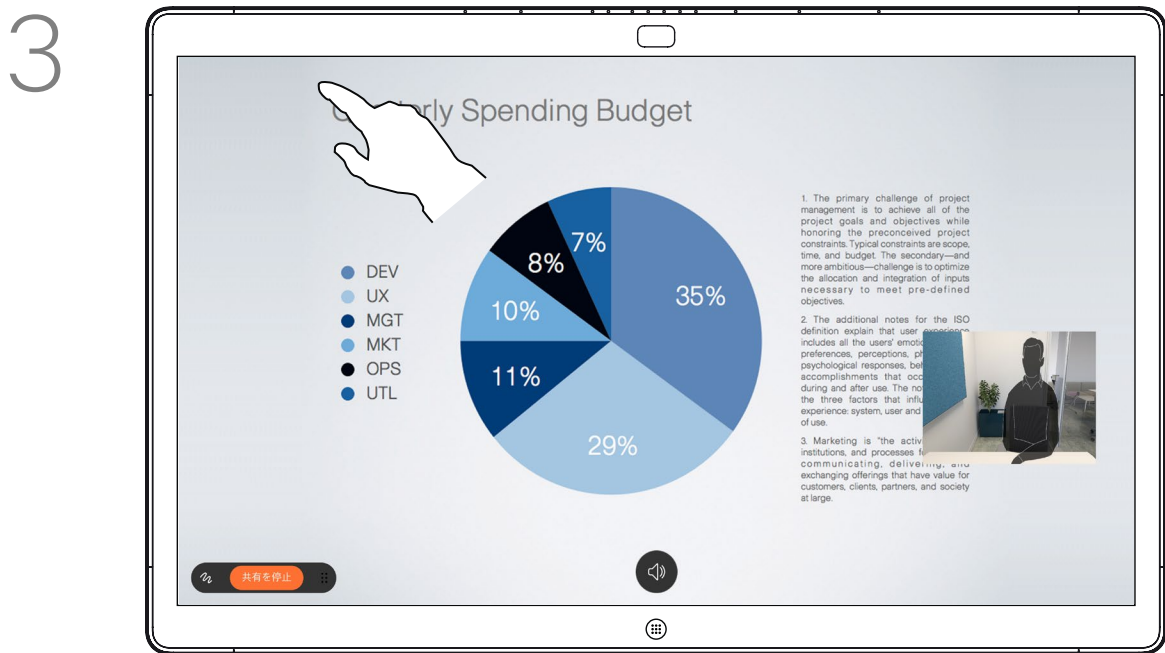


スクリーンの共有をタップします。



プレゼンテーションソースをケーブルまたは近接通信に接続します。これで、プレゼンテーションソースの選択した格納ファイルを共有できるようになりました。共有を開始をタップします。

コンテンツを共有しない場合は、ホームボタンを押してホーム画面に戻ります。



プレゼンテーションを停止するには共有を停止をタップします。

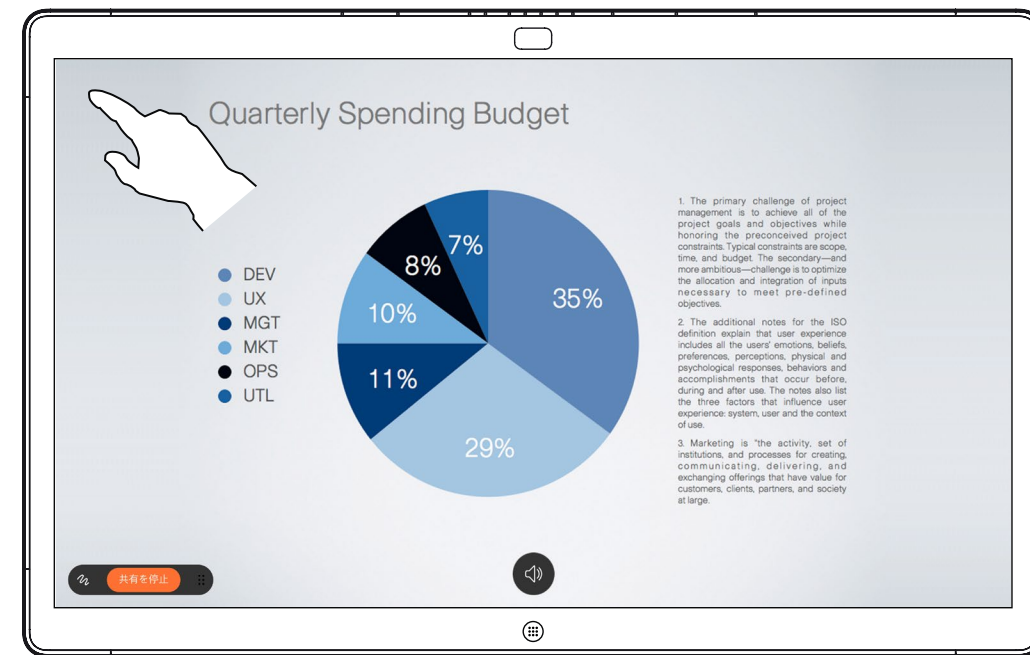
Webex Board では、外部ビデオ通話のプレゼンテーションをローカルに表示する機能がサポートされています。

お使いのノートパソコンがインテリジェントな近接通信を持つようになっている場合は、デバイスを Webex Board とペアリングし、ワイヤレスで格納ファイルを共有できます。

# 共有コンテンツに注釈を付ける

## コメントについて

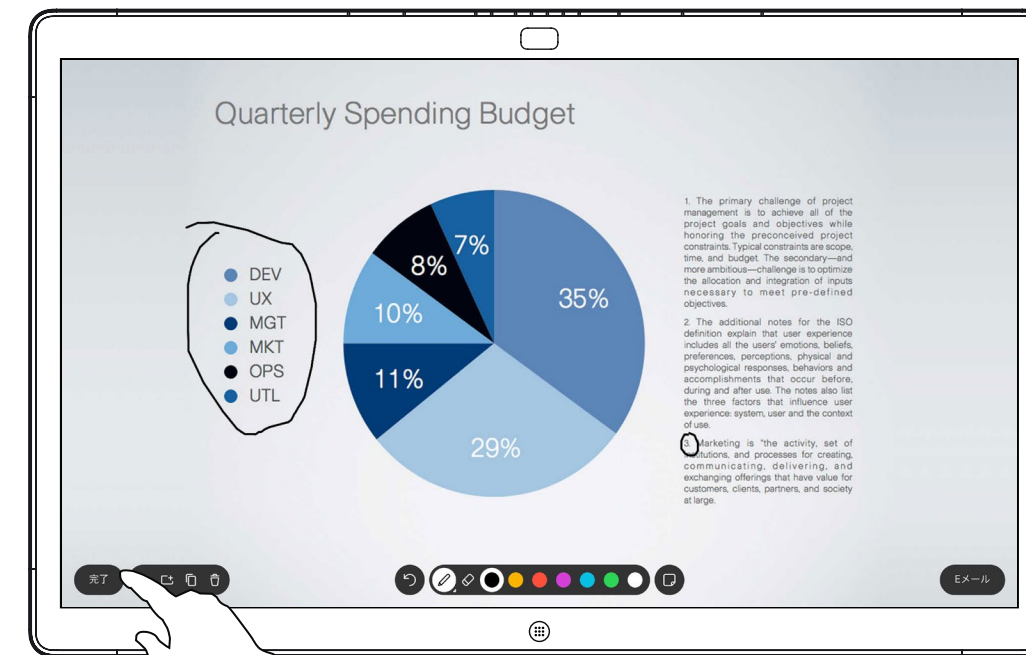
1



非通話時、前のページの説明に従ってプレゼンテーションを共有し、コメントする画像が表示されていることを確認します。

必要に応じて、画面をタップしてコメントアイコンを作成し、コメントアイコンをタップします。

2



使用可能なツールを使用してコメントを作成し、完了したら完了をタップします。

Webex Board では、外部ビデオ通話のプレゼンテーションに注釈を付ける機能がサポートされています。

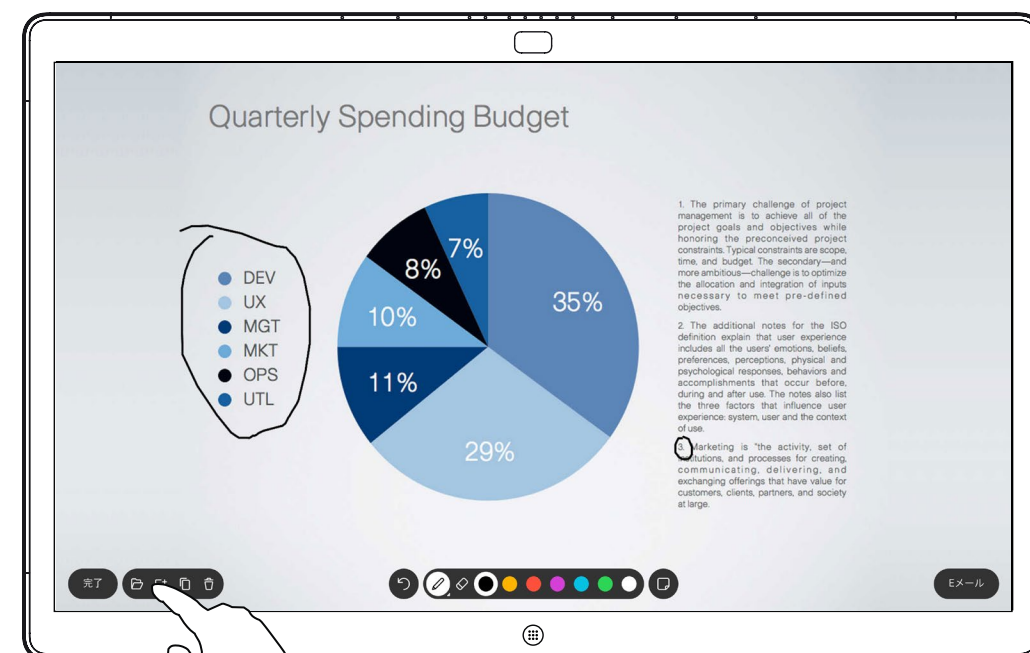
画像に注釈を付けるように選択すると、その画像のスナップショットが生成され、注釈はプレゼンテーションに影響を与えません。

注釈を作成すると、注釈付きイメージがホワイトボードとなります。プライバシーの確保のために、ホワイトボードはデバイスから削除されます。

電子メールサーバを使用するためにビデオチームが Webex Board を使用するように設定されている場合、注釈を保持する必要がある場合は電子メールで送信できます。

注釈は PDF 形式で共有されます。

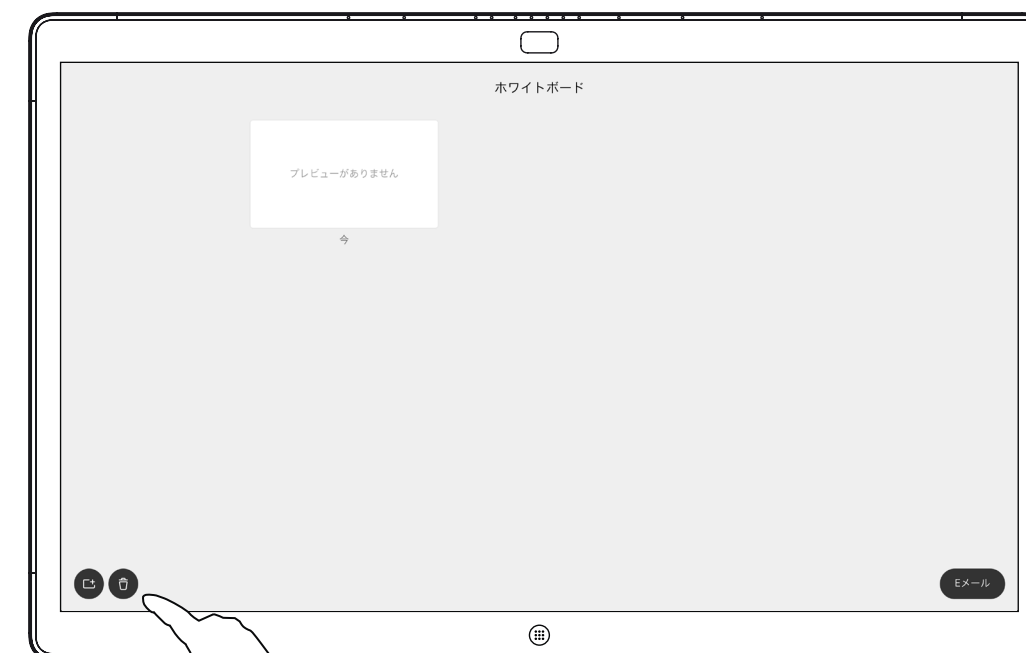
3



プレゼンテーションを再開することも、完全に停止することもできます。

注釈付きイメージはホワイトボードページとして保存されます。図のようにタップすると、すべてのホワイトボードのサムネイルが生成されます。

4



別のホワイトボードを追加したり、既存のホワイトボードを削除したりすることができます。

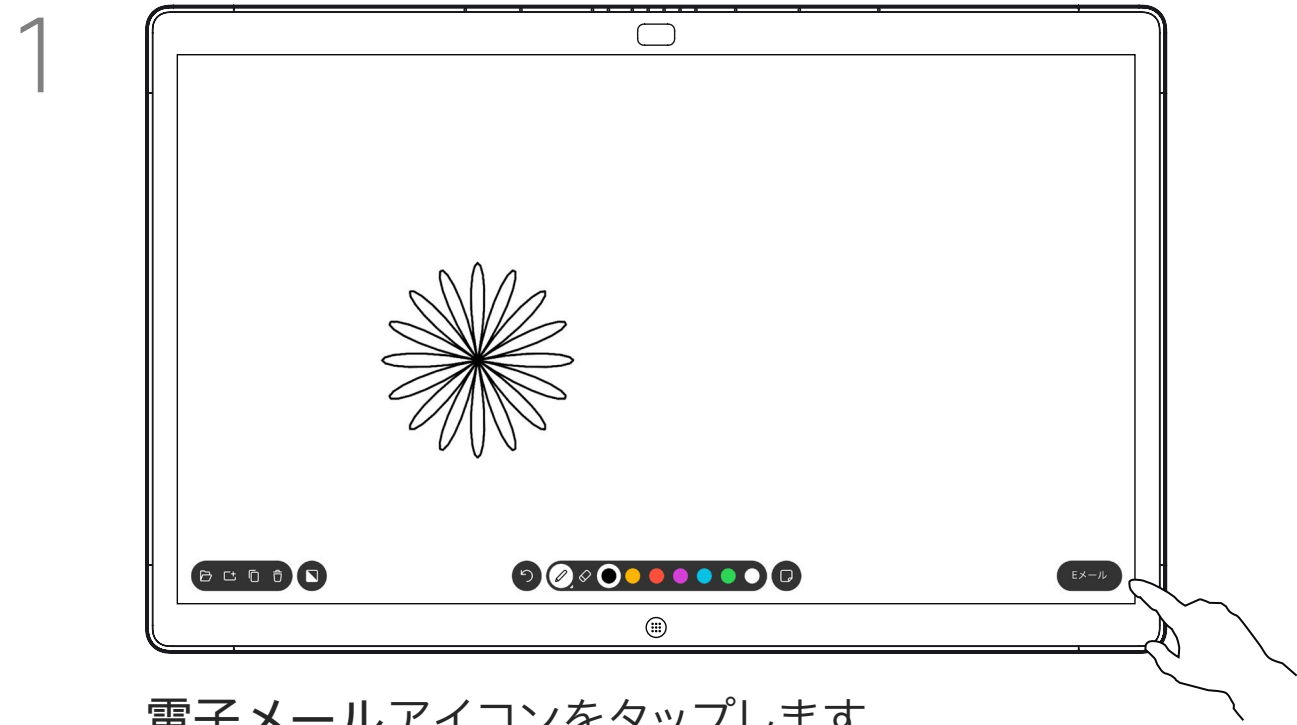
ホワイトボードは、セッションが終了しても、電子メールを送信しない限り削除されます。詳細については、次のページを参照してください。



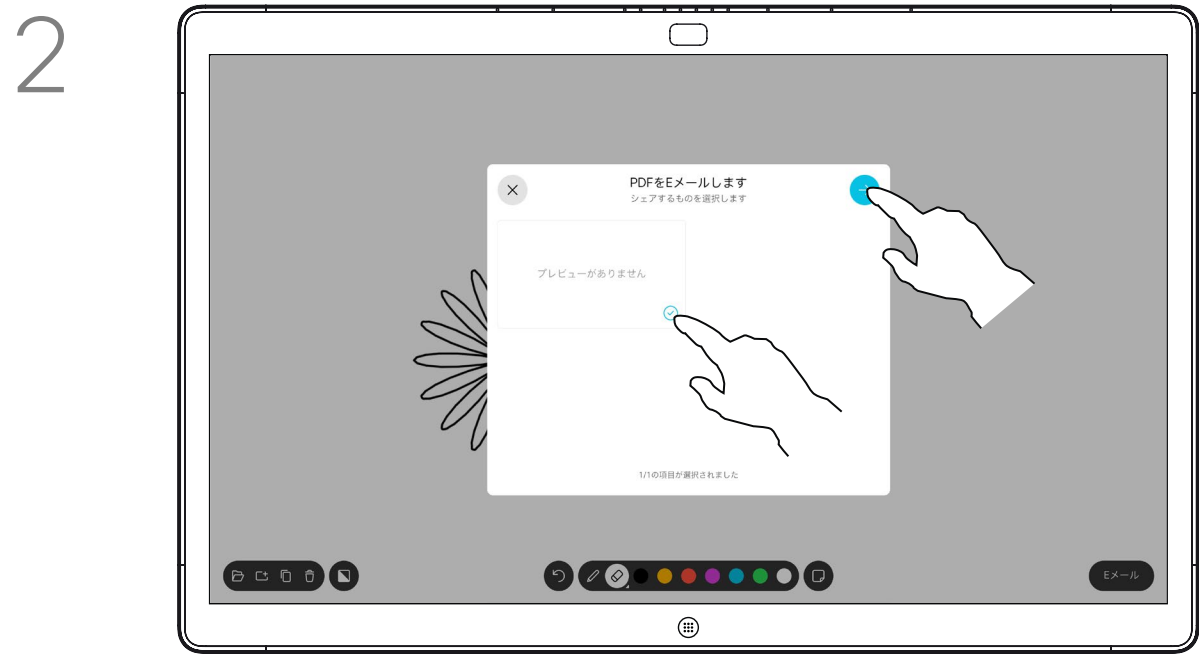
格納ファイル共有: Webex Board

# 注釈または描画をメールで送信

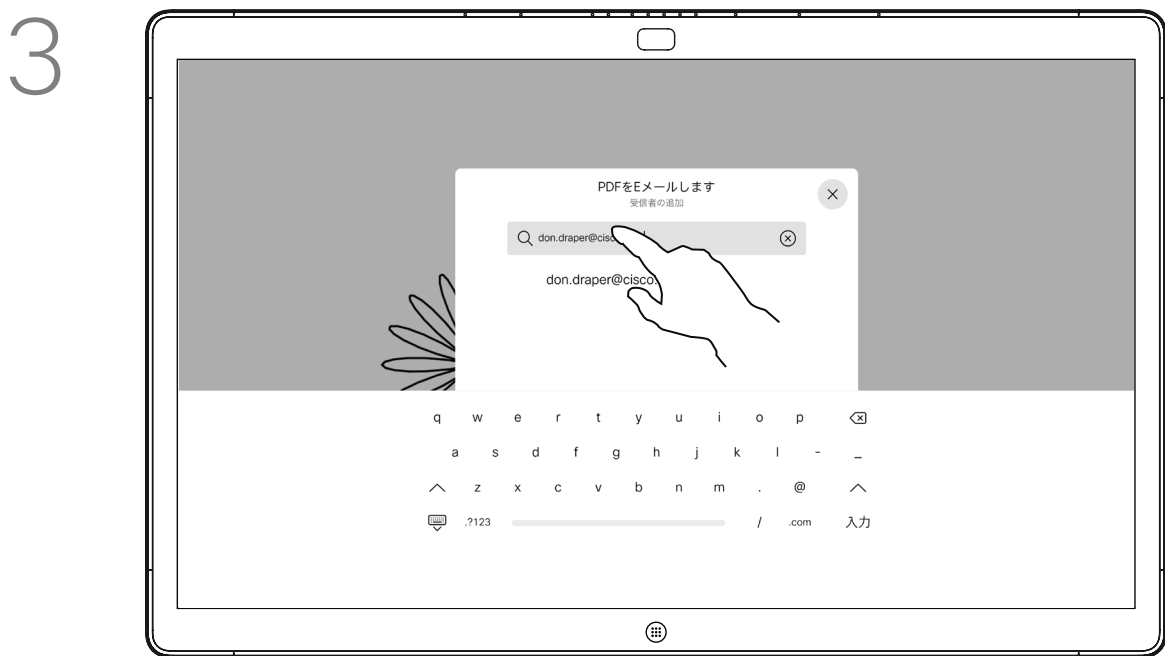
## コメントについて



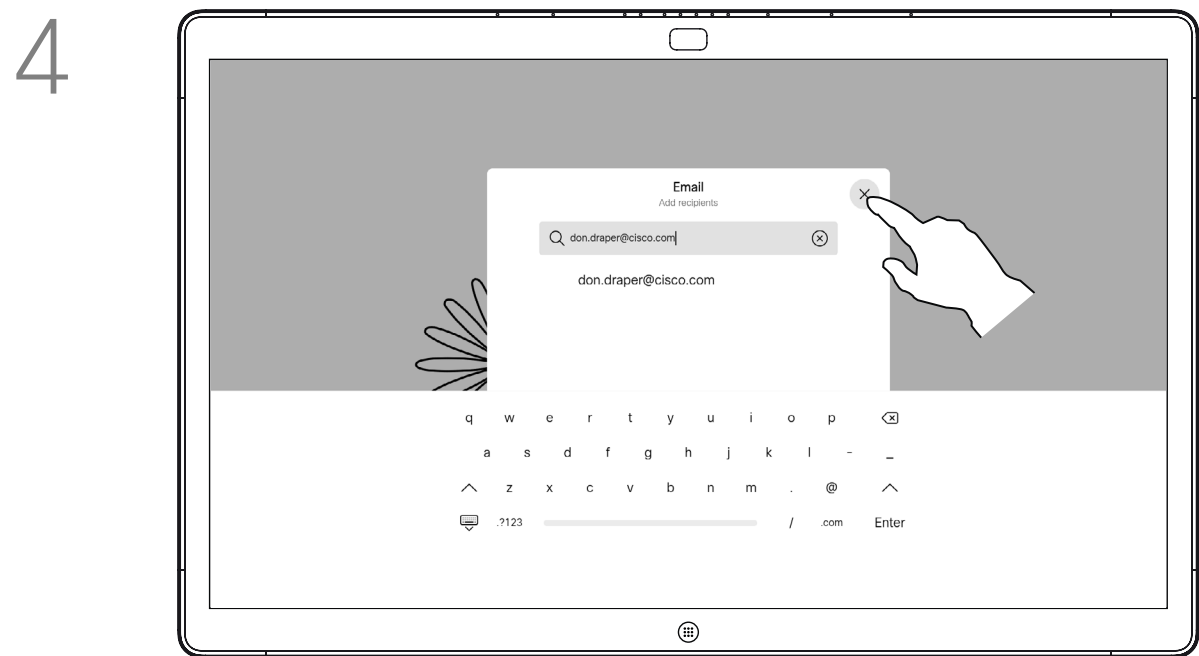
電子メールアイコンをタップします。



ホワイトボードページが複数ある場合は、1つを選択して電子メールで送信します。それから、次へをタップします。



タップして受信者を追加。



受信者を入力したら、図のようにタップして、電子メールを送信します。

電子メールサーバを使用するためにビデオチームが Webex Board を使用するように設定されている場合、1つのホワイトボードを電子メールの添付ファイルとして任意の受信者に送信できます。

ホワイトボードは PDF 形式で共有されます。

注意: これは、ホワイトボードセッション終了後にホワイトボードページを保存する唯一の方法です。



# 有線タッチのリダイレクト

[Webex Board] 画面からラップトップを操作できます。これは、Windows 10 ラップトップを HDMI ケーブルと USB-C ケーブルを使用して Webex Board に接続している場合に機能します。この機能は、ドラッグアンドドロップ、描画プログラム、およびマップを含むタスクに適しています。

通話のリダイレクト機能は、ローカルで共有している場合または通話中に共有している場合に使用できます。

この機能は、Windows 10 でテストおよび検証されています。基本機能は、別の OS でも動作する必要があります。

## 制限事項

- ・ タッチリダイレクトを使用しているとき、共有画面上でコメントを使用できません。
- ・ タッチリダイレクトを使用している場合、Webex Board の音量コントロールは利用できません。ラップトップの音量コントロールを使用します。
- ・ Webex Board に Touch 10 または Room Navigator コントローラが接続されている場合は、USB-C ケーブルが Board に接続されているときにセルフビュー (self-view) を動かすことはできません。

## ブラウザのドラッグアンドドロップを有効にする

ブラウザでドラッグアンドドロップするためにタッチリダイレクトを使用するには、ブラウザ上でこれを有効にする必要があります。

- ・ Chrome: **chrome://flags/#touch-events**に移動し、有効に設定します。
- ・ Firefox: **設定**に移動して**Dom.w3c\_touch\_events.legacy\_apis.enabled = true**を設定します。
- ・ Edge: **フラグ**に移動します。 **タッチイベントを有効にする = 常にオン**に設定します。

## Windows 10 ラップトップでタッチリダイレクトを使用する

1. タスクバーの日付と時刻の横にあるアクションセンターを選択し、**タブレットモード**をオンにして、ラップトップをタブレットモードに切り替えます。
2. HDMI ケーブルと USB-C ケーブルを使用して、ラップトップを Webex Board に接続します。Usb-C-USB-C ケーブルまたは USB-C-USB-A ケーブルを使用することができます。
3. **メモ:** USB-C-USB-A: より長いケーブルの長さに対応したケーブルがサポートされています。
4. タッチリダイレクトは、Webex Board が自動共有用に設定されている場合はすぐに使用できます。選択されていない場合は、ボードのユーザインターフェイスから共有を選択します。

タッチリダイレクトを使用中に Webex Board の他のアクティビティに切り替える場合は、Board の **ホーム**ボタンを押します。

**メモ:** この機能は、**S シリーズ Webex Board**でのみ利用できます。



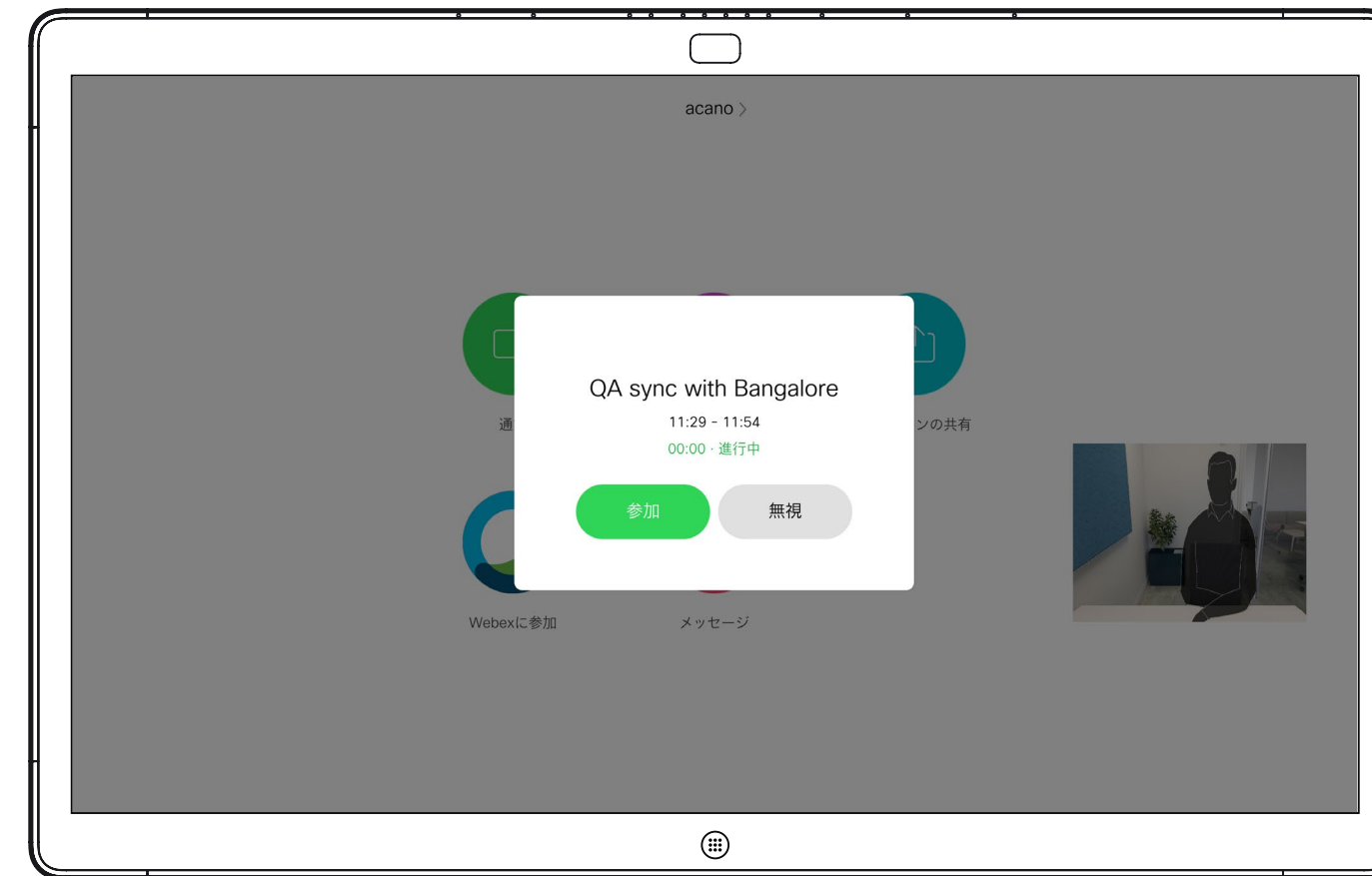
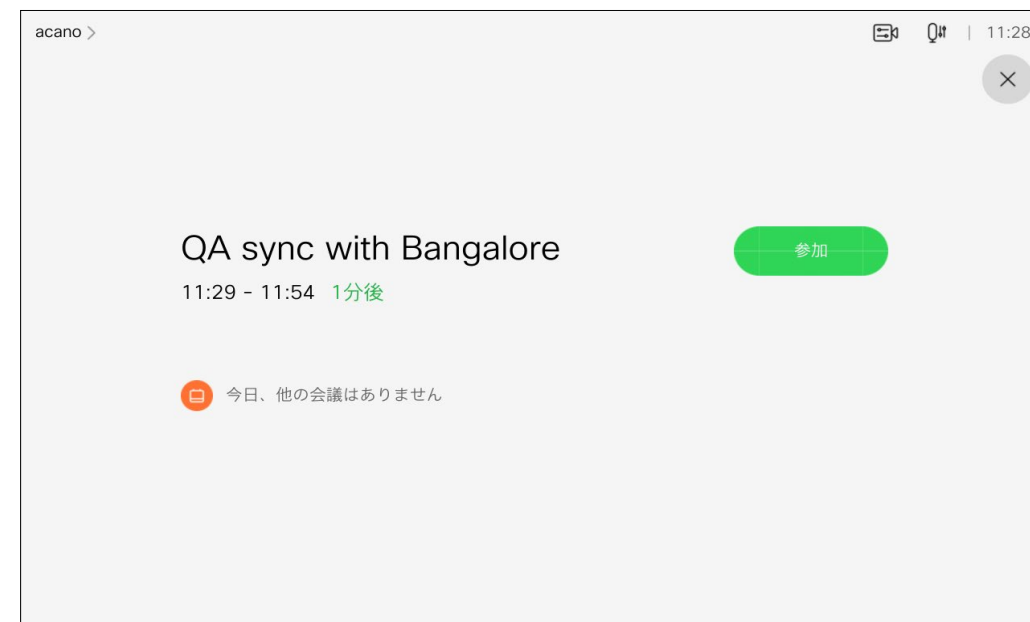
# ミーティングのスケジュール

ミーティングのスケジュール

# ミーティングのスケジュールに参加する

## ミーティングへの参加

左の Touch 10 / Room Navigator (左下) または Webex Board を使用 (右下)



ビデオデバイスは、ビデオミーティングをスケジュールできる管理システムに接続されている場合があります。お使いのデバイスに、スケジュールされているミーティングが表示されます。

ミーティングに参加するには 参加をタップします。

ミーティングがすでに開始している場合は、参加することができます。

[デバイス] 画面にスケジュールされたミーティングが表示されると、デバイスはスタンバイからウェイクアップします。

ミーティングを開始しようとする、ミーティングへの参加を促すメッセージが表示されます。参加をタップします。



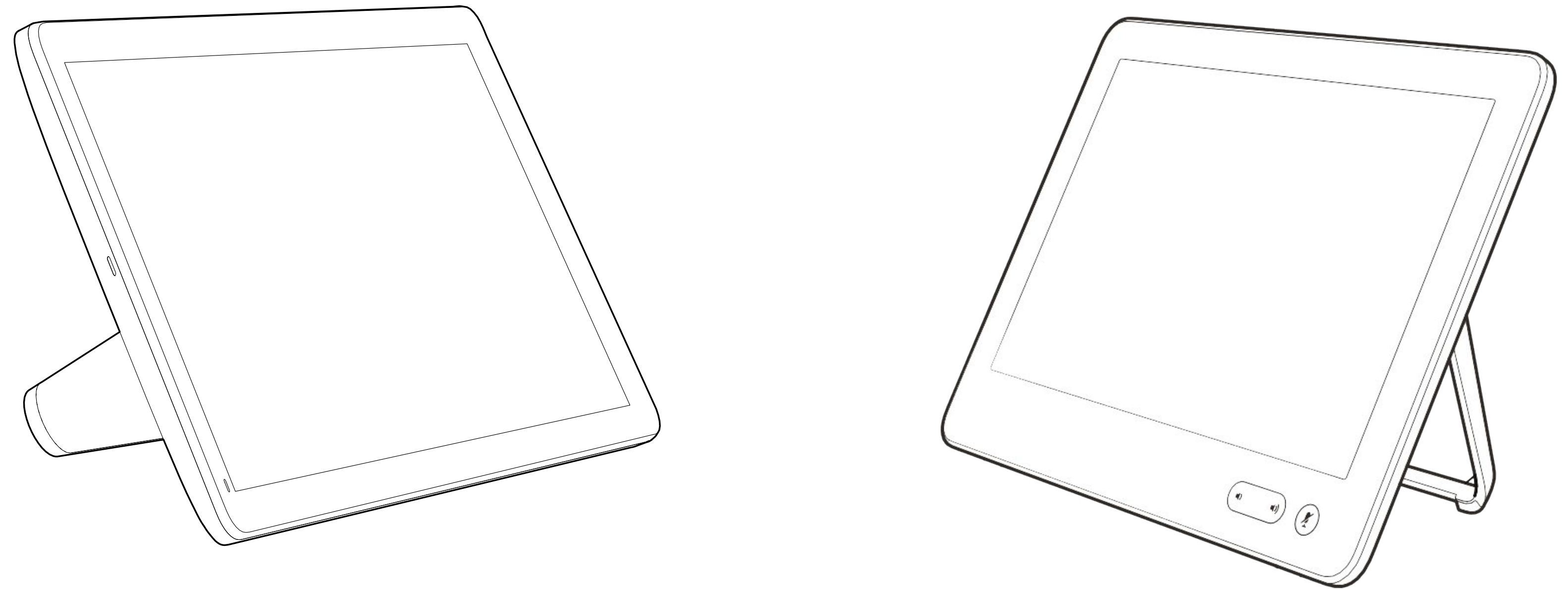
# Webex ミーティングへの参加

## ミーティングへの参加

左の Touch 10 / Room Navigator (左下) または Webex Board を使用 (右下)



ビデオデバイスは、Webex に接続されている管理システムに接続されている場合があります。**Webex への参加** ボタンをタップします。受信した招待にあるミーティング番号を入力するように求められます。参加をタップしてミーティングに参加します。



# Touch コントローラの連絡先



連絡先: Touch コントローラ

# お気に入り、発着信履歴、ディレクトリ

## 連絡先リストについて

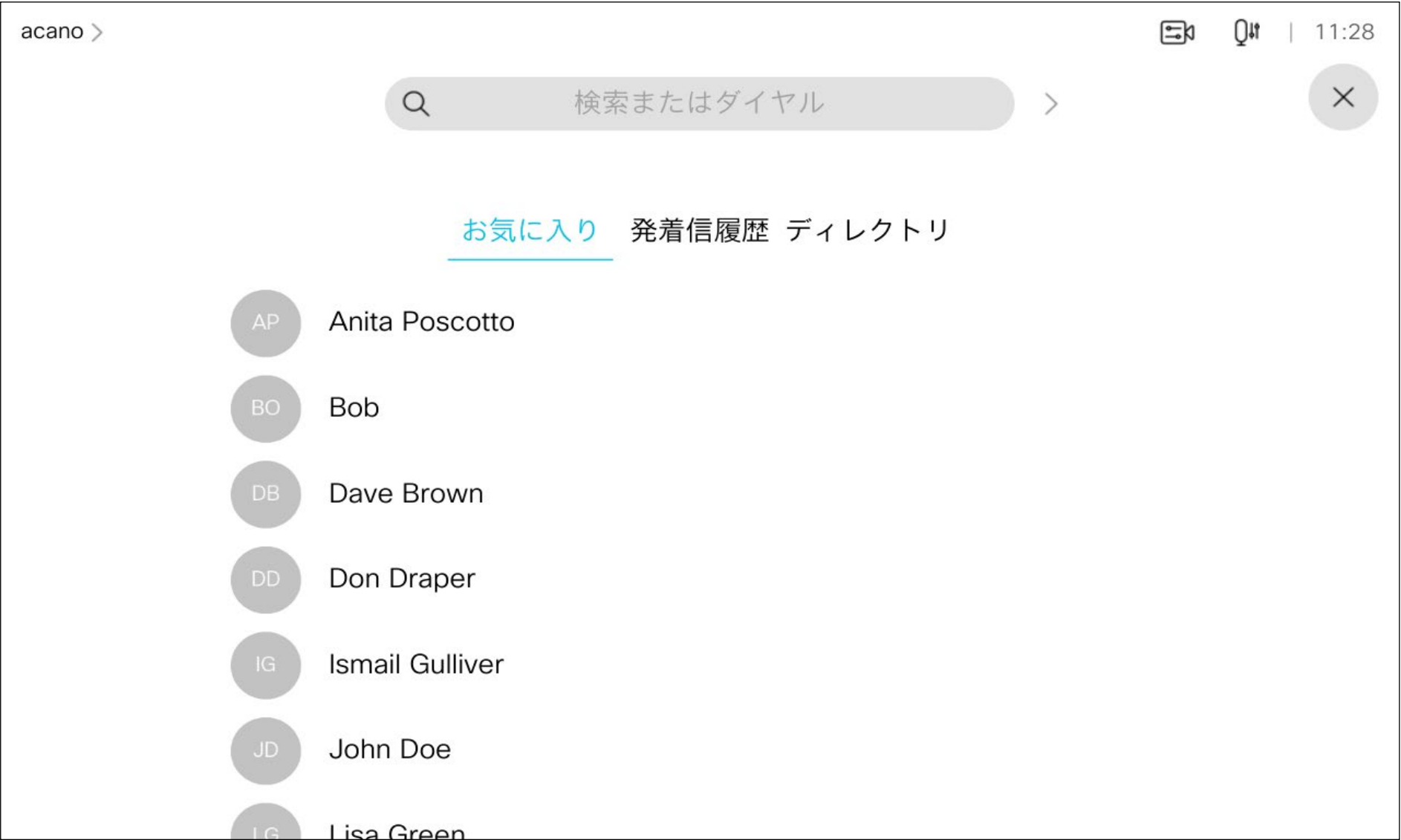
連絡先リストは、次の 3 つの部分で構成されています。

お気に入り。これらの連絡先はユーザによって配置されています。これらのエントリは、頻繁にコールするか、または迅速にアクセスする必要がある場合に使用します。

ディレクトリは通常、ビデオサポートチームによってデバイスにインストールされた社内ディレクトリです。

発着信履歴は、発信、受信、不在着信のリストです。

発着信履歴からのエントリの削除は、Web インターフェイスでのみ行うことができます。



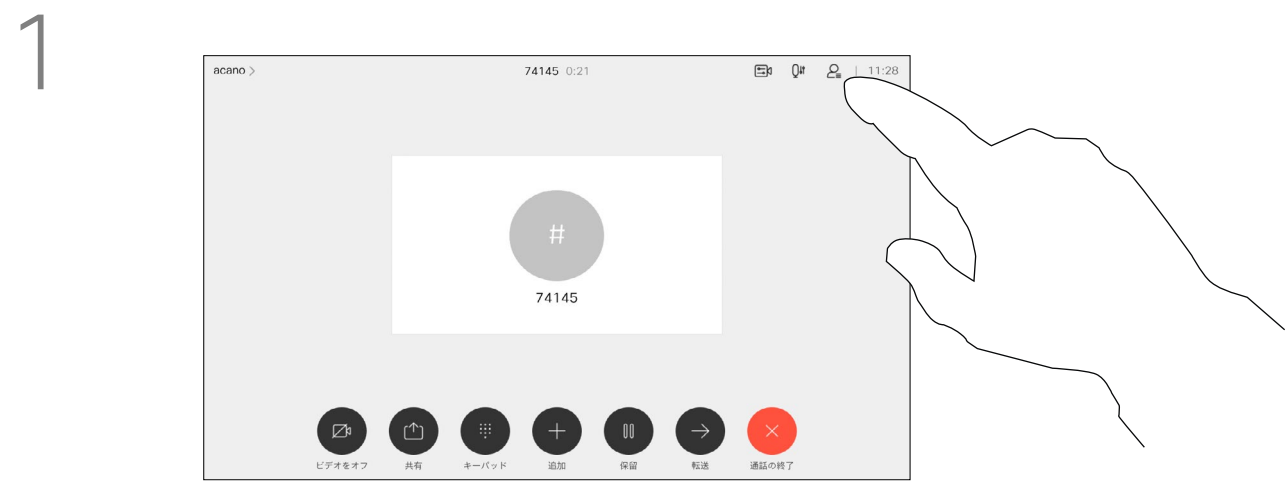
連絡先: Touch コントローラ

# 通話中に [お気に入り] に追加する

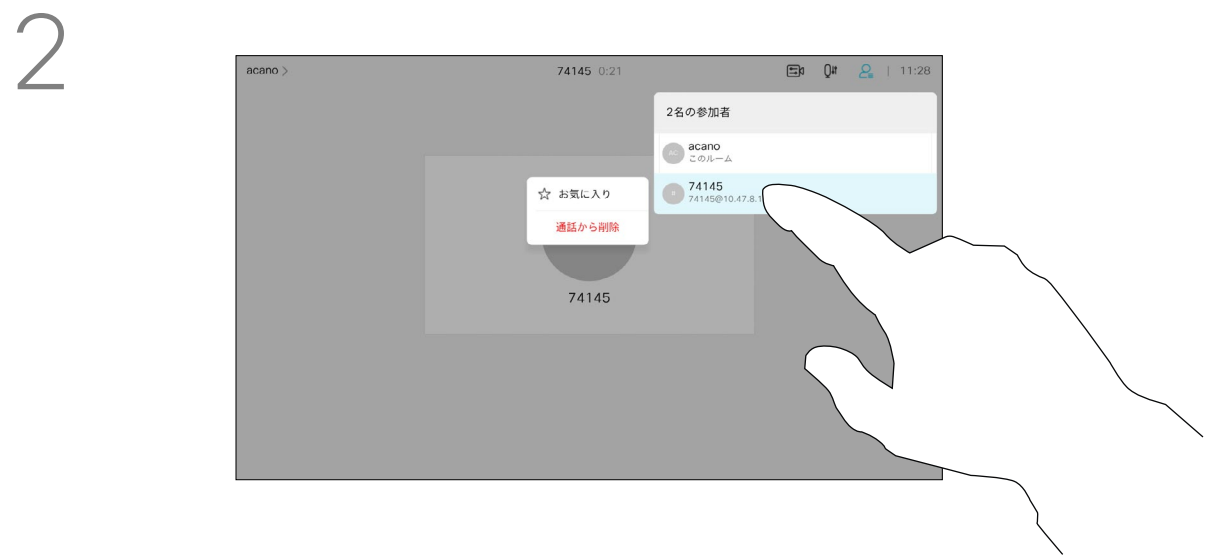
## お気に入りについて

お気に入りは、頻繁に通話する、または簡単にアクセスしたい相手を含む連絡先リストです。

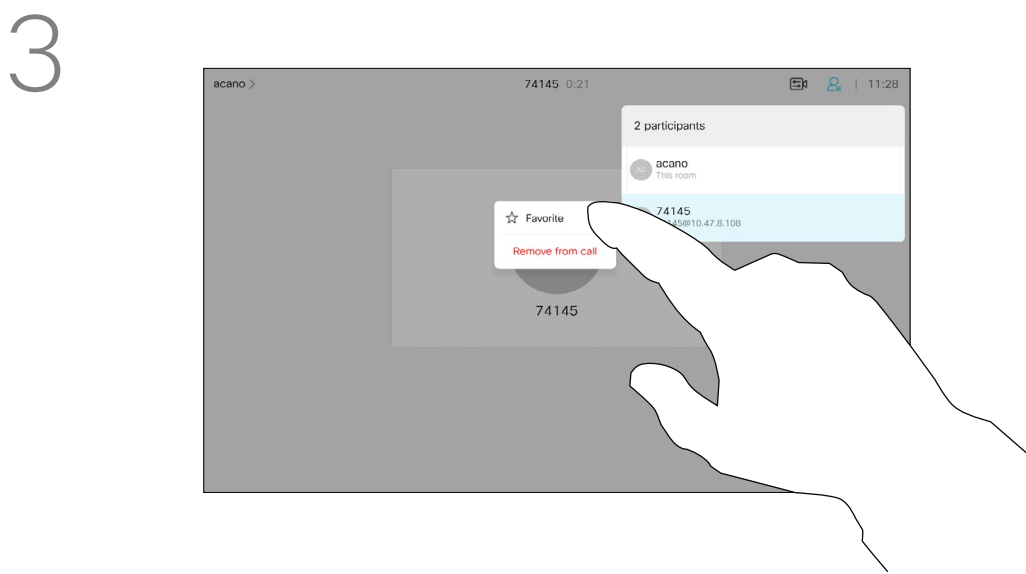
お気に入りは、発着信履歴 または ディレクトリリストから選択するか、手動で入力します。



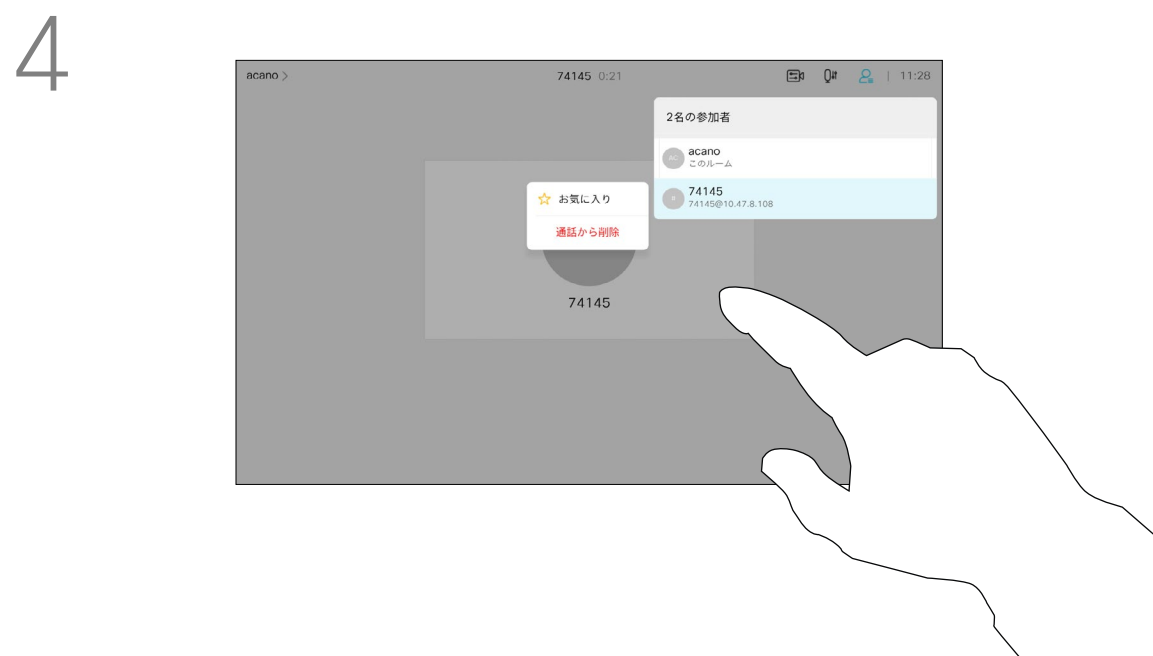
通話中に、図のように右上隅の参加者アイコンをタップして、参加者リストを呼び出します。



参加者のリストで、誰かをタップするとその人が [お気に入り] に追加されます。



お気に入りをタップします。



その参加者は[お気に入り]リストに追加されます(星印が金色に変わります)。

リストからエントリを削除するには、連絡先リストのお気に入りに移動して、この手順を繰り返します。

完了したらメニュー以外の場所をタップします。



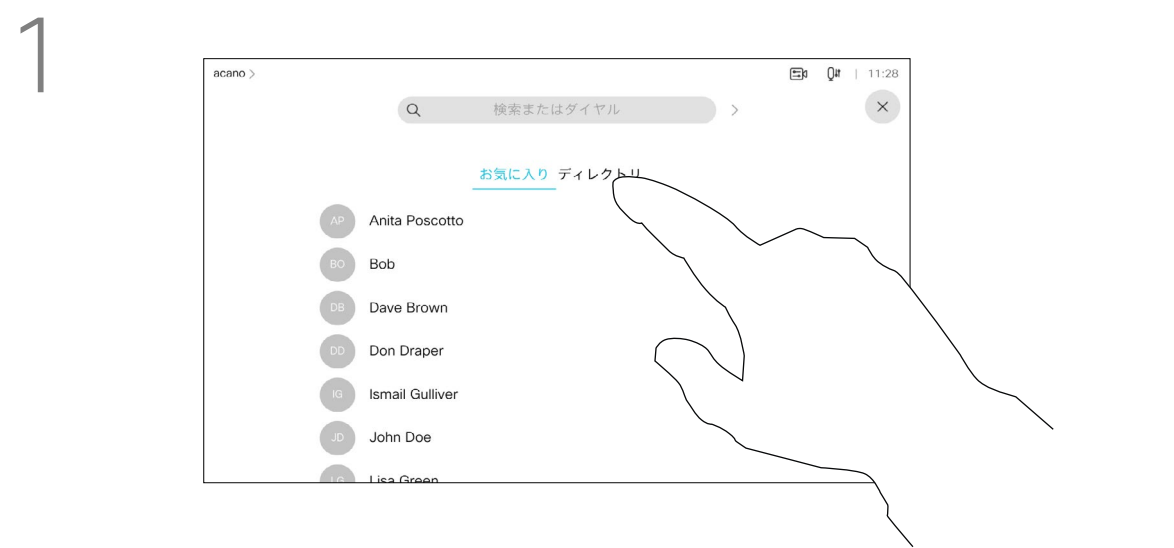
連絡先: Touch コントローラ

# 非通話時に [お気に入り] に追加する

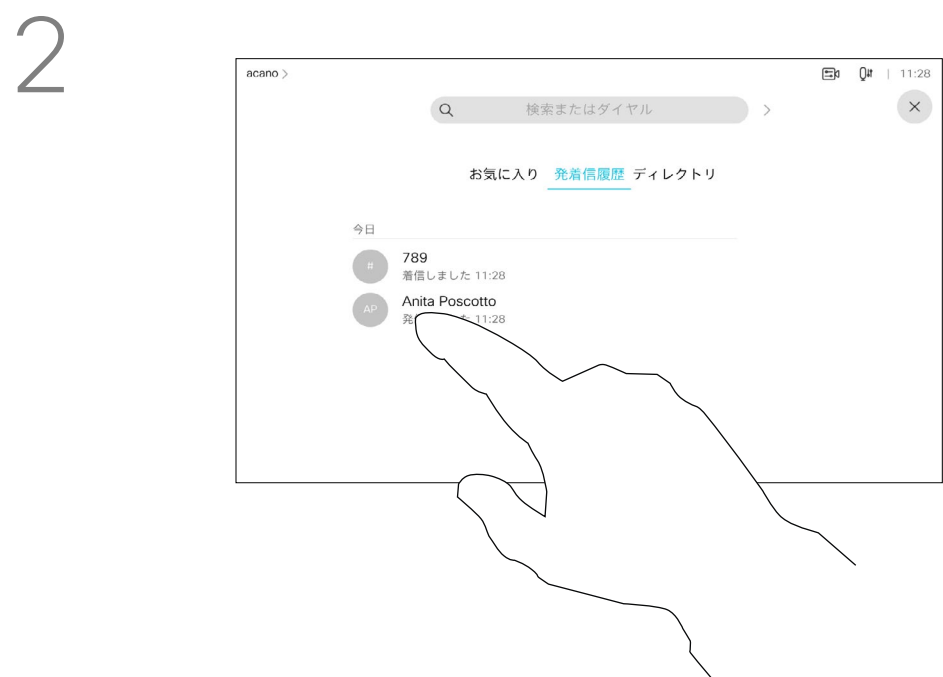
## この機能について

[お気に入り] は、頻繁に通話する、または簡単にアクセスしたい相手を含む連絡先リストです。

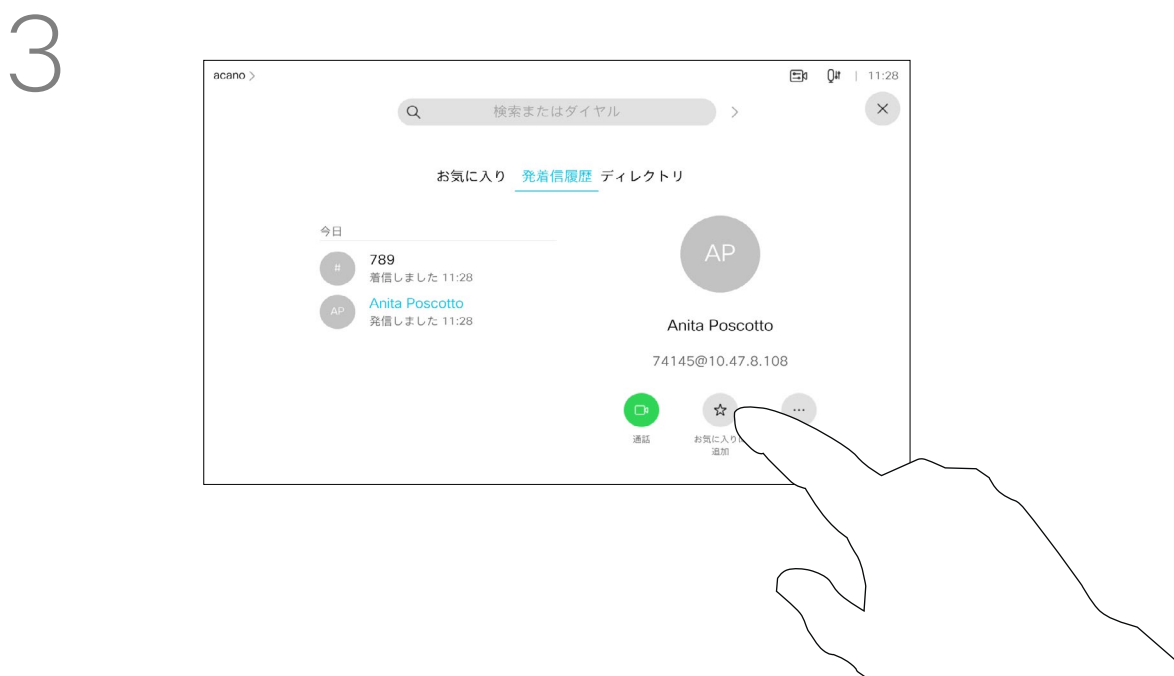
[お気に入り] は、[発着信履歴] または [ディレクトリ] リストから選択するか、手動で入力します。



通話中でない場合は、通話 (非表示) をタップして、図のように連絡先リストを開きます。[発着信履歴] または [ディレクトリ] をタップして、[お気に入り] に追加するエントリを探します。



エントリをタップし、[お気に入り] に追加します。上記の画面が開きます。



お気に入りに追加 をタップします。これで、エントリが [お気に入り] に追加されました。



図のように、[お気に入り] が金色の星印で表示されます。

[お気に入り] リストからエントリを削除するには、この手順を繰り返します。

このメニューを終了するには、図のように [X] をタップします。

連絡先: Touch コントローラ

# 既存のお気に入りを編集する

この機能について

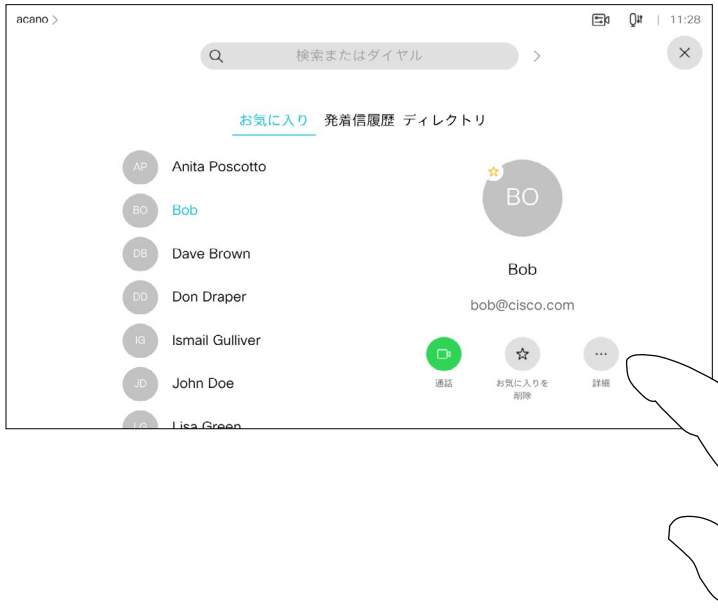
この機能を使用すると、お気に入りをいつでも更新することができます。

1



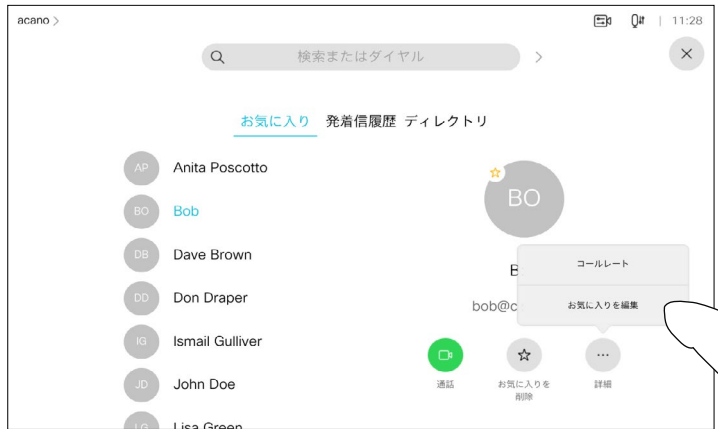
図のように、発信（図なし）をタップして、[連絡先] リストを呼び出します。お気に入りのリストにアクセスするには、お気に入り をタップします。

2



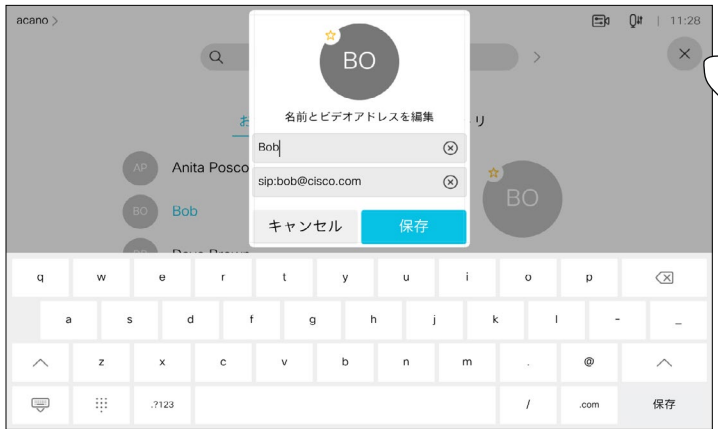
[お気に入り] をタップして編集します。これにより、オプションが表示されます。ここで、その他をタップします。

3



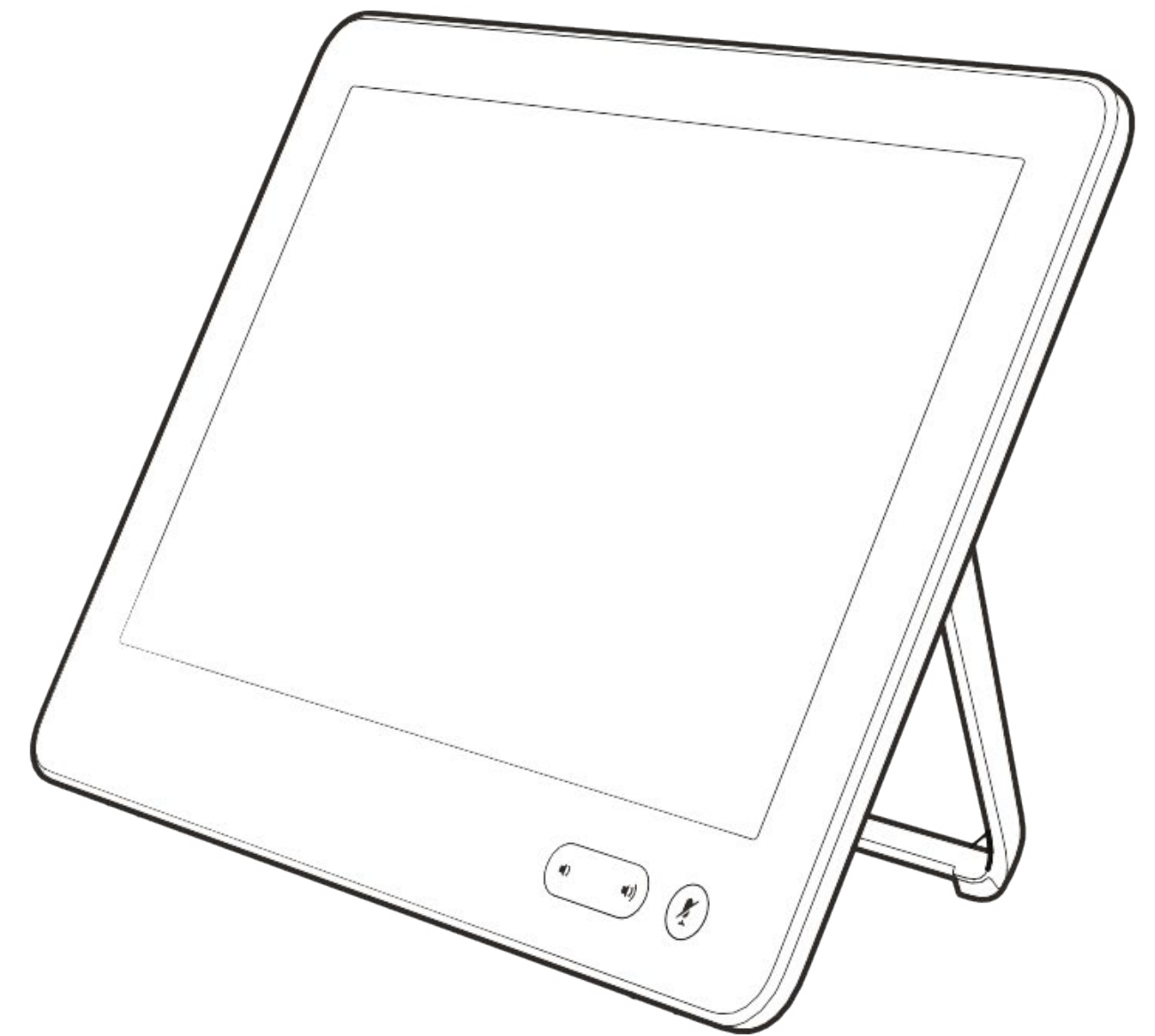
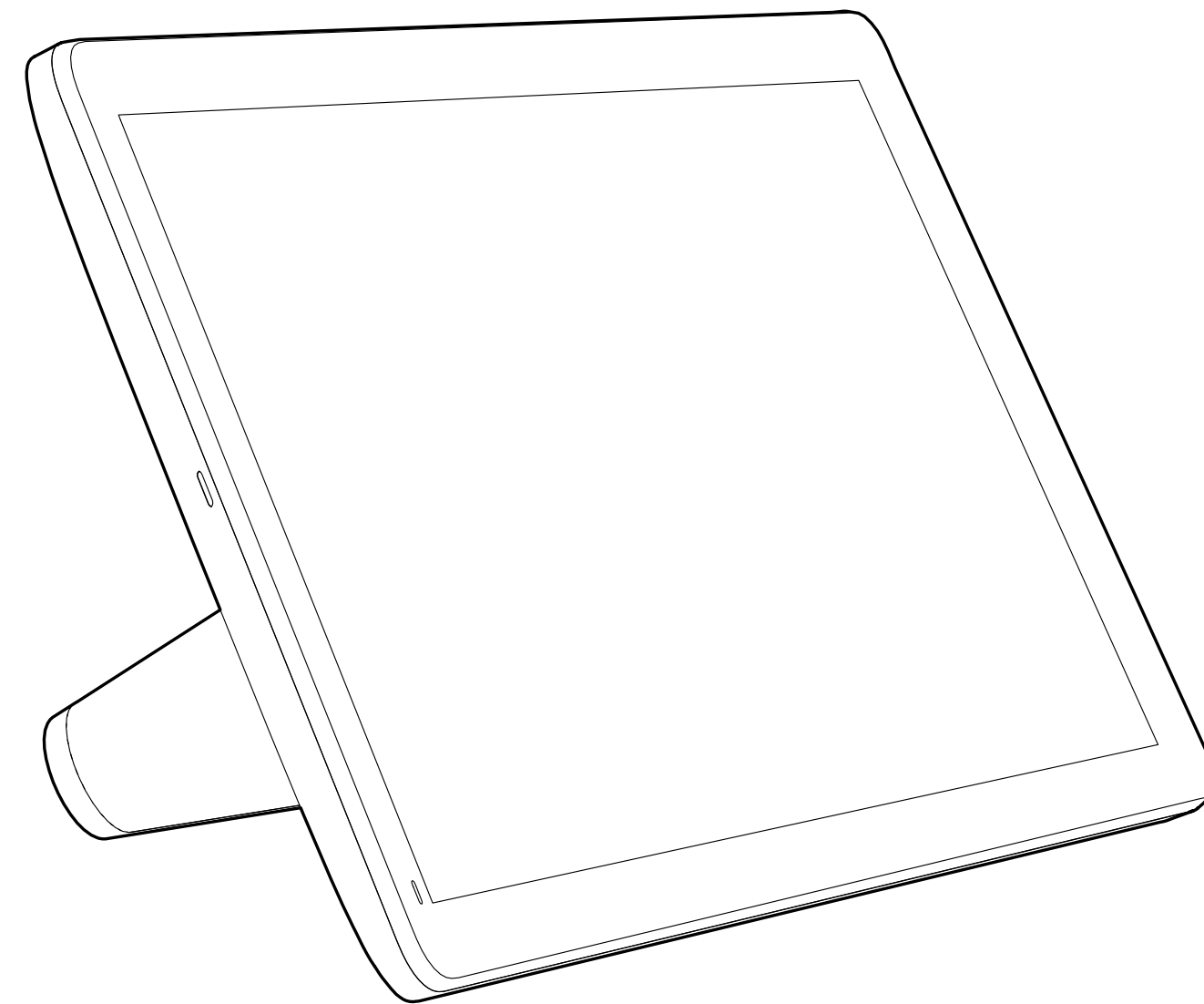
お気に入りの編集をタップします。

4



お気に入りのエントリを編集して、保存をタップして変更を適用し、終了します。変更を適用しない場合は、キャンセルをタップします。





# カメラ

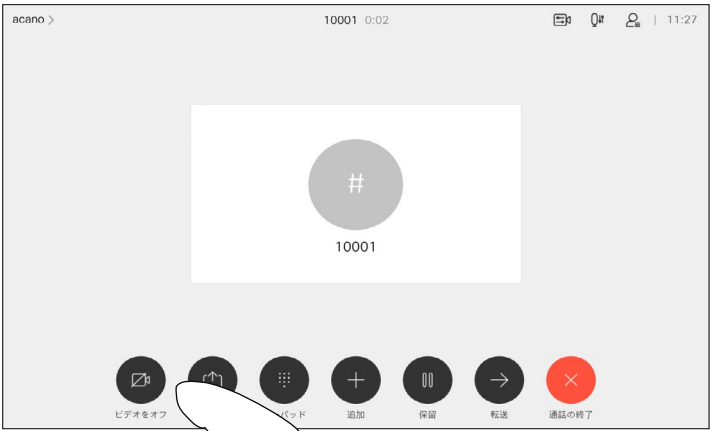
カメラ: Touch コントローラ

# カメラをオンまたはオフにする (Touch 10/Room Navigator)

## ビデオ オフについて

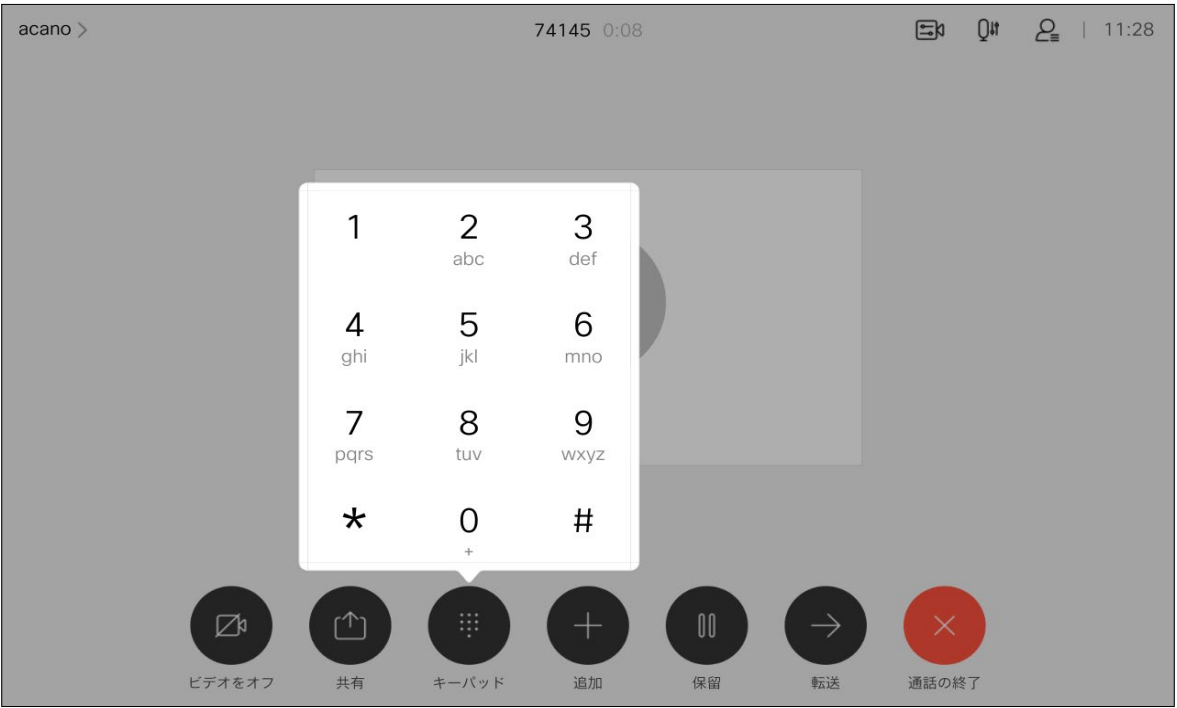
ビデオの電源オフ機能は、機械的にブロックするオプションがないデバイスで、カメラからのビデオ送信が制御できるように設計されています。

1



図のように ビデオをオフにするをタップします。

2



アイコンが赤色に変わり、デバイスからビデオが送信されないことを示します。この機能を無効にするには、もう一度タップします。



カメラ: Webex Board

# カメラをオンまたはオフにする (Webex Board)

## ビデオ オフについて

ビデオの電源オフ機能は、機械的にブロックするオプションがないデバイスで、カメラからのビデオ送信が制御できるように設計されています。

1



必要に応じて画面の任意の場所をタップし、画面の下部に表示されるボタンを表示します。

2



図のようにカメラボタンをタップします。もう一度タップして、発信ビデオを再度オンにします。

カメラ: Touch コントローラ

# セルフビューの PiP の移動 (Touch 10/Room Navigator)

## セルフビューを移動 する理由

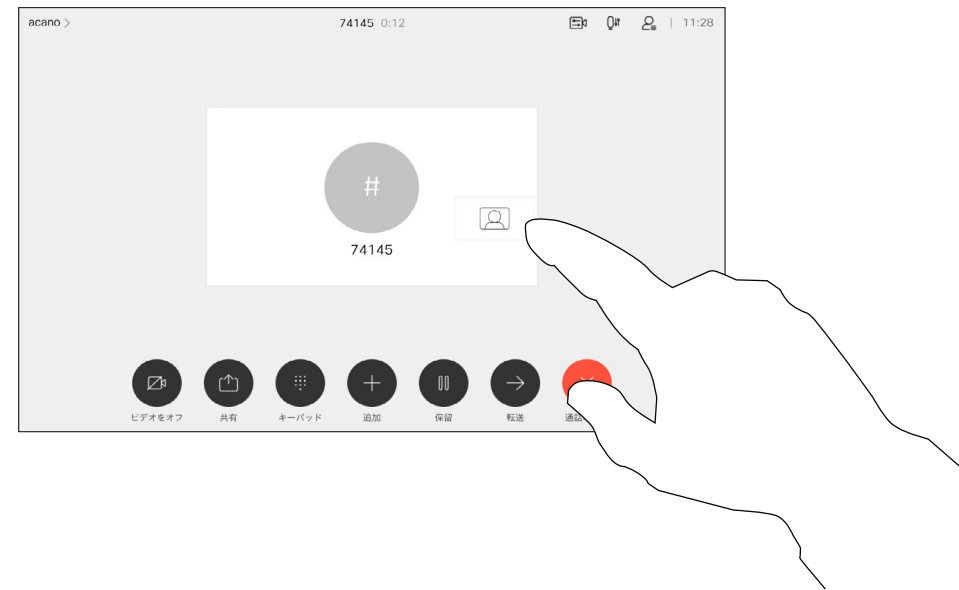
セルフビューには、ビデオデバイスから他のユーザに見えるものが表示されます。これを使用すると、他の参加者に見せるべき適切な画面が見えていることを確認できます。

セルフビューは、PiP (ピクチャ イン ピクチャ)として表示されます。

スケジュール中に、セルフビューをアクティブにしたいときがあります。たとえば、画面に自分を表示し続ける場合です。

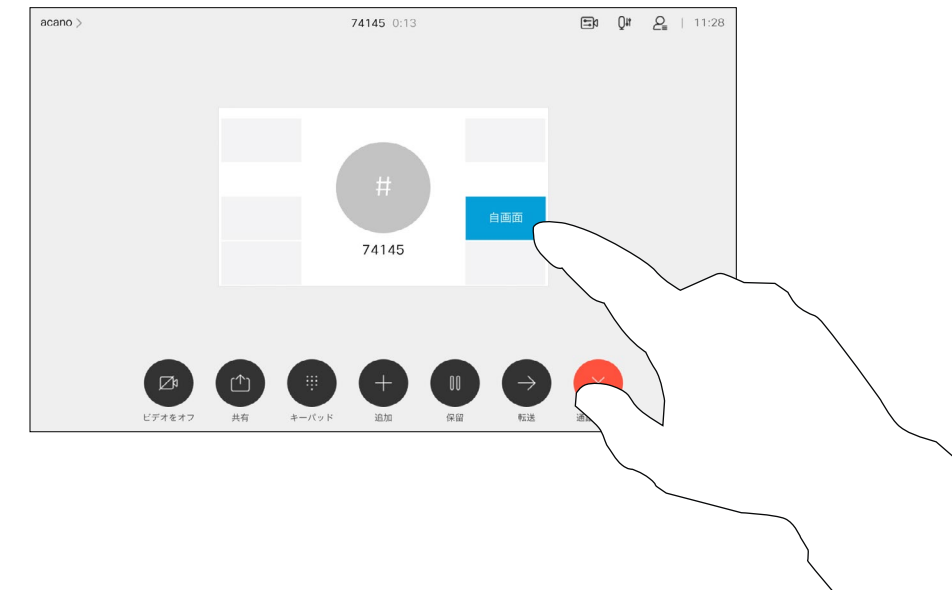
セルフビューの現在の位置により、画面上で画像の重要な部分が見えなくなる場合があります。移動することもできます。

1



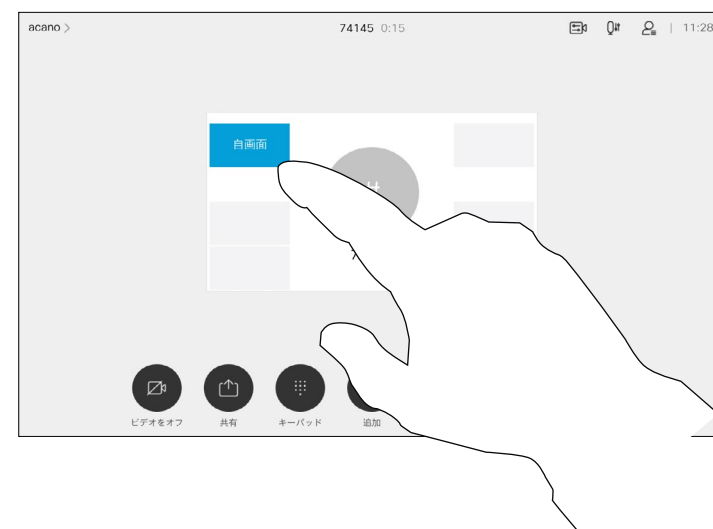
セルフビュー画像をタップして長押しします。

2



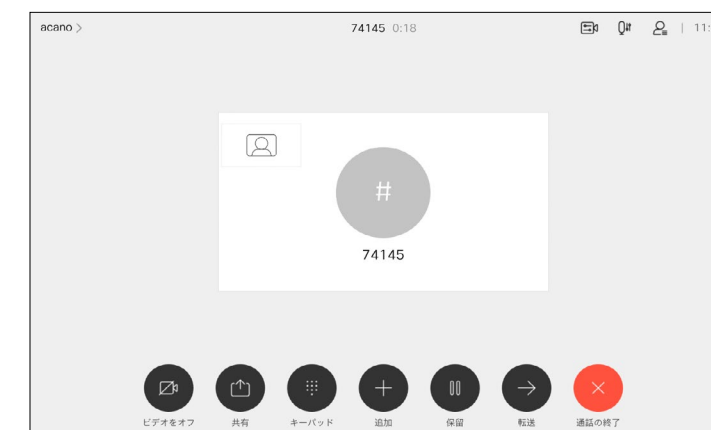
セルフビューの画像が青色に変わります。セルフビューの画像の利用可能な代替位置が表示できます。画像をタップし続けます。

3



画像を新しい位置にドラッグします(ここでは左上隅に表示します)。

4



画面から指を離して、画像を公開します。セルフビューの画像が新しい位置に移動しました。



カメラ: Webex Board

# セルフビューの PiP の移動 (Webex Board)

## セルフビューを移動する理由

セルフビューには、ビデオデバイスから他のユーザに見えるものが表示されます。これを使用すると、他の参加者に見せるべき適切な画面が見えていることを確認できます。

セルフビューは、PiP (ピクチャ イン ピクチャ) として表示されます。

スケジュール中に、セルフビューをアクティブにしたいときがあります。たとえば、画面に自分を表示し続ける場合です。

セルフビューの現在の位置により、画面上で画像の重要な部分が見えなくなる場合があります。移動することもできます。

### セルフビューを固定する

セルフビューの画像を生成するには、画面をタップします。

セルフビューの画像自体をタップします。Pin のセルフビューをタップします。

固定を解除するには、セルフビューの画像をタップして、固定解除をタップします。

タッチ 10 がボードに接続されている場合は、セルフビューを固定することはできません。

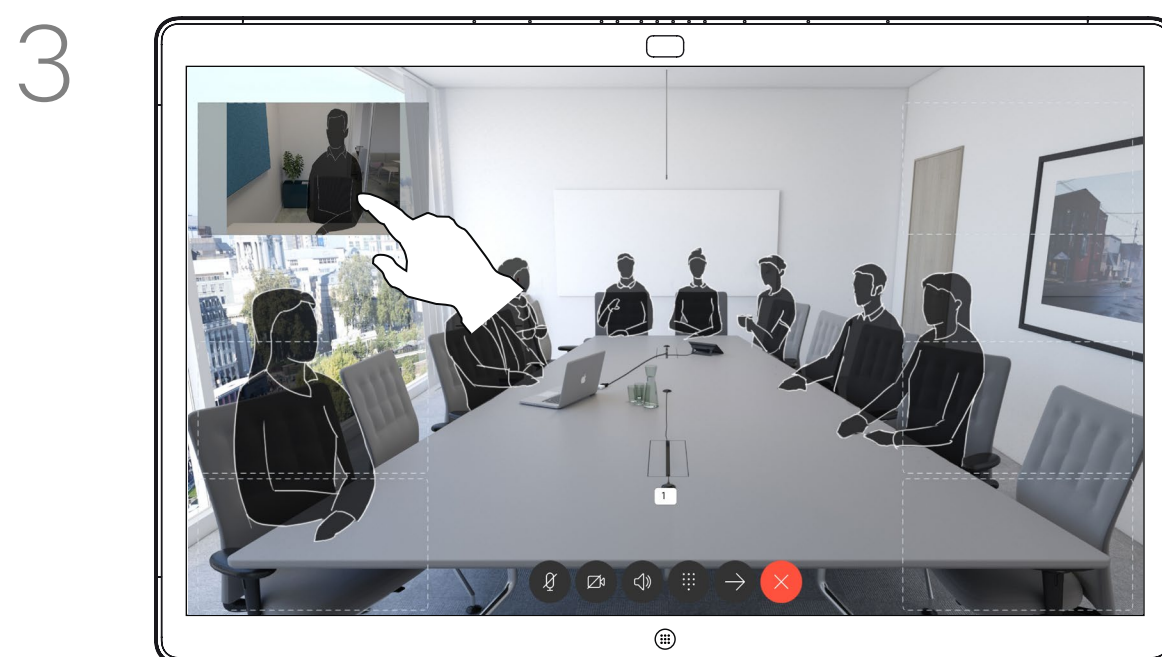


セルフビューの画像を固定しない限り、そのボタン行が表示されている場合にのみ、セルフビューが表示されます。画面をタップして、これらのボタンを作成します。セルフビューを固定するには、右のテキストを参照してください。

セルフビュー画像をタップして長押しします。



新しい位置へのドラッグを開始します。



画面から指を離します。



セルフビューの画像が新しい位置に移動しました。

# カメラ: Webex Board 手動カメラ制御

カメラの位置を変える理由を教えてください。



通話中に画面をタップすると、自画面の画像が表示されます。



セルフビューの画像をタップしてカメラビューを調整し、カメラのオプションを開きます。

デスク Pro が最適な概要を自動的にフレームにします。状況によっては、フレーミングを調整する必要がある場合があります。

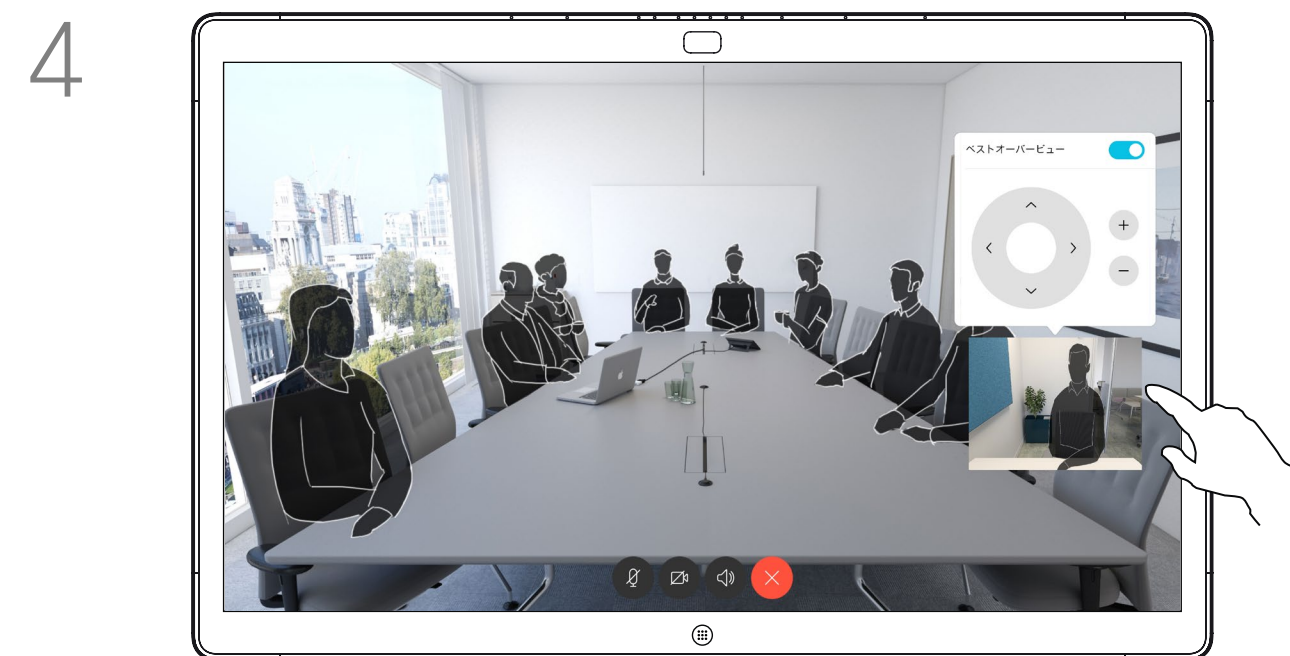
デジタルズームは 5 倍までです。

注: コール中は、カメラ位置のみを変更できます。

お使いの Webex Board にタッチ 10 を接続している場合は、タッチ 10 を使用してカメラの表示を制御することもできます。



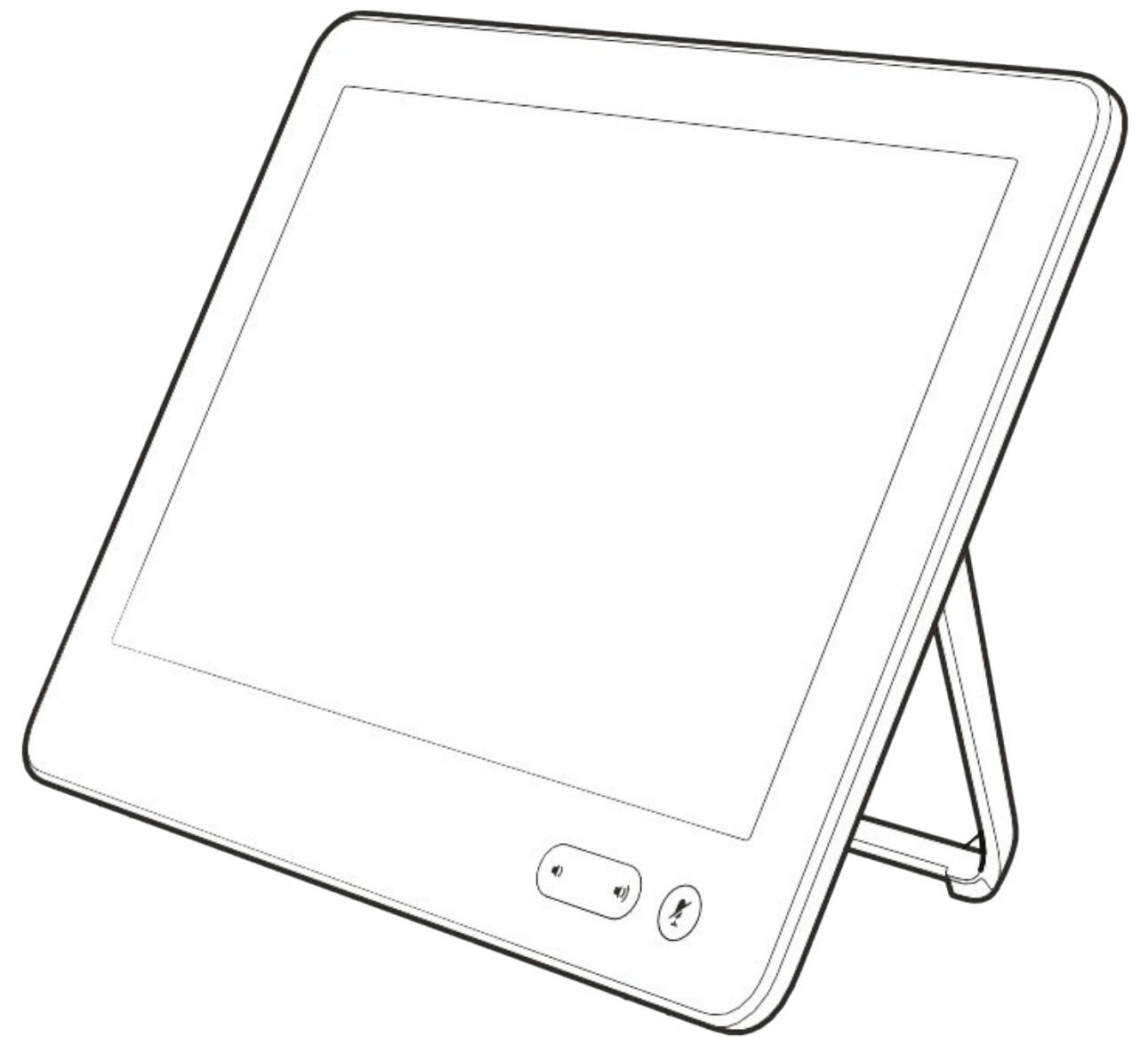
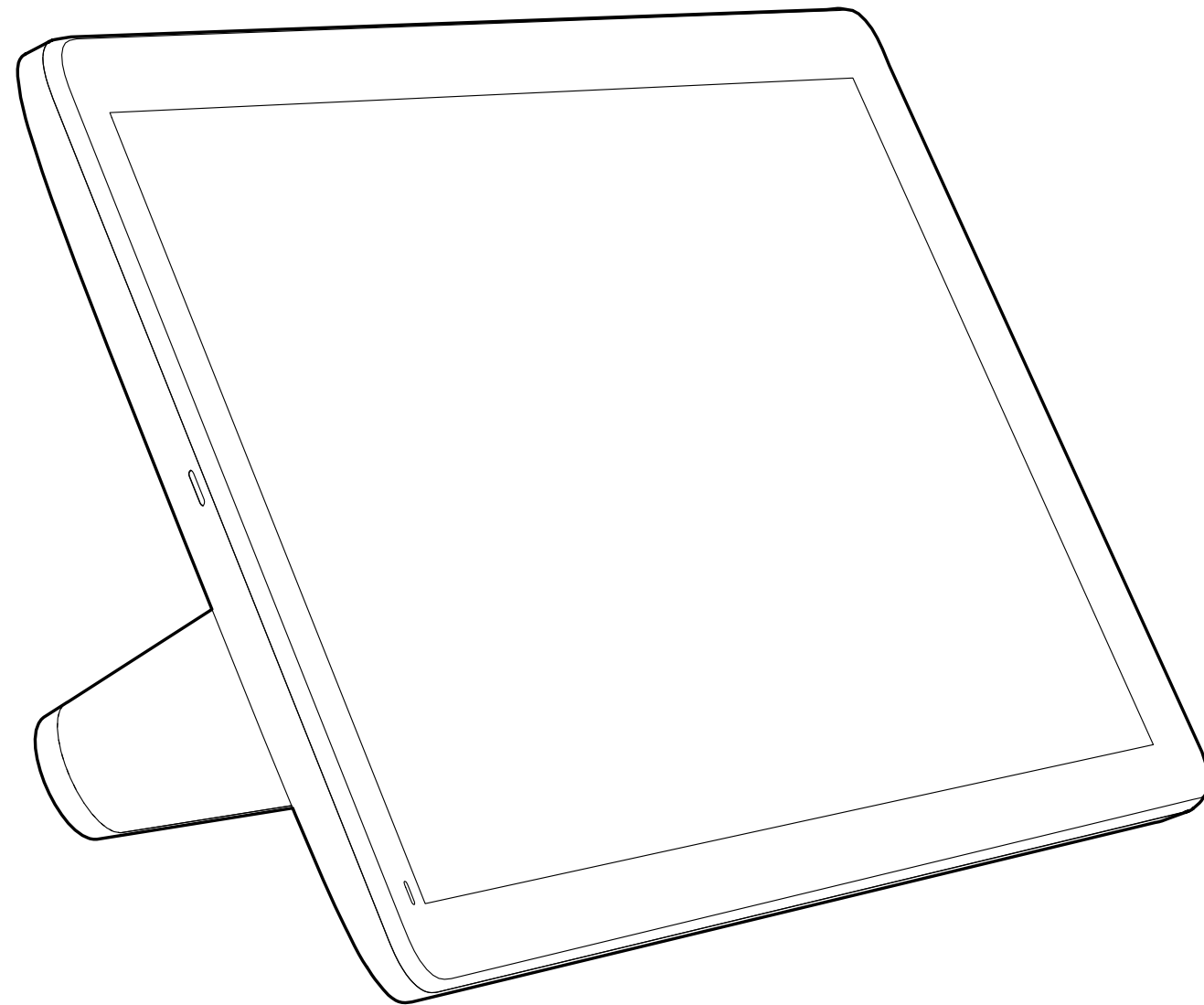
最適な概要を切り替えます。



カメラ制御を使って、パン、チルト、ズームの必要な調整を行います。

メニュー以外の場所をタップしてメニューを閉じます。





# 設定

# 音声設定

## 音量コントロール

Touch 10 では、ハードボタンを使用して音のレベルを制御します。マイクはミュートボタンを使用してミュートできます。

Room Navigator では、ソフトボタンを使用して音のレベルを制御します。

Webex Board で画面下部を上にはスワイプし、スライダーを使用して音のレベルを調整します。

## ノイズ除去

ノイズ除去を使用して、通話中に煩雑なノイズを排除することができます。ノイズ除去は、共有スペースまたはホームオフィスで特に便利です。

タッチコントローラで、ホーム画面の右上にあるマイクアイコンをタップします。ノイズ除去をタップしてオンにします。

オフにする場合は、[デフォルト (Default)] をタップします。

Room シリーズではノイズ除去機能を使用できません。

Webex Board で、ホーム画面にあるデバイス名をタップし [設定] をタップします。

[ノイズ除去 (Noise removal)] に移動してオンにします。

ノイズ除去をオフにする場合は、オフにします。

## 着信音と音量

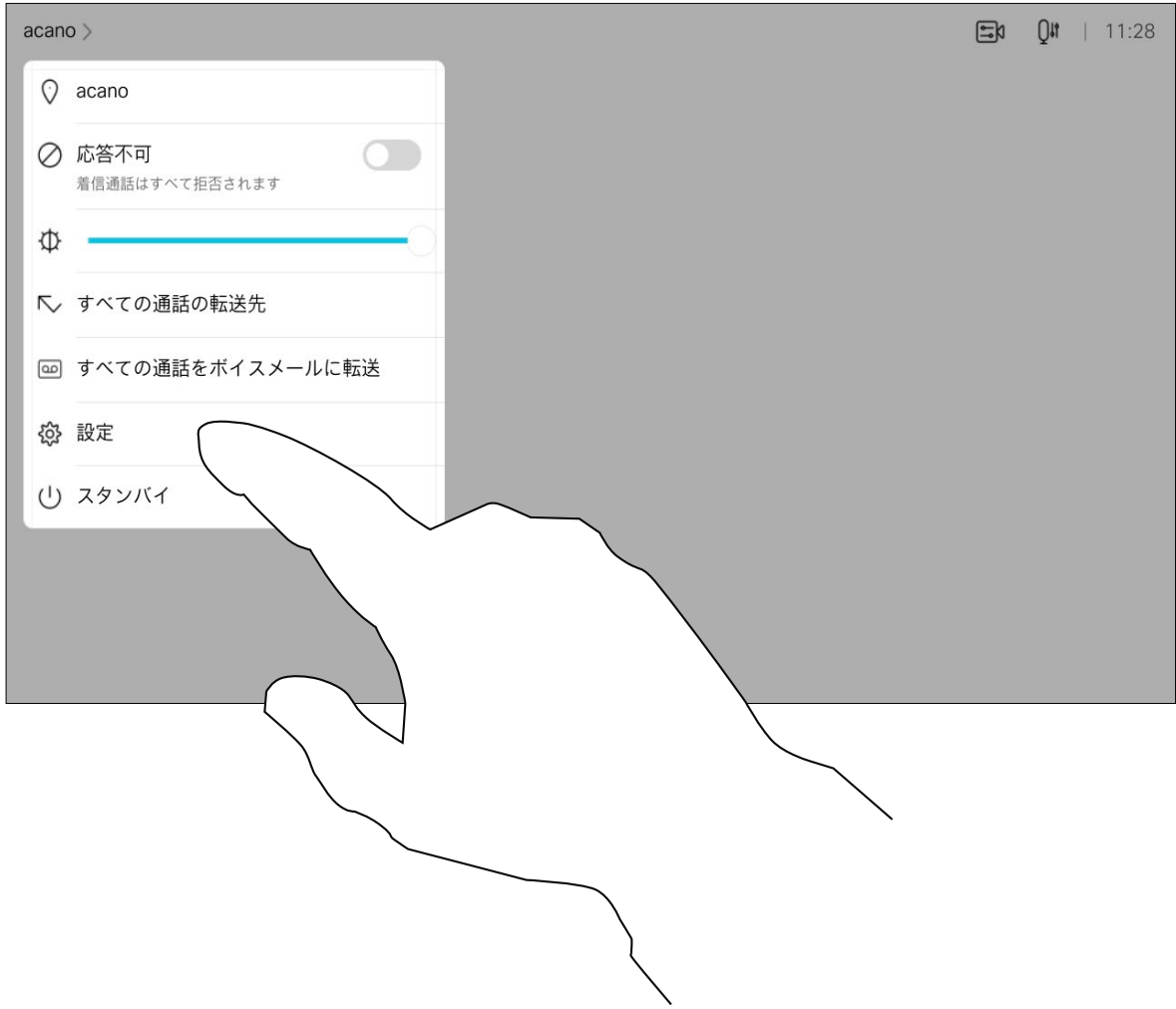
着信音を変更し、着信音の音量を調整するには、ホーム画面でデバイス名をタップし、[設定 (Settings)] を選択します。[着信音と音量 (Ringtone and volume)] に移動します。リストから着信音を選択し、スライダーを使用して音のレベルを設定します。



# 設定: Touch コントローラ アクセス設定

## バージョン情報管理

1



2



設定メニューから、デバイスの情報を確認したり、設定をいくつか変更することができます。使用可能な設定は、管理者によって制限されている場合があります。

着信音と音量を変更したり、デバイスを再起動、デバイス情報を確認することができます。

利用可能な設定は、お使いの製品と管理者によって有効にされた機能によって異なります。

設定メニューには、Room Navigatorの定格評価ラベル情報が記載されています。これらを確認するには、設定 > タッチパネルについて > 規制に移動します。



北中南米本部  
Cisco Systems, Inc.  
San Jose, CA

アジア太平洋本社  
Cisco Systems (USA) Pte.  
Ltd. シンガポール

ヨーロッパ本社  
Cisco Systems International BV Amsterdam,  
オランダ

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号はシスコの Web サイト([www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices))をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、[www.cisco.com/jp/go/trademarks](http://www.cisco.com/jp/go/trademarks) をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)